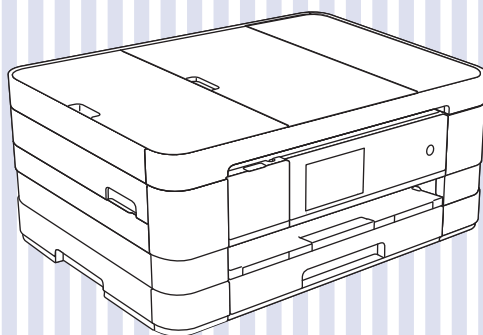
brother

PRIVIO

MFC-J4510N
ユーザーズガイド
－基本編－

CD-ROM収録のユーザーズガイドもご活用ください

付属のCD-ROMには、下記のユーザーズガイドが収録されています。あわせてご覧ください。

・ユーザーズガイド　応用編
・ユーザーズガイド　パソコン活用編
・ユーザーズガイド　ネットワーク編

1ページ

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 第6章「こんなときは」で調べる 103ページ

2 サポート ブラザー　検 索

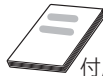
ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる
http://solutions.brother.co.jp/

オンラインユーザー登録をお勧めします。

ブラザーマイポータル ▶ https://myportal.brother.co.jp/

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本書はなくさないように注意し、いつでも手に取って見ることができるようにしてください。

Version 0 JPN

マニュアルの構成

本製品には次のマニュアルが用意されています。目的に応じて各マニュアルをご活用ください。

■ はじめにお読みください

1. 安全にお使いいただくために（冊子）

本製品を使用する上での注意事項や守っていただきたいことを記載しています。

付属

2. かんたん設置ガイド（冊子）

お買い上げ後、本製品を使用可能な状態にするまでの手順を説明しています。

■ 用途に応じてお読みください

3. ユーザーズガイド 基本編（冊子）

本製品の基本的な使いかたと、困ったときの対処方法について詳しく説明しています。

4. ユーザーズガイド 応用編（PDF 形式）

基本編で使いかたを説明していない機能について詳しく説明しています。本製品が持つ便利で楽しい機能を最大限に使いこなしてください。

5. ユーザーズガイド パソコン活用編（PDF 形式）

本製品をパソコンとつないでプリンターやスキャナーとして使うときの操作方法や、付属の各種アプリケーションについて詳しく説明しています。

6. ユーザーズガイド ネットワーク編（PDF 形式）

本製品を手動でネットワークに接続するときの設定方法や、ネットワークに関して困ったときの対処方法を説明しています。

CD-ROM 内のユーザーズガイドの見かた ⇒ 1 ページ

■ サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてご利用ください

画面で見るマニュアル（HTML 形式）

上記のうち、3 ～ 6 のマニュアルを一体化して、パソコンの画面上で見られるようにしたマニュアルです。参照先が書かれたところをクリックするとその掲載箇所に直接飛ぶため、冊子のページをめくったり別のガイドで探したりすることなく、知りたい情報をすぐに確認することができます。

モバイルプリント＆スキャンガイド（PDF 形式）

Android™ や iOS を搭載した携帯端末からデータを印刷する方法や、本製品でスキャンしたデータを携帯端末に転送する方法を説明しています。

クラウド接続ガイド（PDF 形式）

パソコンを介さずに、本製品でスキャンしたデータを直接ウェブサービスにアップロードする方法や、ウェブサービス上のデータを本製品で直接印刷する方法を説明しています。

Google クラウドプリントガイド（PDF 形式）

本製品に Google アカウント情報を登録し、Google クラウドプリントサービスを利用してデータを印刷する方法を説明しています。

AirPrint ガイド（PDF 形式）

パソコンを介さずに、iOS を搭載した携帯端末からデータを直接印刷する方法を説明しています。

Wi-Fi Direct™ ガイド（PDF 形式）

Wi-Fi Direct™ 対応の携帯端末と本製品を無線 LAN アクセスポイントなしで接続する方法を説明しています。

サポートサイト

http://solutions.brother.co.jp/

最新版のマニュアルは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。
http://solutions.brother.co.jp/

CD-ROM 内のユーザーズガイドを見るときは

付属の CD-ROM には、下記のユーザーズガイドが PDF 形式で収録されています。

- ユーザーズガイド 応用編
- ユーザーズガイド パソコン活用編
- ユーザーズガイド ネットワーク編

Windows® の場合

付属の CD-ROM からプリンタードライバーをパソコンにインストールすると、PDF 形式のユーザーズガイドも自動的にダウンロードされます。
スタートメニューから［すべてのプログラム］－［Brother］－［MFC-J4510N］－［ユーザーズガイド］の順にクリックして、見たいユーザーズガイドを選んでください。

プリンタードライバーをインストールしない場合は、次の手順で CD-ROM から直接、PDF 形式のユーザーズガイドを見ることができます。

1 付属の CD-ROM を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットする

トップメニューが表示されます。

トップメニューの画面が表示されないときは、［コンピューター（マイ コンピュータ）］から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、［start.exe］をダブルクリックしてください。

2 ［ユーザーズガイド］をクリックする

3 ［画面で見るマニュアル PDF 形式］をクリックする

収録されているユーザーズガイドの目次が表示されます。

4 見たいユーザーズガイドのタイトルをクリックする

ユーザーズガイドが表示されます。

Macintosh の場合

1 **付属の CD-ROM を、Macintosh の CD-ROM ドライブにセットする**

2 **[ユーザーズガイド] をダブルクリックする**

3 **[ユーザーズガイド] をクリックする**

4 **見たいユーザーズガイドのタイトルをクリックする**

ユーザーズガイドが表示されます。

目次

付属のユーザーズガイド CD-ROM に収録「ユーザーズガイド 応用編」の目次

本書の見かた

本書で使用されている記号

本書では、下記の記号が使われています。

記号	説明
警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示します。
注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性のある内容を示します。
重 要	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の可能性がある内容を示しています。
お願い	お使いいただく上での注意事項、制限事項などを記載しています。
	知っていると便利なことや、補足を記載しています。
	参照先を記載しています。

本書に掲載されている画面は、実際の画面と異なることがあります。

編集ならびに出版における通告

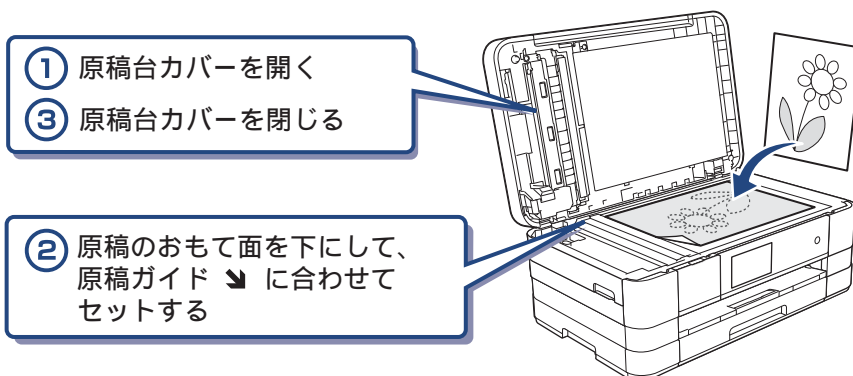
本マニュアルならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は､本マニュアルに掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

ソフトウェアは最新の状態でお使いいただくことをお勧めします

弊社ではソフトウェアの改善を継続的に行なっております。
最新のドライバーに入れ替えると、パソコンの新しい OS に対応したり、印刷やスキャンなどの際のトラブルを解決できることがあります。また、本体のトラブルは、ファームウェア（本体ソフトウェア）を新しくすることで解決できることがあります。
最新のドライバーやファームウェアは、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてください。ダウンロードやインストールの手順についても、サポートサイトに掲載されています。http://solutions.brother.co.jp/
ダウンロードを始める前に、まず、⇒ 156 ページ「最新のドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードして使うときは」をご覧ください。

ファクスを送る

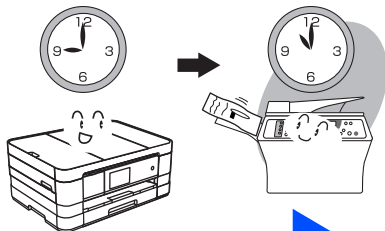
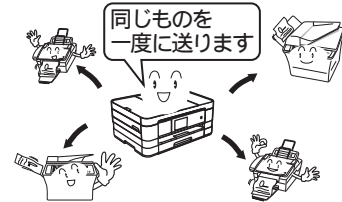
ファクスをモノクロで送ります。

1 原稿をセットする

2 待ち受け画面の【ファクス】を押す

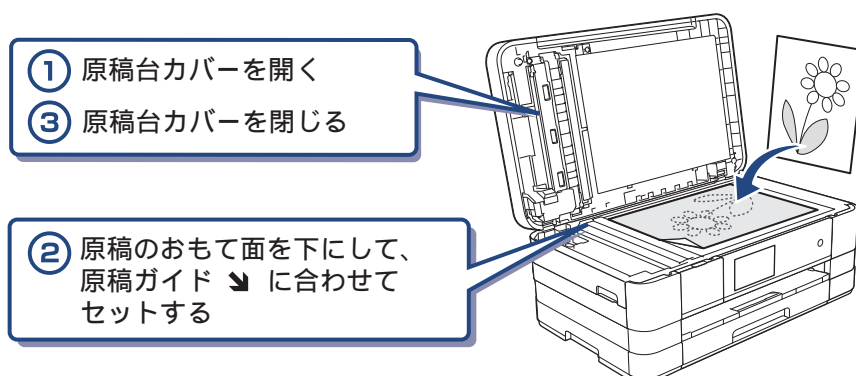
みるだけ受信を【する（画面で確認）】に設定している場合は、手順 2 のあとで、【ファクス送信】を押してください。

3 操作パネル上のダイヤルボタンで相手のファクス番号を入力する

4 【スタート】を押す

ファクスが送られます。

コピーする

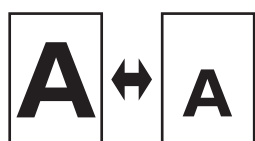
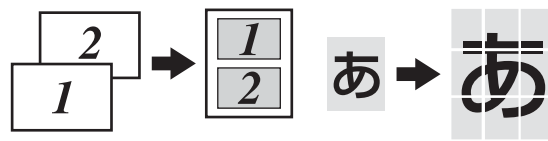
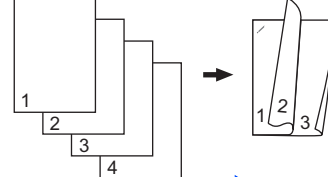
A4 サイズの原稿を原寸でコピーします。

1 原稿をセットする

2 待ち受け画面の【コピー】を押す

3 プリセットコピーメニューの【標準】が選ばれていることを確認する

4 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

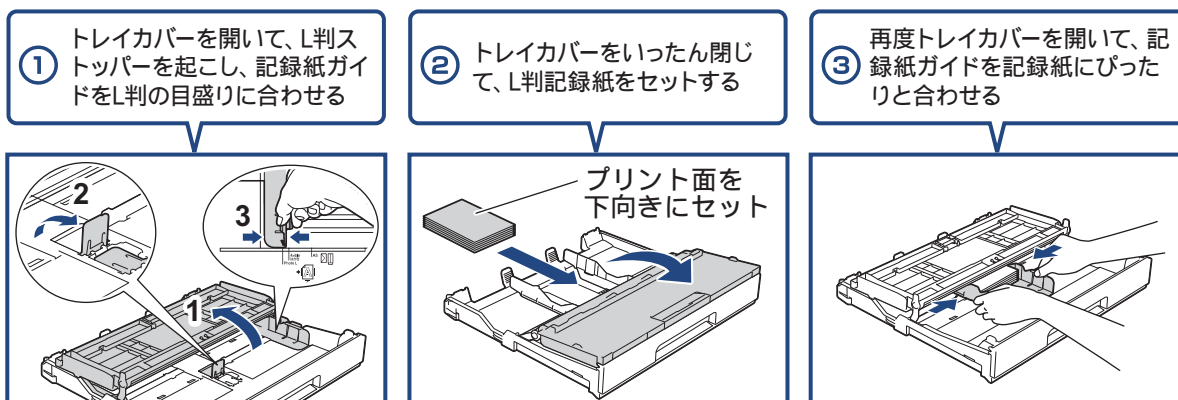
5 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

コピーが開始されます。

写真や動画をプリントする

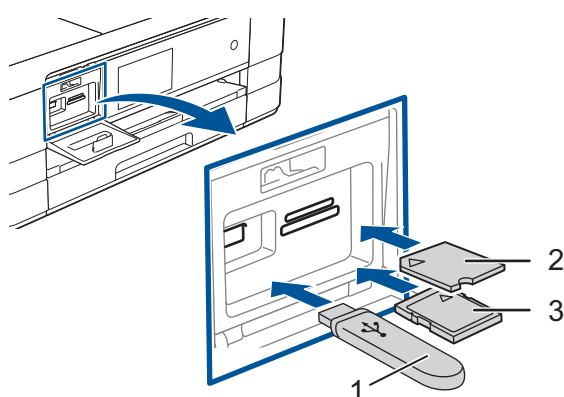
メモリーカードや USB フラッシュメモリーなど、メディアに保存された写真や動画の画像をプリントします。動画は、本製品で自動的に 9 分割された画像を 1 枚の記録紙にプリントします。

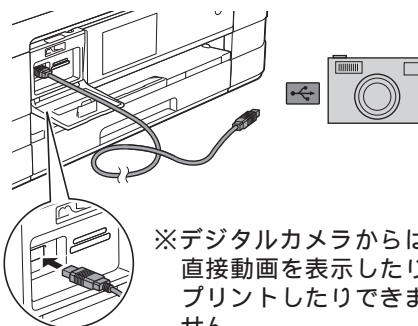
1 本体から記録紙トレイを引き出す

2 記録紙を記録紙トレイにセットする

※L 判の記録紙をセットする場合を説明します。

3 トレイカバーを閉じて、記録紙トレイを本体にゆっくりと確実に戻す

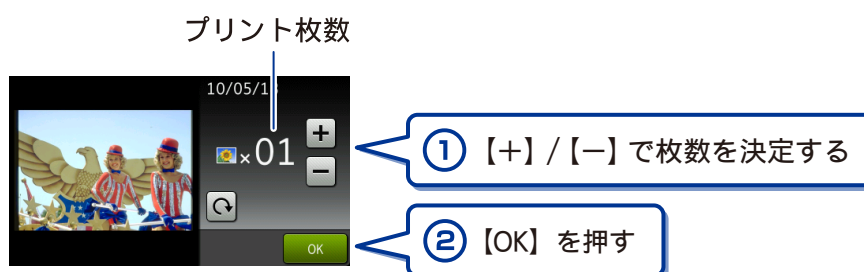
4 メディアスロットカバーを開く

5 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを 1 つだけ、適合するスロットに差し込む

1. USBフラッシュメモリー
2. メモリースティック デュオ™、
   メモリースティック PRO デュオ™
3. SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、
   SDXCメモリーカード、マルチメディアカード、マルチメディアカード plus

※ miniSDカード/microSDカード/miniSDHCカード/microSDHCカード/
メモリースティック マイクロ™（M2™）/マルチメディアカード mobileも使用できます。
本製品にセットするときはアダプターが必要です。

6 【デジカメプリント】を押す

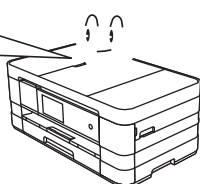
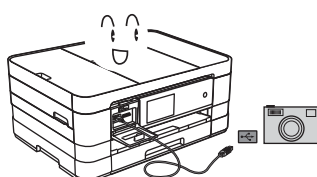
7 【かんたん印刷】が選ばれていることを確認して【OK】を押す

8 左右にフリックするか、◀/▶を押して、プリントしたい写真を選ぶ

9 【+】または【−】を押してプリント枚数を設定し、【OK】を押す

※複数の写真をプリントするときは、手順 8 9 を繰り返します。

10 【OK】を押す

11 【スタート】を押してプリントする

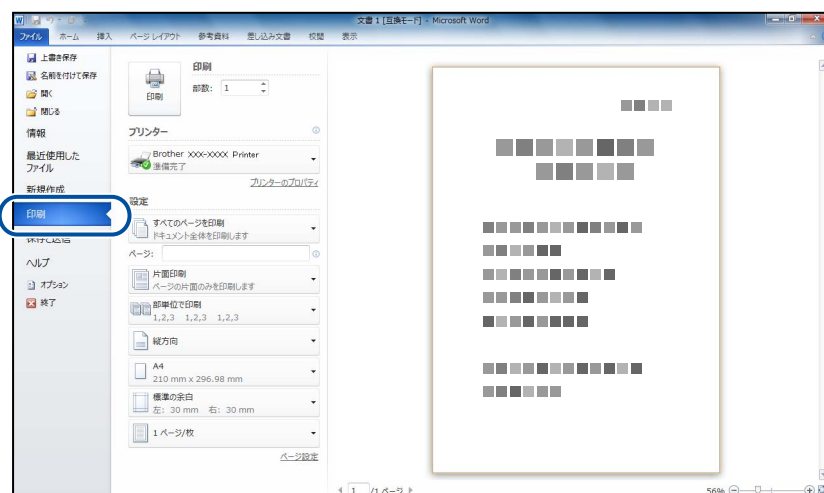
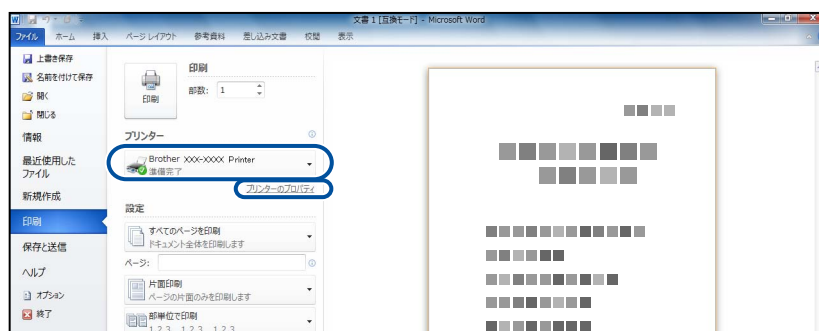
選択した写真がカラーでプリントされます。

プリンターとして使う

本製品とパソコンを接続して、パソコンから印刷できます。

お願い

■ パソコンとの接続や、ドライバーのインストール方法は、別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

Windows® の場合

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選ぶ

2 ［印刷］ダイアログボックスの［プリンター］で、接続している本製品を選び、［プリンターのプロパティ］をクリックする

3 必要に応じて記録紙サイズやカラー、その他の項目を設定し、［OK］をクリックする

サイズは［基本設定］、カラーは［拡張機能］タブから設定します。

4 ［印刷］をクリックして印刷を実行する

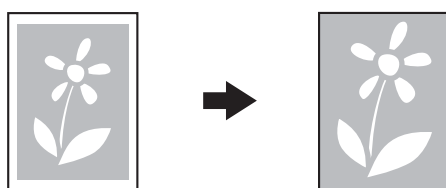
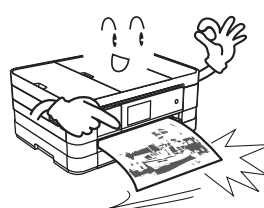
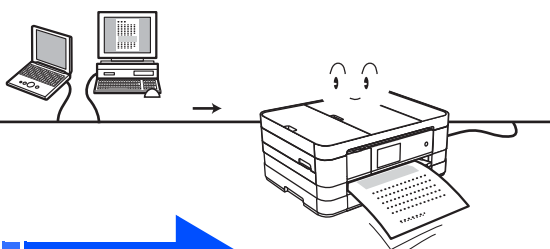
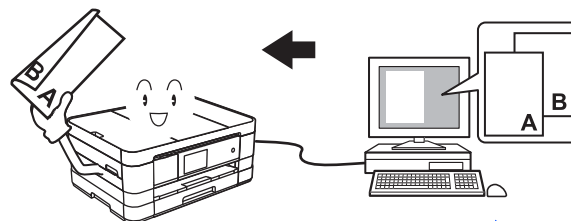
Macintosh の場合

1 アプリケーションの［ファイル］メニューから［ページ設定］を選ぶ

2 ［対象プリンタ］で、接続している本製品を選び、［OK］をクリックする

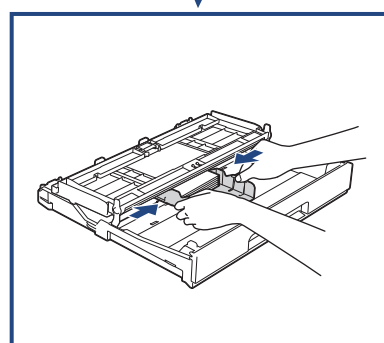
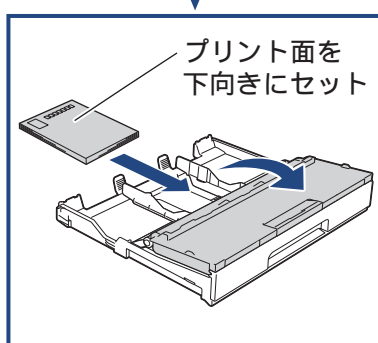
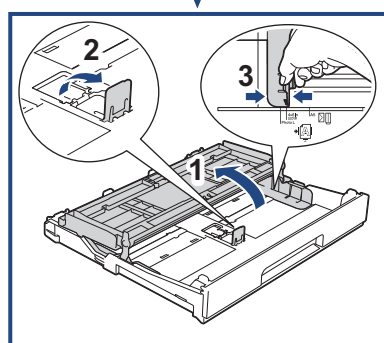
3 アプリケーションの［ファイル］メニューから［プリント］を選ぶ

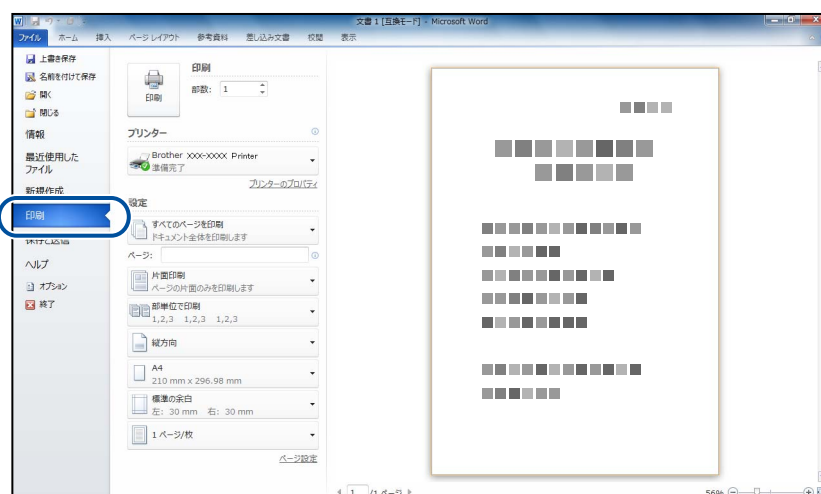
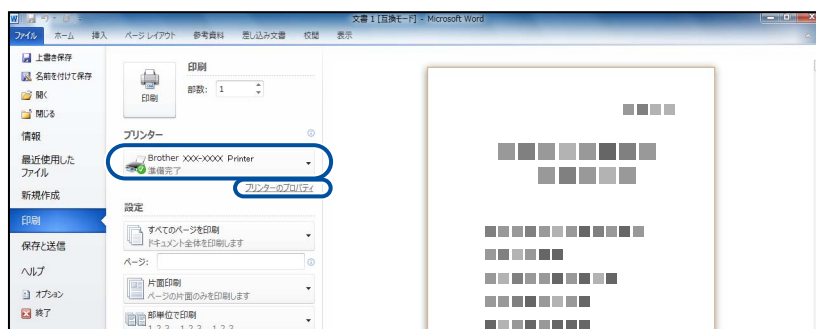
4 ［詳細を表示］をクリックする

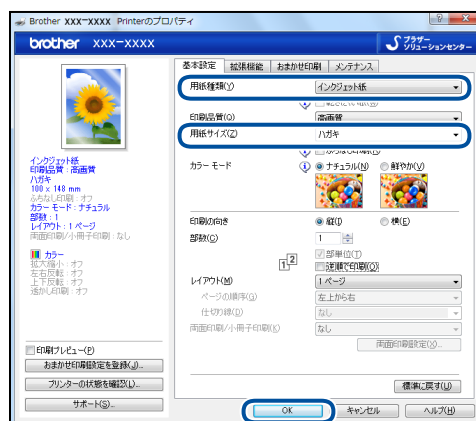
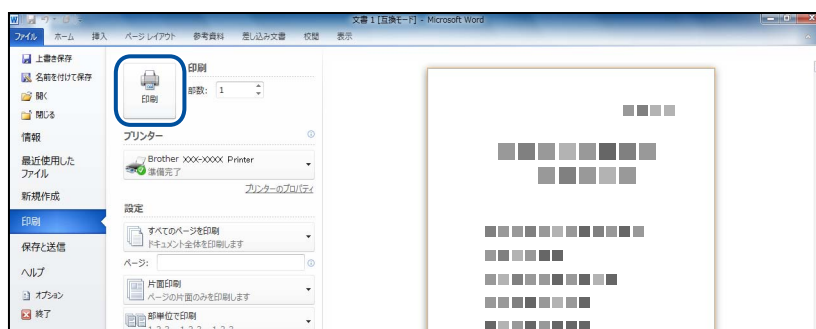
5 必要に応じて記録紙サイズやカラー、その他の項目を設定し、［プリント］をクリックする

はがき（年賀状）に印刷する

操作方法は、お使いの OS やアプリケーションソフトによって異なります。

1 本体から記録紙トレイを引き出す

2 はがきを記録紙トレイにセットする

3 トレイカバーを閉じて、記録紙トレイを本体にゆっくりと確実に戻す

4 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選ぶ

5 ［印刷］ダイアログボックスの［プリンター］で、接続している本製品を選び、［プリンターのプロパティ］をクリックする

6 ［基本設定］項目の中から［用紙種類］と［用紙サイズ］を設定し、［OK］をクリックする

例：インクジェット紙のはがきの通信面に印刷する場合
　［用紙種類］を［インクジェット紙］に設定します。
　［用紙サイズ］を［ハガキ］に設定します。

7 ［印刷］をクリックする

印刷が開始されます。

お願い

■ 印刷後、種類やサイズの違う記録紙に入れ替えて印刷するときは、［用紙種類］および［用紙サイズ］を設定し直してください。

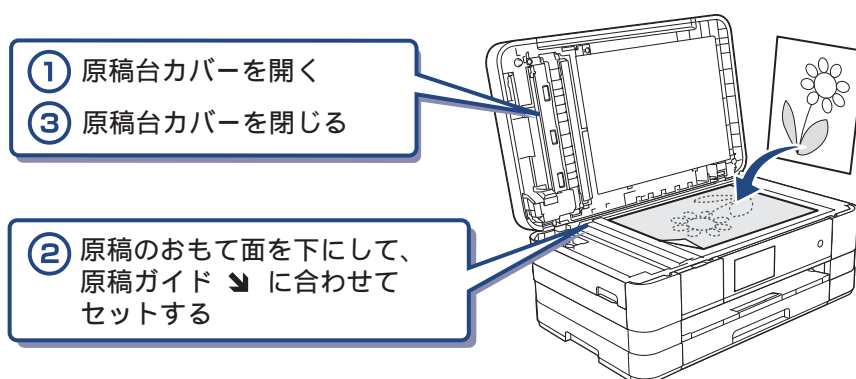
スキャンする

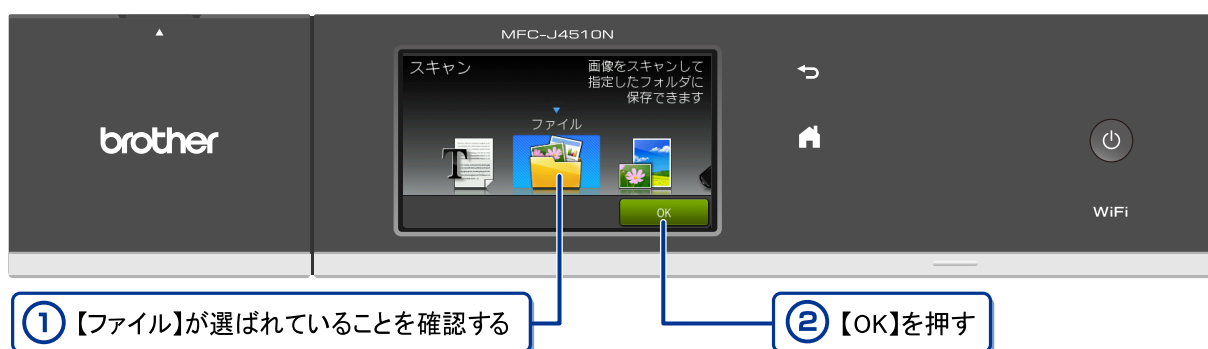
本製品でスキャンしたデータを接続されているパソコンに送ります。

お願い

■ パソコンとの接続や、ドライバーおよびアプリケーションのインストール方法は、別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

スキャンしたデータをパソコンに保存する

1 原稿をセットする

2 待ち受け画面の【スキャン】を押す

3 【ファイル】が選ばれていることを確認して【OK】を押す

パソコンに USB のみで接続している場合は、手順 5 に進んでください。

4 スキャンした画像を保存するパソコンを選ぶ

画面に表示されている中から希望のパソコンを選びます。
（USB でも接続している場合は、【< USB >】とパソコン名が両方表示されています。）

5 【スタート】を押す

スキャンが開始されます。

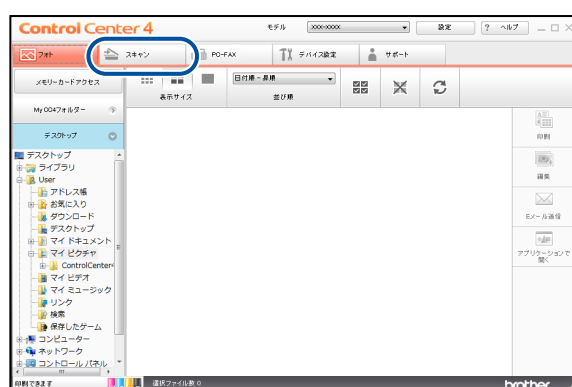
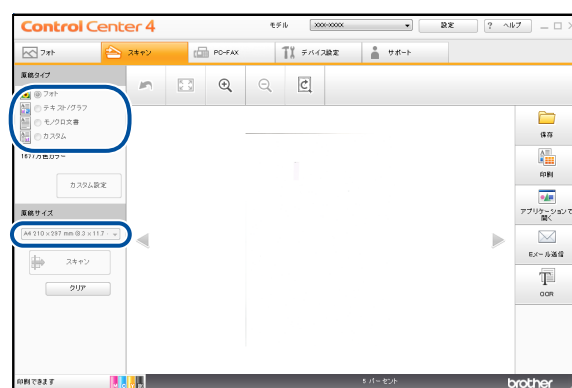
付属のアプリケーションソフトControlCenterを使ってスキャンする

Windows® の場合

プリンタードライバーと一緒にインストールされている ControlCenter4 を使ったスキャンの方法です。ControlCenter4 には、［Home モード］と［Advance モード］の 2 種類のモードが用意されています。ここでは、［Home モード］を選択した手順で説明しています。

1 パソコンの［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［Brother］－［MFC-J4510N］－［ControlCenter4］を選ぶ

初回起動時のみ［Home モード］を選択してください。

2 ［スキャン］タブをクリックする

3 ［原稿タイプ］および［原稿サイズ］を選ぶ

4 原稿をセットする

5 ［スキャン］、［保存］の順にクリックする

6 ［ファイル形式］、［ファイル名］および［保存先フォルダー］を設定する

7 ［OK］をクリックする

設定されているフォルダーにデータが保存されます。ControlCenter4 について詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用編（CD-ROM）をご覧ください。

Macintosh の場合

プリンタードライバーと一緒にインストールされている ControlCenter2 を使ったスキャンの方法です。

1 [Macintosh HD] − [アプリケーション] − [Brother] から [ControlCenter] アイコンをダブルクリックする

メニューバーに が表示されます。

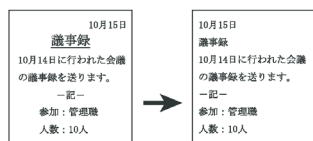
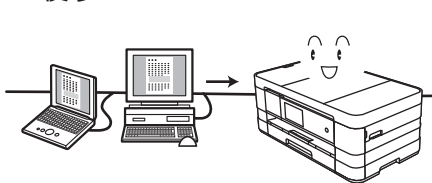
2 メニューバーの をクリックして、[開く] を選ぶ

3 原稿をセットする

4 [ファイル] を選ぶ

設定ダイアログが表示されます。内容を確認し、必要があれば設定を変更します。

5 [スキャン開始] をクリックする

設定されているフォルダーにデータが保存されます。ファイル形式や保存フォルダー、解像度など、好みや用途に合わせて設定が変えられます。ControlCenter2 について詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用編（CD-ROM）をご覧ください。

こんなこともできます

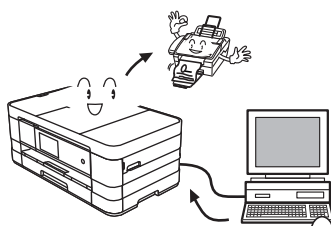
● 簡単に A3 コピーをする
［便利な A3 コピー］

記録紙サイズの設定など細かい設定をすることなく、A3 記録紙を使った多彩なコピーが簡単にできます。

- A3 2in1
- A4 ⇒ A3 拡大
- A4 + ノート（横）
- A4 + ノート（縦）
- A4 + 方眼
- A4 + メモ
- A4 センター

応用編（CD-ROM）

● パソコンからファクスを送る
［PC-FAX 送信］

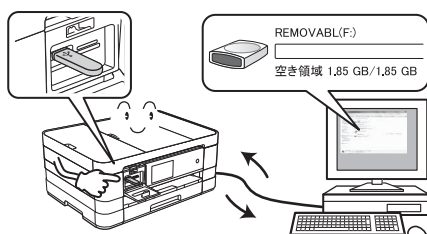
パソコンで作成した書類を、本製品の電話回線を利用して直接ファクスできます。印刷する必要がありません。

パソコン活用編（CD-ROM）

● スキャナー、メモリーカードアクセス などを簡単に起動する
［ControlCenter］

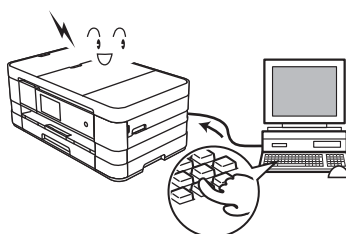
スキャナーやメモリーカードアクセス 機能などを簡単に起動できるソフトウェア「ControlCenter」を使用できます。

パソコン活用編（CD-ROM）

● 本製品をパソコンの外付けドライブとして利用する
［リムーバブルディスクドライブ］

本製品にセットしたメモリーカードや USB フラッシュメモリーが、本製品と USB 接続したパソコン上で［リムーバブル ディスク］として使用できます。

90 ページ

● 本製品の設定をパソコンから変更する
［リモートセットアップ］

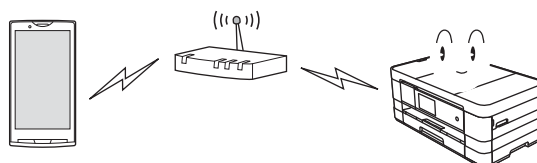
パソコンで電話帳を編集したり、本製品の設定を変更できます。

パソコン活用編（CD-ROM）

● 写真をプリント / 加工する
［FaceFilter Studio］

写真を簡単にふちなし印刷したり、顔がはっきり見えるように全体の明るさを調整したりできます。赤目の修正や表情を変化させたりすることもできます。
（Windows® のみ）

パソコン活用編（CD-ROM）

● モバイルプリント機能

Android™ や iOS を搭載した携帯端末からデータを印刷したり、本製品でスキャンしたデータを携帯端末に転送することができます。

モバイルプリント＆スキャンガイド

第 1 章

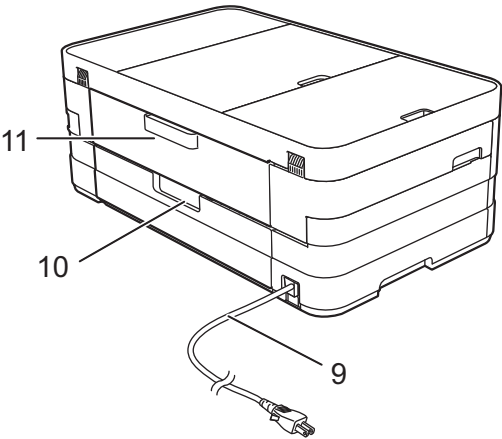
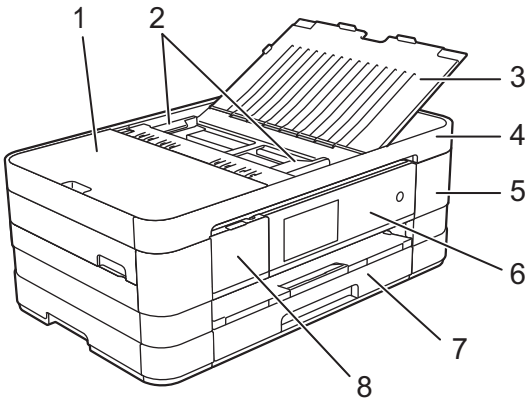
ご使用の前に

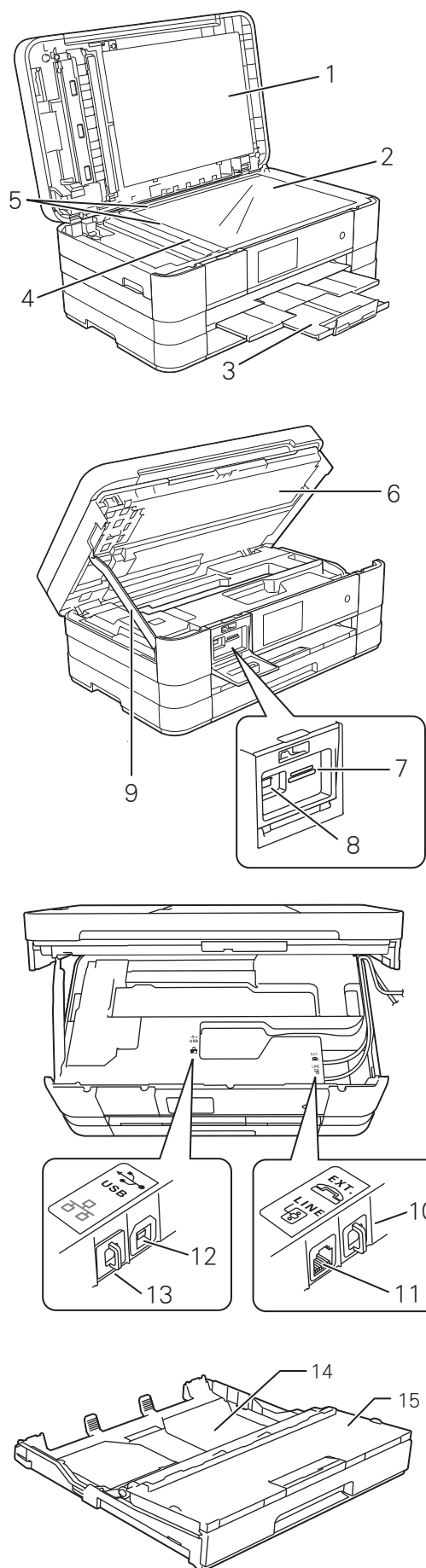
必ずお読みください

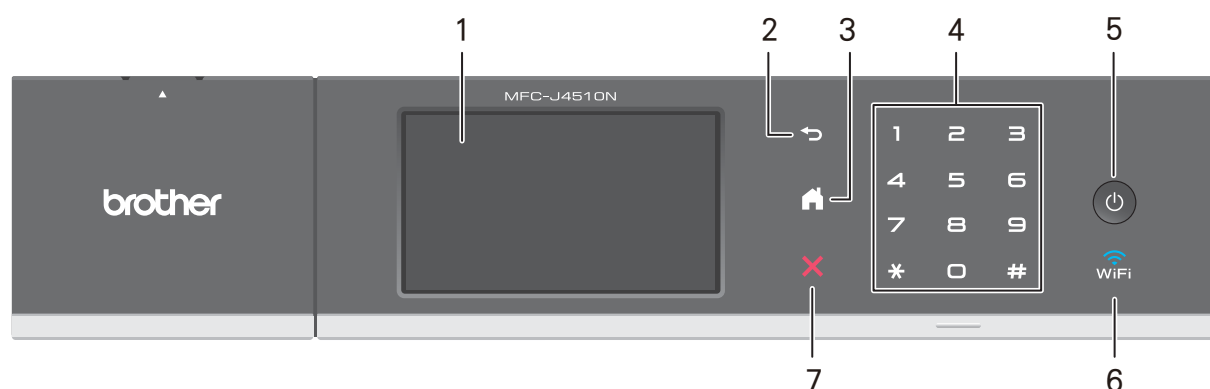
各部の名称とはたらき

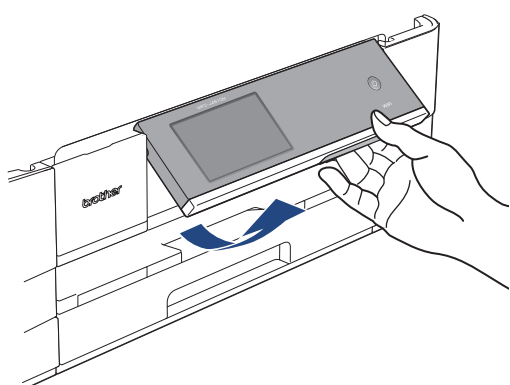
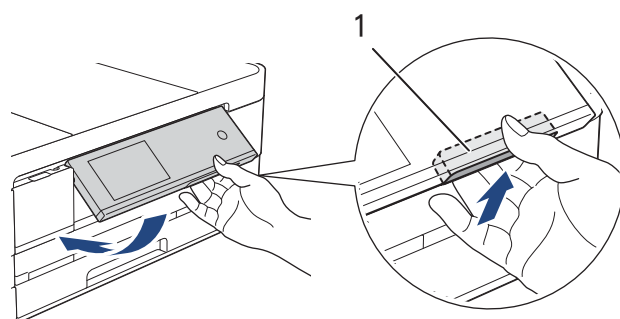
必ずお読みください

外観図

外面図

1	ADF（自動原稿送り装置）	ADF カバー
2		ADF ガイド
3		ADF 原稿トレイ
4	原稿台カバー	
5	インクカバー（インク挿入口）	
6	操作パネル	
7	記録紙トレイ	
8	メディアスロットカバー	
9	AC 電源コード	
10	紙づまり解除カバー	
11	手差しトレイ	

内面図

1	原稿台カバー
2	原稿台ガラス
3	記録紙ストッパー
4	スキャナー（ADF 読み取り部）
5	原稿ガイド
6	本体カバー
7	カードスロット
8	PictBridge ケーブル差し込み口 /USB フラッシュメモリー差し込み口
9	本体カバーサポート
10	外付け電話端子 お手持ちの電話をモジュラーケーブルでつないでお使いください。ただしファクス付き電話は使用できません。
11	回線接続端子
12	USB ケーブル差し込み口
13	LAN ケーブル差し込み口
14	記録紙トレイ
15	記録紙トレイカバー

操作パネル

1	タッチパネル	各種メニュー、操作方法を案内するメッセージが表示されます。画面に直接タッチして各設定を行います。 ⇒ 27 ページ「画面の操作方法」
2	戻るボタン	１つ前の画面に戻すときに押します。このボタンが使える画面でのみ表示されます。
3	ホームボタン	設定を中止するときや待ち受け画面に戻るときに押します。このボタンが使える画面でのみ表示されます。
4	ダイヤルボタン	ダイヤルするときや各種設定の数値入力時に使用します。このボタンが使える画面でのみ表示されます。
5	電源ボタン	電源をオン / オフするときに押します。
6	Wi-Fi ランプ	本製品上で接続方法を無線 LAN に切り替えると点灯します。
7	停止ボタン	処理中の動作を中止するときに押します。このボタンが使える画面でのみ表示されます。

■ 操作パネルは使いやすい角度に調整してください

角度を垂直方向に戻すときはチルト解除レバー (1) をつまみながら動かします。

待ち受け画面

本製品には「基本」、「便利な機能」、「お気に入り 1 ～ 3」の 3 タイプ 5 画面の待ち受け画面が用意されています。画面上の ◀/▶ を押すか、画面を左右にフリックすると 3 タイプ 5 画面の待ち受け画面のあいだを自由に移動できます。「お気に入り 1 ～ 3」には、よく使う機能やこだわりの設定内容を、1 画面 6 個まで登録することができます。
⇒ 37 ページ「ホーム画面を選ぶ」

1	モードボタン		ファクス / コピー / スキャンの各モードに切り替えます。
2	待ち受けの種類		現在の待ち受けが、基本 / 便利な機能 / お気に入り 1/ お気に入り 2/ お気に入り 3 のいずれの画面であるかを示します。画面下の表示（・・・・・・）でもいくつ目の画面かが分かるようになっています。
3	日時表示		現在の日時および曜日が表示されます。
4	Wi-Fi 設定ボタン / 無線 LAN 電波状態	WiFi	Wi-Fi 設定を行うときに押します。（Wi-Fi 接続されていることを示す表示ではありません。）
			無線 LAN 設定後は、電波状態を 4 段階（0 1 2 3）で表示します。
5	インク残量表示 / インクメニューボタン		マゼンタ、シアン、イエロー、ブラックの各インクについてそれぞれ残量の目安が表示されます。押すとインクメニューが表示されます。
6	メニューボタン		メニューを表示させるときに押します。 ⇒ 26 ページ「メニュー」
7	便利な機能メニュー		デジカメプリントモードに切り替えます。メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットしてください。
			クラウドサービスに接続します。
			便利な A3 コピーモードに切り替えます。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「A3 記録紙を使ったいろいろなコピー」
8	新着ファクス件数 / メッセージ表示		待ち受け画面のタイプに関わらず、ファクスを受信したり、エラーが発生するとこの位置にアイコンとともにメッセージが表示されます。
			みるだけ受信やメモリ保持など、ファクスをメモリーに保存する設定にしている場合に、ファクスを受信すると新着ファクスの件数が表示されます。
			エラーが発生した場合は、メッセージを表示してお知らせします。メッセージ右側の【詳細】を押すと現在の状態や、保守手順を表示します。⇒ 126 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」の手順に従って操作、保守を行ってください。✖ を押すと待ち受け画面に戻ります
9	お気に入りボタン		よく使う機能やこだわりの設定内容を登録してワンタッチで呼び出せるようにします。 ⇒ 38 ページ「お気に入りを登録する」 ⇒ 40 ページ「登録したお気に入りを呼び出す」

メニュー

待ち受け画面の 🔧 を押すと表示されるメニューです。

1	インク残量表示 / インクメニューボタン	マゼンタ、シアン、イエロー、ブラックの各インクについてそれぞれ残量の目安が表示されます。押すと下記のインクメニューが表示されます。 テストプリント / ヘッドクリーニング / インク残量
2	受信モード	現在の受信モードを表示します。
3	Wi-Fi 接続・電波状態表示 / Wi-Fi 設定ボタン	無線 LAN 設定のオン / オフが表示されます。押すと、Wi-Fi 設定の画面に飛びます。無線 LAN 設定後は、電波状態を 4 段階（0 1 2 3）で表示します。
4	日時表示 / 時計セットボタン	現在の日時が表示されており、押すと時計セットの画面に飛びます。 ⇒ 30 ページ「日付と時刻を設定する」
5	みるだけ受信オン・オフ表示 / みるだけ受信設定ボタン	現在のファクスの見かたが表示されており、押すとみるだけ受信のオン・オフ設定ができます。 ・オン（チェックマーク）：受信したファクスは印刷されず、画面上で確認します。 ・オフ（×マーク）　：受信したファクスは印刷されます。
6	全てのメニューボタン	本製品を使用する上で必要な、さまざまな設定メニューの入り口です。以下 7 つに分類された項目のボタンから各種の設定を行います。 基本設定 / お気に入り設定 / ファクス / ネットワーク / レポート印刷 / 製品情報 / 初期設定 ⇒ 164 ページ「機能一覧」
7	記録紙サイズ表示 / 設定ボタン	現在設定されている記録紙のサイズが表示されており、押すと記録紙サイズ設定の画面に飛びます。
8	記録紙タイプ表示 / 設定ボタン	現在設定されている記録紙の種類が表示されており、押すと記録紙タイプ設定の画面に飛びます。

本製品は、ARPHIC TECHNOLOGY CO.,LTD. 製のフォントを採用しております。

本製品には株式会社エイチアイの MascotCapsule® UI Framework と MascotCapsule Tangiblet が使用されています。
MascotCapsule は、株式会社エイチアイの日本における登録商標です。

画面の操作方法

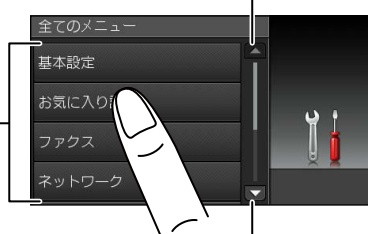
画面に表示された項目やアイコンを押して操作します。画面上に▲/▼/◀/▶が表示されているときは、▲/▼/◀/▶を押すとその方向に画面がスクロールします。またこのとき、指を画面上ですべらせるように動かしてスクロールさせることもできます。この画面上で指をすべらせる動作のことを「フリック」といいます。

◀/▶を押してスクロールする。

または

フリックしてスクロールする。

項目のボタンを押すと次の画面が表示されます。

灰色表示は、続きがないことを示します。

項目の続きがあります。

ボタンを押すと設定が有効になります。

キーボードを押して入力します。

入力値を確定します。

重要

- タッチパネルは先のとがったもので押さないでください。タッチパネルが損傷する恐れがあります。

お願い

- フリック操作を行うときは、指が画面に触れた状態で、ゆっくりスライドさせてください。

操作例

【基本設定】の【画面の明るさ】の設定方法を例に説明します。

1 を押す

操作パネル上の を押すと、1 つ前の画面に戻すことができます。

2 【全てのメニュー】（1）を押す

メニュー画面が表示されます。

3 【基本設定】を押す

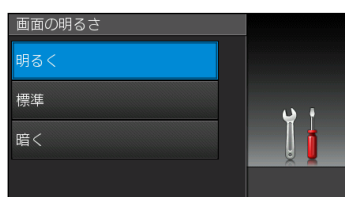
次の階層が表示されます。

4 【画面の設定】を押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

次の階層が表示されます。

5 【画面の明るさ】を押す

6 希望の明るさを選ぶ

ボタンを押すと、その明るさにすぐに画面が変わります。

7 を押して設定を終了する

電源ボタンについて

電源ボタンを押すと、本製品の電源をオン / オフできます。

なお、本製品は、電源をオフにした場合でも、印刷品質を保つため、定期的にヘッドクリーニングを行う必要があります。ヘッドクリーニングを定期的に行なうためには、電源プラグを抜かないで電源ボタンを使用してください。

- 電源ボタンで電源を切ることにより、本製品を使用しないときの消費電力を抑えることができます。
- 電源がオフの場合は、次の機能が使用できなくなります。（電話機コードが接続されているだけではファクスは送受信できません。）
  - ファクス
  - パソコンからの印刷
  - デジカメプリント
  - コピー
  - スキャン
  - レポート印刷
  - Web 接続
- ヘッドクリーニングの頻度は、ご利用の環境によって異なります。
- ヘッドクリーニング時は、全色のヘッドをクリーニングするため、カラーインクも消費します。
- 本体の電源がオフの場合でも、電話機コードが接続されていれば、別途つないだ電話機での通話は可能です。

電源をオフにする

1 を 2 秒以上押す

画面に【電源をオフにします　オフ後はファクスが使用できなくなります】と表示され、電源がオフになります。

電源をオンにする

1 を押す

はじめに設定する

別冊の「かんたん設置ガイド」に沿って回線種別の設定が既に完了している場合は、次のページにお進みください。引っ越しなどで電話回線の環境に変更があったときは設定し直してください。

回線種別を設定する

[回線種別設定]

設置時に回線種別が自動設定できなかった場合や、引っ越しなどで電話回線の環境が変わったときなどに手動で回線種別を設定します。

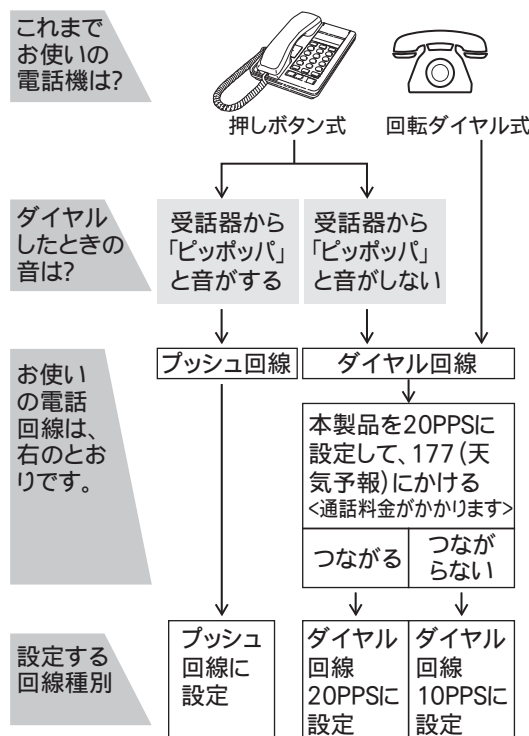
1 【ファクス】、【オンフック】を順に押し、「ツー」という音が聞こえることを確認する

お願い

■ みるだけ受信をするように設定している場合は、【ファクス】、【ファクス送信】、【オンフック】の順に押して確認してください。

- 聞こえないときは、電話機コードを正しく接続し直してください。
⇒かんたん設置ガイド
- 正しく接続し直しても聞こえないときは、別の電話からご利用の電話会社にお問い合わせください。

2 【オンフック】を押して回線を切り、 を押す

3 回線種別を確認する

4 を押す

5 【全てのメニュー】、【初期設定】、【回線種別設定】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

6 回線種別を選ぶ

- 回線種別がわからないときは、【ダイヤル　20PPS】、【プッシュ回線】、【ダイヤル　10PPS】の順に設定してみてください。
- ひかり電話サービス、直収電話サービスをご利用の場合は、【プッシュ回線】に設定してください。

7 を押して設定を終了する

回線種別の手動設定終了後、「177」（天気予報）などにつながることをご確認ください。（通話料金がかかります）

日付と時刻を設定する

[時計セット]

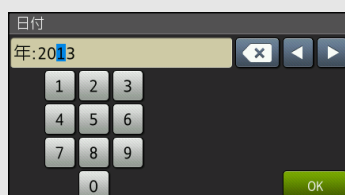
現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻はファクスを送信したときに相手側の記録紙に印刷され、時刻は待ち受け画面にも表示されます。

1 を押す

2 画面右上の日付部分（1）を押す

、【全てのメニュー】、【初期設定】、【時計セット】を順に押しても、時計セットメニューに入れます。

3 【日付】を押す

年の入力画面が表示されます。

4 画面に表示されているテンキーで西暦の下 2 桁を押し、【OK】を押す

2013 年の場合は、【1】【3】と押します。

日付や時刻を間違って入力したときは、 を押すと、入力し直すことができます。

月の入力画面が表示されます。

5 画面に表示されているテンキーで月を 2 桁で押し、【OK】を押す

1 月の場合は、【0】【1】と押します。

日付の入力画面が表示されます。

6 画面に表示されているテンキーで日付を 2 桁で押し、【OK】を押す

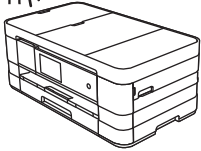
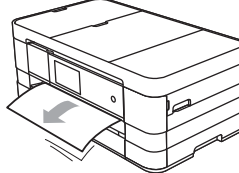
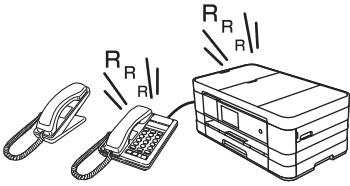
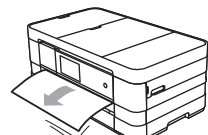
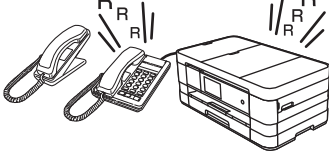
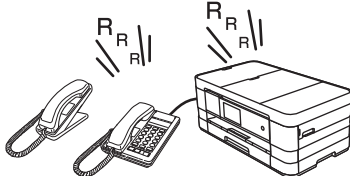
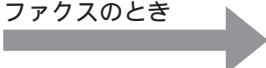
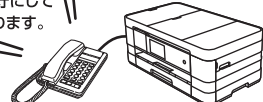
21 日の場合は、【2】【1】と押します。

7 【時刻】を押す

8 画面に表示されているテンキーで時刻を 24 時間制で押し、【OK】を押す

午後 0 時 45 分の場合は、
【1】【2】【4】【5】と押します。

9 を押して設定を終了する

待ち受け画面に戻り、設定した時刻が表示されます。

時刻は時間が経過すると誤差が生じます。定期的に設定し直すことをお勧めします。

時刻設定がしてあっても、発信元登録をしないと、ファクス送信時、相手側の記録紙に日時は印刷されません。

受信モードを選ぶ

お使いの環境にあわせて受信モードを選びます。お買い上げ時は「ファクス専用モード」に設定されています。

電話機を接続しない（お買い上げ時）

● ファクス専用【FAX= ファクス専用】

※呼出ベル回数を 0 回にすると、着信音を鳴らさずにファクスを自動受信できます。
⇒ 34 ページ「呼出ベル回数を設定する（ファクスのとき着信音を鳴らさずに受信する）」
※ファクス専用モードで電話を受けるには、呼出音が 4 回鳴るまでに電話に出る必要があります。**お使いの電話機を本製品に接続する場合は、このモードに設定しないでください。**

電話機を接続する

● 自動で切り換える【F/T= 自動切換え】

※ファクス付き電話は接続できません。
※呼出ベル回数を 0 回にすると、着信音を鳴らさずにファクスを自動受信できます。
⇒ 34 ページ「呼出ベル回数を設定する（ファクスのとき着信音を鳴らさずに受信する）」
※回線がつながると、本製品と接続している電話機に出なかった場合でも相手に通話料金がかかります。
※回線がつながった後に鳴る再呼出音の回数も設定できます。
⇒ 34 ページ「再呼出ベル回数を設定する」
※黒電話（旧型のダイヤル回転式の黒い電話機）を接続して使用すると、黒電話の再呼出音が鳴らない、再呼出音量が小さいなどの問題が発生する場合があります。
※ファクスが自動受信されない場合は、受話器をとってから【ファクス送受信】、【受信】の順に押して手動でファクスを受信してください。

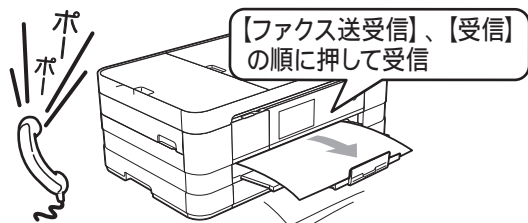
● 手動で切り換える【TEL= 電話】

※「親切受信」の設定を【する】にしている場合は、7 秒待つと自動的にファクスを受信します。
⇒ 66 ページ「電話に出ると自動的に受ける（親切受信）」

電話機を接続する	● 外出するとき【留守 = 外付け留守電】 ※ファクス付き電話は接続できません。 ※本製品と接続している留守番電話機の設定は、以下のようにしてください。 • 本製品と接続している留守番電話機の設定は「留守」にしてください。 • より確実に受信するために、呼出ベル回数が設定できる機種では、応答するまでの呼出ベル回数を短め（1 ～ 2 回）に設定してください。 • 応答メッセージは、最初に 4、5 秒くらい無音状態を入れ、できるだけ短め（20 秒以内）に録音してください。 • 応答メッセージには、BGM を録音しないでください。 • 録音用のテープがある場合は、テープが留守番電話機に取り付けられていることを確認してください。

- メッセージがいっぱいで留守番電話機が応答しない場合は、ファクスも自動受信しません。
- 留守番電話機の機能が一部使えなくなる場合があります。（転送機能など）

着信音が鳴っている間に本製品と接続している電話に出た場合

相手がファクスのとき	相手が電話のとき
受話器から「ポーポー」という音が聞こえたら、相手がファクスです。 【ファクス送受信】、【受信】を押してファクスを受信します。 ※「親切受信」の設定を【する】にしている場合は、7 秒待つと自動的にファクスを受信します。 ⇒ 66 ページ「電話に出ると自動的に受ける（親切受信）」	そのまま通話できます。

受信モードを設定する

[受信モード]

本製品の使用目的に応じて、受信モードを選びます。

1 **を押す**

2 **【全てのメニュー】、【初期設定】、【受信モード】を順に押す**

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

3 **受信モードを選ぶ**

⇒ 31 ページ「受信モードを選ぶ」

- 【FAX= ファクス専用】
  ファクス専用モードです。
- 【F/T= 自動切換え】
  自動切換モードです。
- 【留守 = 外付け留守電】
  外付け留守電モードです。
- 【TEL= 電話】
  電話モードです。

【FAX= ファクス専用】以外を選んだ場合は、必ずお使いの電話機を接続してください。

4 **を押して設定を終了する**

着信音の回数を設定する

【呼出ベル回数 / 再呼出ベル回数】

呼出ベル回数を設定する（ファクスのとき着信音を鳴らさずに受信する）

「ファクス専用モード」と「自動切換えモード」の場合、本製品が自動受信するまでに鳴る着信音の回数を設定します。

本製品に接続されている電話機も、ここで設定した回数だけ着信音が鳴ります。
お買い上げ時は【4】に設定されています。

【0】に設定すると、着信音を鳴らさずに自動受信します。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【呼出ベル回数】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

3 呼出ベル回数を選ぶ

【0 ～ 10】から選びます。

【0】にすると、着信音を鳴らさずに自動受信できます。

4 を押して設定を終了する

- お使いの電話機を接続している場合、本製品の呼出ベル回数を【0】に設定しても、お使いの電話機の着信音が 1 ～ 2 回鳴ることがあります。
- 呼出ベル回数を 7 回以上に設定すると、特定の相手からのファクスが受信できない場合があります。呼出ベル回数を 6 回以下に設定することをお勧めします。
- 本製品に複数台の電話機を接続すると、お使いの電話機のベルが鳴らない場合があります。

再呼出ベル回数を設定する

「自動切換えモード」の場合、電話のときは着信音の後に「トゥルートゥルー」という呼出音が鳴ります。この呼出音の鳴る回数を設定します。
お買い上げ時は【8】に設定されています。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【再呼出ベル回数】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

3 再呼出ベル回数を選ぶ

【8 ／ 15 ／ 20】から選びます。

4 を押して設定を終了する

- 設定した再呼出ベル回数の間に電話に出なかった場合は、本製品が自動的に電話を切ります。

音量を設定する

本製品の音量を調整します。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【基本設定】、【音量】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

3 変更したい音を選ぶ

- 【着信音量】
  着信時のベルの音量を調整します。
- 【ボタン確認音量】
  操作パネル上のボタンを押したときに鳴る確認音を調整します。
- 【スピーカー音量】
  オンフック時の音量を調整します。

4 好みの音量を選ぶ

【切／小／中／大】から選びます。

5 必要に応じて手順3、4を繰り返し、他の音も調整する

6 を押して設定を終了する

着信音量は着信中に表示される / でも調整できます。

スピーカー音量は、【オンフック】で回線接続中（⇒ 29 ページ）に、 を押して表示される / でも調整できます。

着信音量を【切】に設定していても、下記の音は最小音量で鳴ります。

- 本製品が自動着信したあと、相手が電話だということを知らせる「トゥルッ、トゥルッ」という再呼出音

ボタン確認音量を【切】に設定していても、エラーのときはブザー音が鳴ります。

スリープモードに入る時間を設定する

設定した時間内にファクスの送受信やパソコンからの印刷、コピーなどが行われなかったとき、本製品は自動的に待機状態（スリープモード）に切り替わります。待機中でもファクスやパソコンからの印刷には影響はなく、受け付けるとただちに印刷します。この待機状態（スリープモード）に切り替わるまでの時間を設定します。お買い上げ時は【5 分】に設定されています。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【基本設定】、【スリープモード】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼ を押して、画面をスクロールさせます。

3 希望の時間を選ぶ

【1 分／ 2 分／ 3 分／ 5 分／ 10 分／ 30 分／ 60 分】から選びます。

4 を押して設定を終了する

使用するときは、操作パネル上のボタンのいずれかを押すかタッチパネルに軽く触れれば、すぐに再起動します。

ホーム画面を選ぶ

3 タイプ 5 画面の中から自分が最も使う画面を選んで設定し、これをホーム画面とします。設定後は、を押したり無操作で時間が経過すると、ここで選んだホーム画面に戻ります。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【基本設定】、【ボタン設定】、【ホームボタン設定】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼ を押して、画面をスクロールさせます。

3 好みの待ち受け画面を選ぶ

【基本／便利な機能／お気に入り 1/ お気に入り 2/ お気に入り 3】 から選びます。
お気に入りへの登録は別途行います。
⇒ 38 ページ「お気に入りを登録する」

4 を押して設定を終了する

お気に入りを登録する

「お気に入り」としてメニューを登録します。
お気に入りには「1」～「3」があります。登録するときは「1」にファクス、「2」にコピー、「3」に「スキャン」というような機能別にしたり、「1」「2」「3」を使用者ごとに割り当てるなどして、あとでわかりやすいようにご利用ください。
お気に入りに登録できるメニューおよび設定条件は次の通りです。

機能	第 1 選択項目（メニュー）	第 2 選択項目（設定条件）
コピー	標準、高画質、片面⇒両面、A4 ⇒ A3 拡大、2in1（ID カード）、2in1、ポスター、インク節約、ブック	コピー画質、記録紙タイプ、記録紙サイズ、拡大 / 縮小、コピー濃度、スタック / ソート、レイアウトコピー、両面コピー、便利なコピー設定
ファクス	相手先の電話番号	ファクス画質、原稿濃度、みてから送信、カラー設定、リアルタイム送信、海外送信モード
スキャン	ファイル OCR イメージ E メール添付	PC 名
	メディア	カラー設定、解像度、ファイル形式、ファイル名、おまかせ一括スキャン、地色除去
	ネットワーク FTP サーバー	プロファイル名
クラウド	ウェブサービスに、スキャンした画像をアップロードしたり、アップロードされている画像を印刷することができる機能をお気に入りに登録することができます。クラウドをお気に入り登録するには、あらかじめ、ご利用になるサービスのアカウントを登録しておく必要があります。 詳しくは、「クラウド接続ガイド」をご覧ください。（「クラウド接続ガイド」は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。）	

お気に入りに機能や設定条件を登録する

1 左右にフリックするか、◀/▶ を押して、待ち受け画面を【お気に入り 1（2）（3）】にする

2 未登録の ➕ を押す

3 登録したい機能を選ぶ

【コピー／ファクス／スキャン／クラウド】から選びます。

コピーを選んだ場合

4 【OK】を押す

5 コピーメニューを選ぶ

6 必要に応じて設定条件を変更する

本製品の機能にあっても、お気に入り登録画面に表示されない項目や、灰色表示される項目は設定できません。

⇒手順 7 へ

ファクスを選んだ場合

4 【OK】を押す

5 ダイヤルボタンまたは【電話帳】、【履歴】で相手先のファクス番号を入力する

- 設定条件を変更する場合は、【設定変更】を押す
- 設定条件を変更しない場合は、⇒手順 7 へ

6 設定条件を変更し、【OK】を押す

本製品の機能にあっても、お気に入り登録画面に表示されない項目や、灰色表示される項目は設定できません。

⇒手順 7 へ

スキャンを選んだ場合

4 スキャンメニューを選ぶ

メニューが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

5 【OK】を押す

6 選んだスキャンメニューに応じた項目を設定する

- ファイル /OCR/ イメージ /E メール添付：保存するパソコンを選び、【OK】を押します。⇒手順 8 へ
- メディア：ファイルの保存条件を変更したい場合は【設定変更】を押して設定し直し、【OK】を押します。灰色表示される項目は設定できません。⇒手順 7 へ
- ネットワーク /FTP サーバー：プロファイル名を選び、【OK】を押します。プロファイル名は、パソコンのウェブブラウザーからあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは、ユーザーズガイド パソコン活用編「スキャンキー操作（共通編）」をご覧ください。⇒手順 8 へ

クラウドを選んだ場合

クラウドをお気に入り登録するには、あらかじめ、ご利用になるサービスのアカウントを登録しておく必要があります。
詳しくは、「クラウド接続ガイド」をご覧ください。（「クラウド接続ガイド」は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。）

4 【OK】を押す

✕ を押すと、設定は中断されます。

5 クラウド サービスを選ぶ

メニューが表示されていないときは左右にフリックするか、◀/▶を押して、画面をスクロールさせます。

6 アカウントを設定して、【OK】を押す

アカウントが PIN コードを必要とする場合は、PIN コードも設定してください。また、選んだサービスによっては、更にアップロードやダウンロードを選択する必要があります。画面の指示に従って設定してください。

⇒手順 9 へ

7 設定できたら【お気に入り登録】、【OK】を順に押す

8 画面に表示されたテンキーで名前を入力して、【OK】を押す

⌫ を押してすでに付いている名前（お気に入り 1 など）はいったん消してください。
⇒ 162 ページ「文字の入力方法」

【ファクス】を登録した場合は、登録した相手先が電話帳（⇒ 76 ページ）にも反映されるため【ヨミガナ】の編集画面が表示されます。必要に応じて読みがなを編集し、【OK】を押してください。

9 【OK】を押して登録を終了する

クラウドサービスをお気に入りに登録する場合のみ、お気に入り名は自動で割り当てられます。この名前はお気に入りの編集で変更することもできます。
⇒ 40 ページ「お気に入りの登録名を変更する」

登録したお気に入りを呼び出す

1 **左右にフリックするか、◀/▶ を押して、待ち受け画面を【お気に入り 1（2）（3）】にする**

2 **呼び出したいお気に入りを押す**

画面に設定条件が表示されます。スタートキーを押すと機能を実行できます。

お気に入りを編集する

お気に入りの登録名を変更する

1 **待ち受け【お気に入り 1（2）（3）】画面で、名前を編集したいお気に入りを 2 秒以上押す**

、【全てのメニュー】、【お気に入り設定】の順に押して表示されるお気に入り一覧から編集対象のお気に入りを選ぶこともできます。

2 **【お気に入り名の編集】を押す**

3 **⌫ を押して古い名前を消去する**

長押しすると登録名は一度に消去されます。

4 **画面に表示されたテンキーで名前を再入力して、【OK】を押す**

お気に入りの設定条件を変更する

1 **変更したいお気に入りを呼び出す**

⇒ 40 ページ「登録したお気に入りを呼び出す」

2 **設定条件を変更する**

機能により、変更画面が違います。
⇒ 38 ページ「お気に入りを登録する」

このあと設定条件を保存せずにスタートすると、変更を一時的に有効にして機能を実行できます。

3 **【お気に入り登録】、【OK】を順に押す**

4 **【はい（上書き）】を押す**

【いいえ（新規作成）】を押すと、条件を変更した設定で新たにお気に入りを登録します。名前をつけて保存してください。

5 **【OK】を押して設定を終了する**

登録したお気に入りを削除する

1 **待ち受け【お気に入り 1（2）（3）】画面で、削除したいお気に入りを 2 秒以上押す**

、【全てのメニュー】、【お気に入り設定】の順に押して表示されるお気に入り一覧から削除対象のお気に入りを選ぶこともできます。

2 **【消去】を選ぶ**

3 **【はい】を押す**

記録紙のセット

印刷品質は記録紙の種類によって大きく左右されます。目的に合った記録紙を選んでください。また、記録紙をセットしたときは、本製品の「記録紙タイプ」（⇒ 51 ページ「記録紙の種類を設定する」）またはプリンタードライバーの「用紙種類」の設定を変更してください。（Windows® の場合⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」－「印刷の設定を変更する」、Macintosh の場合⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」－「印刷の設定を変更する」）
記録紙には色々な種類があるので、大量に購入される前に試し印刷することをお勧めします。

使用できる記録紙

種類 （紙種 / 素材 / 形状）	厚さ	一度にセットできる枚数 [*1]	サイズ表記　[　　] 内は手差しトレイでのみ使用可能			
			ファクス	コピー	デジカメプリント	プリンター
普通紙	64g/m^2 ～ 120g/m^2 （0.08mm ～ 0.15mm）	150[*2]	A4	[A3] [B4] A4 B5 A5 2L 判 [*4] L 判	[A3] A4 2L 判 [*4] L 判	[A3] [JIS B4] [レジャー] [リーガル] A4 JIS B5 A5 A6 レター エグゼクティブ 2L 判 [*4] L 判
インクジェット紙	64g/m^2 ～ 200g/m^2 （0.08mm ～ 0.25mm）	20	－			
光沢紙	220g/m^2 以下 （0.25mm 以下）[*3]	20	－			
OHP フィルム	0.13mm 以下	10	－	A4 A5 B5	－	[A3] [JIS B4] A4 JIS B5
はがき （普通紙 / インクジェット紙 / 光沢紙）	220g/m^2 以下 （0.25mm 以下）	20	－	ハガキ	ハガキ	ハガキ
往復はがき （普通紙 / インクジェット紙）	220g/m^2 以下 （0.25mm 以下）	20	－	－	－	往復ハガキ
ポストカード （101.6mm × 152.4mm）	0.25mm 以下	20	－	－	－	ポストカード
インデックスカード （127mm × 203.2mm）	120g/m^2 以下 （0.15mm 以下）	30	－	－	－	インデックスカード
封筒	75g/m^2 ～ 95g/m^2	10	－	－	－	[角形 2 号封筒] 長形 3 号封筒 長形 4 号封筒 洋形 2 号封筒 洋形 4 号封筒 Com-10 DL 封筒

[*1] 記録紙トレイに一度にセットできる枚数です。手差しトレイには、いずれの記録紙も一度に 1 枚しかセットできません。
[*2] 80g/m^2 の記録紙の目安です。実際には、トレイ内側の上限マーク（△の目印）を超えないようにセットしてください。
[*3] ブラザー BP71 写真光沢紙の厚さは 260g/m^2 ですが、本製品の専用紙として作られていますのでご使用いただけます。
[*4] 127mm × 178mm

専用紙・推奨紙

印刷品質維持のため、下記の弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。

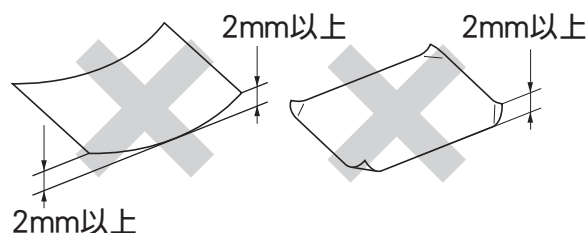
記録紙種類	商品名	型番（サイズ）	枚数
普通紙	上質普通紙	BP60PA3（A3）	250 枚入り
		BP60PA（A4）	250 枚入り
光沢紙	写真光沢紙	BP71GA3（A3）	20 枚入り
		BP71GA4（A4）	20 枚入り
		BP71GLJ50（L 判）	50 枚入り
		BP71GLJ100（L 判）	100 枚入り
		BP71GLJ300（L 判）	300 枚入り
		BP71GLJ500（L 判）	500 枚入り
マット紙	インクジェット紙（マット仕上げ）	BP60MA3（A3）	25 枚入り
		BP60MA（A4）	25 枚入り

重 要

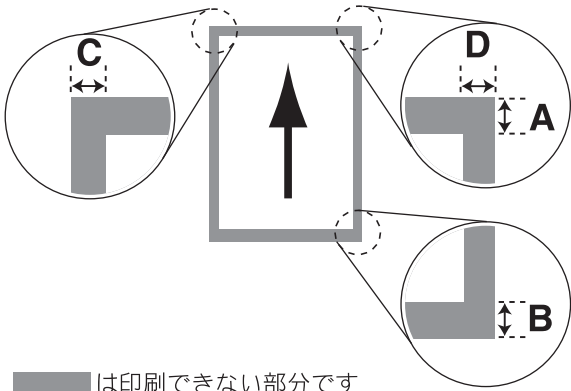
- 指定された記録紙でも、以下の状態の記録紙は使用できません。
  傷がついている記録紙、カールしている記録紙、シワのある記録紙、留め金のついた記録紙、すでに印刷された記録紙（写真つきはがきを含む）
- 指定以外の記録紙は使用できません。誤って使用すると、故障や紙づまりの原因になります。封筒の場合は斜めに送り込まれたり、汚れたりします。
- ラベル用紙は使用できません。誤って使用すると、正しく印刷されなかったり、ラベルが内部に付着し、故障の原因となることがあります。

お願い

- 使用していない記録紙は袋に入れ、密封してください。湿気のある場所、直射日光の当たる場所には保管しないでください。
- 往復はがきには、「折ってあるタイプのもの」と「折り目はあるが折っていないタイプのもの」があります。「折ってあるタイプのもの」を使用すると往復はがきの後端に汚れなどが発生することがありますので、「折り目はあるが折っていないタイプのもの」をご使用ください。

- OHP フィルムは以下の推奨品をお使いください。
  住友スリーエム社製 OHP フィルム 型番：CG3410
- OHP フィルムやブラザー写真光沢紙をセットするときは、実際にプリントしたい枚数より 1 枚多くトレイにセットしてください。
  ※ブラザー BP71 写真光沢紙には、1 枚多く光沢紙が同封されています。
- ブラザー BP71 写真光沢紙をお使いの場合は、光沢紙に同封されている「取扱説明書」と「取扱説明書ー印刷後の乾燥・保存方法について」をよくお読みください。
- カールしている記録紙について
  特に、はがきや光沢紙（L 判、2L 判）はカールしている場合があるため、曲がりや反りを直して使用してください。
  カールしている記録紙をそのまま使用すると、インク汚れ、印刷のずれ、記録紙づまりが発生します。

記録紙の印刷範囲

記録紙には印刷できない部分があります。以下の図と表に、印刷できない部分を示します。なお、図と表の A、B、C、D はそれぞれ対応しています。

> 下記の数値は、プリンター機能でふちなし印刷を行っていない場合の数値です。ふちなし印刷を選択すると、印刷できない部分（余白）は、基本的に「0」になりますが、お使いのパソコンの OS によっては、完全に「0」にならない場合もあります。

（単位：mm）

記録紙	A	B	C	D
A3/JIS B4/A4/JIS B5/A5/A6 レジャー/リーガル/レター/エグゼクティブ 2L 判 /L 判 インデックスカード ポストカード はがき / 往復はがき	3	3	3	3
角形 2 号封筒 長形 3 号封筒 長形 4 号封筒 洋形 2 号封筒 洋形 4 号封筒	12	22	3	3
Com-10 封筒 DL 封筒	22	22	3	3

※印刷できない部分の数値（A、B、C、D）は、概算値です。また、この数値はお使いの記録紙によっても変わることがあります。

トレイの種類

記録紙トレイ

A4、B5 などの記録紙、写真用光沢はがき、封筒などをセットします。

⇒ 44 ページ「記録紙トレイにセットする」

手差しトレイ

記録紙トレイの記録紙を入れ替えることなく、現在、記録紙トレイにセットされていない記録紙にすぐに印刷したいときに使用します。基本的に本製品で対応可能なすべての記録紙がセットできますが、一度にセットできるのは 1 枚だけです。なお、A3 や B4 など A4 より大きいサイズの記録紙は、必ずこの手差しトレイにセットします。

⇒ 49 ページ「手差しトレイにセットする」

最大排紙枚数について

厚さ 80g/m^2 の A4 記録紙の場合、最大 50 枚まで排紙できます。写真用光沢紙や OHP フィルムに印刷した場合は、インク汚れを防ぐため、排紙トレイから 1 枚ずつ取り出してください。

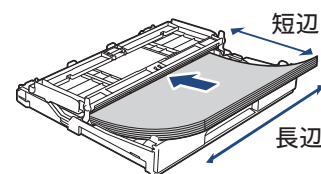
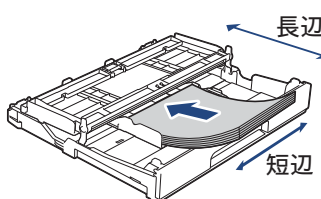
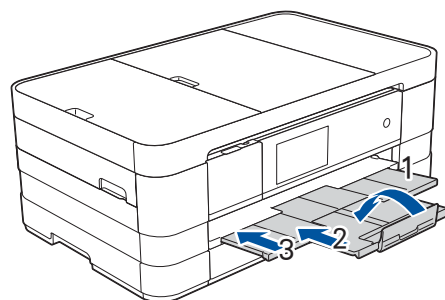
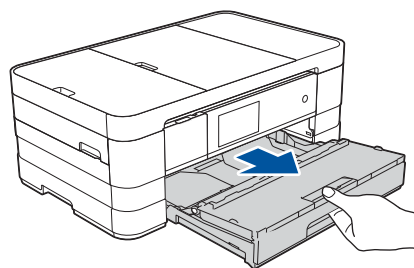
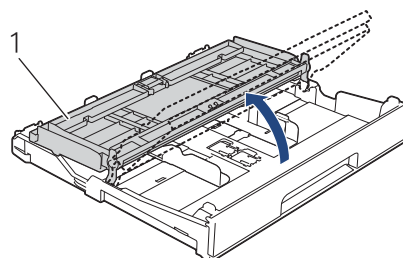
記録紙トレイにセットする

⚠注意

● 本製品を運ぶ際は、本体側面下部にある手掛け部分にしっかり指を掛けて持ってください。原稿台カバーや本体カバーを持つと本製品を落として、大けがの原因になります。

お願い

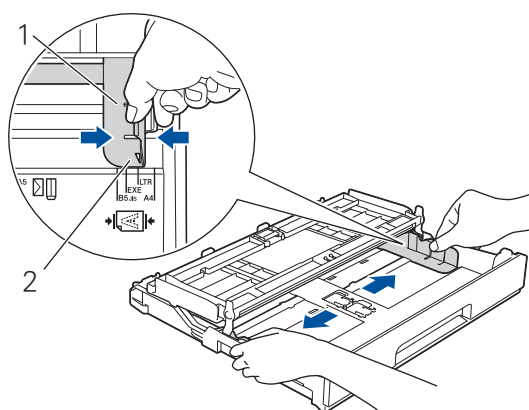
■ 光沢紙の印刷面に直接手を触れないでください。
■ インクジェット紙、光沢紙、OHP フィルムには表側と裏側があります。記録紙の取扱説明書をお読みください。
■ 種類の異なる記録紙を一緒にセットしないでください。
■ 印刷する枚数が少ない場合など、光沢紙がうまく引き込まれないときは、光沢紙に付属している同サイズの補助紙または余分に光沢紙をセットしてください。
■ ブラザー写真光沢紙をセットするときは、プリントしたい枚数より 1 枚多くトレイにセットしてください。このとき用紙の表と裏をそろえてください。
※ブラザー BP71 写真光沢紙には、1 枚多く光沢紙が同封されています。

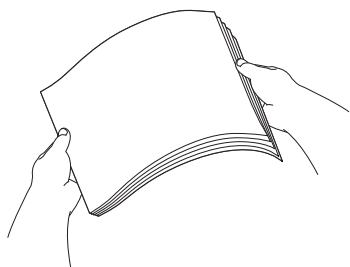
● 記録紙のサイズによってセットする向きが異なります

• A4 • レター • エグゼクティブ • B5	横方向
• A5 • A6 • 2L 判 • L 判 • ハガキ • 往復ハガキ • ポストカード • インデックスカード • 封筒（角形 2 号を除く）	縦方向

1 **記録紙ストッパーが引き出されている場合は、フラップを閉じて（1）、格納する（2、3）**

2 **記録紙トレイを引き出す**

3 **トレイカバー（1）を開く**

ここから先の手順は、記録紙の種類によって異なります。それぞれのタイトルに飛んでお読みください。

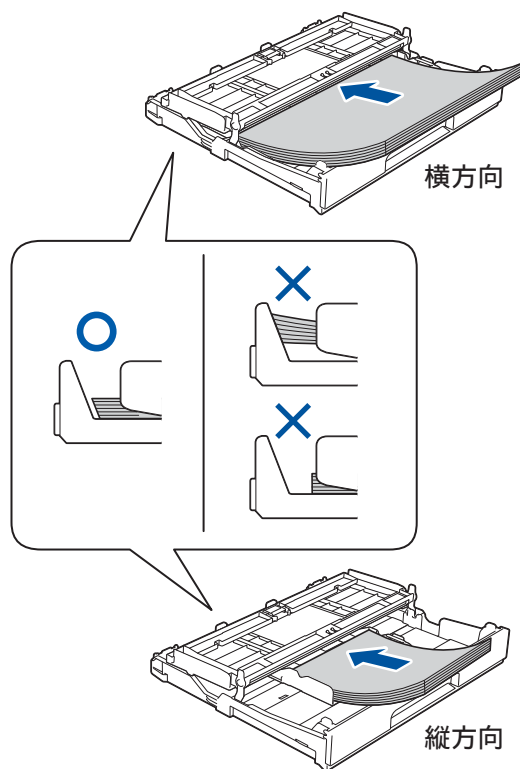
- L 判、はがき、封筒以外（A4、B5、2L 判など）の記録紙
- L 判、はがき
- 封筒

L 判、はがき、封筒以外（A4、B5、2L 判など）の記録紙をセットする

4 記録紙ガイド（1）の▽の目印（2）を、記録紙サイズの目盛りに合わせる

記録紙ガイドは両手で動かしてください。

5 記録紙をさばく

記録紙がカールしていないこと、しわがないことを確認してください。
記録紙がカールしていたり、しわがあると紙づまりの原因になります。

6 印刷したい面を下にして、記録紙の上端から先にセットする

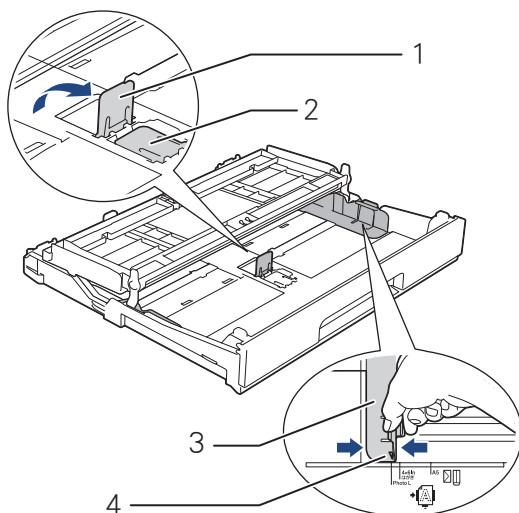
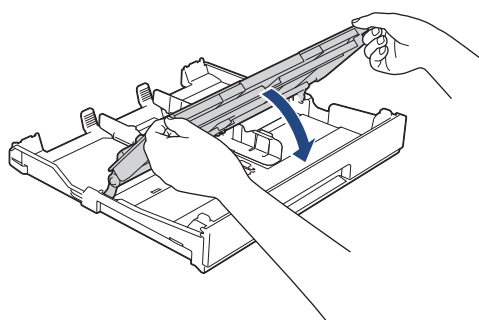
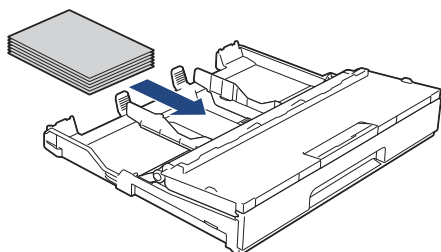
記録紙は、強く押し込まないでください。
用紙先端が傷ついたり、装置内に入り込んでしまうことがあります。

⇒手順 7 へ

L 判、はがきをセットする

お願い

- ■ インクジェット紙はがきと写真用光沢はがきは自動両面印刷できません。宛先面、通信面ともに印刷する場合は、片面ずつ印刷してください。この場合、宛先面から先に印刷し、よく乾かしたのち、通信面を印刷することをお勧めします。
- ■ 普通紙はがきは自動両面印刷できます。この場合、通信面から先に印刷すると、印刷速度や印刷品質が落ちる場合があります。宛先面から先に印刷することをお勧めします。

4 **L判ストッパー（1）または はがきストッパー（2）を起こし、記録紙ガイド（3）の▽の目印（4）を、記録紙サイズの目盛りに合わせる**

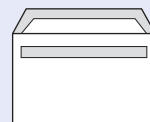
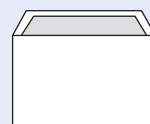
- ストッパーはセットする記録紙にあわせてどちらかを起こしてください。
- 記録紙ガイドは両手で動かしてください。

5 **トレイカバーをいったん閉じる**

6 **記録紙をさばき印刷したい面を下にして、下端からトレイにセットする**

セットできたら再度トレイカバーを開いてください。

⇒手順 7 へ

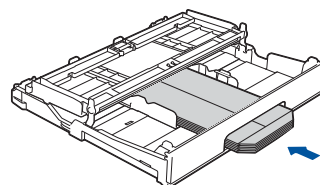
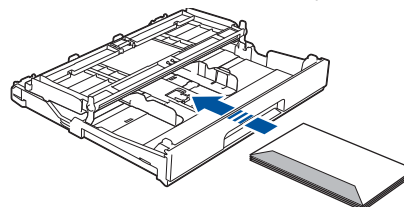
封筒をセットする

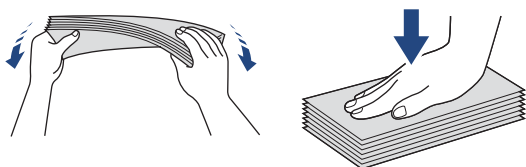
重要

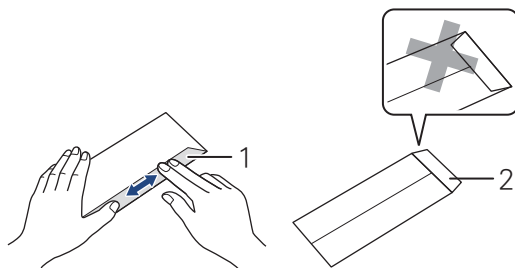
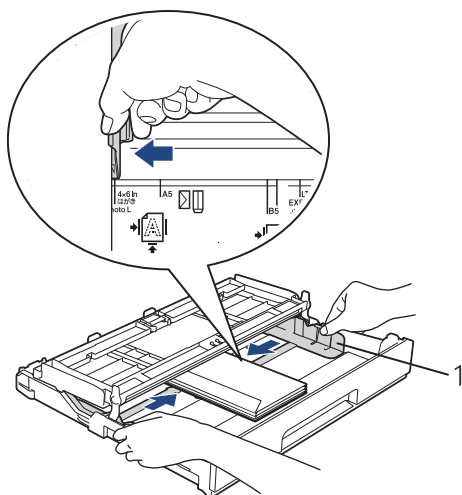
■ 以下の封筒は使用できません。誤って使用すると、故障や紙づまりの原因になります。

・ 窓付き封筒
・ エンボス加工がされたもの
・ 留め金のついたもの
・ 内側に印刷がほどこされているもの
・ ふたにのりが付いているもの

・ 二重封筒（ふたの部分が二重になった封筒）

お願い

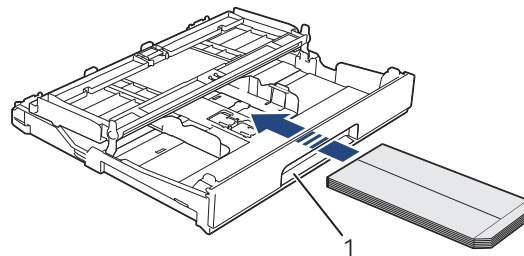
■ 封筒は、坪量 75g/m^2 ～ 95g/m^2 のものをお使いください。

■ 短辺にふたの付いた封筒を、ふたのある方向から給紙すると、印刷面が汚れたり封筒が重なって給紙されたりすることがあります。ふたのない方向からセットしてください。

■ 長辺にふたの付いた封筒は、ふたを折りたたんだ状態でセットしてください。

■ 封筒の厚みやサイズ、ふたの形状によっては、うまく給紙されない場合があります。重なって吸い込まれるなどうまく給紙されない場合は、記録紙トレイの長形封筒挿入口または手差しトレイを使って、封筒を 1 枚ずつセットしてください。

4 封筒にゆがみや折れがあればよくならし、上下左右をそろえる

5 記録紙ガイド（1）をいったん広げて封筒を記録紙トレイの中央にセットし、記録紙ガイドを封筒に合わせる

- 長辺に付いたふた（1）はしっかり折りたたんでください。
- 短辺に付いたふた（2）は折りたたまないでください。

- 封筒は印刷面を下にしてセットしてください。
- 長辺に付いたふたはトレイの左側にくるようにセットしてください。

- 長形 3 号、長形 4 号で短辺にふたが付いたもの、またはそれ以上に長い封筒をセットする場合：手順⇒6へ
- トレイ内に収まる封筒の場合：⇒手順8へ

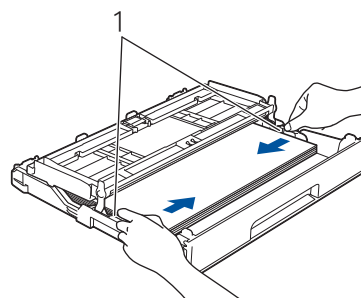
6 封筒をいったん取り出し、長形封筒挿入口（1）からまっすぐに差し入れる

印刷が終わるまで封筒を折り曲げないように注意してください。

短辺にふたの付いた封筒は、ふたのない方向からセットします。コピーや印刷をすると仕上がりが上下逆になります。このため、次のように、原稿の上下を逆にする対処をしてください。

コピーの場合：
原稿の上下を逆にしてセットしてください。
パソコンから印刷する場合：
印刷設定時に［拡張機能］で［上下反転］に設定してください。詳しくは、下記をご覧ください。

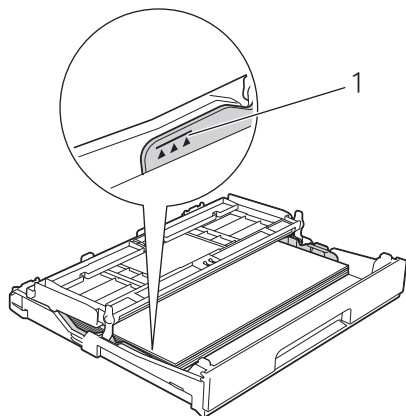
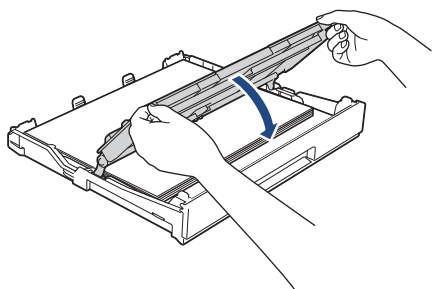
- Windows® の場合⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」－「［拡張機能］タブの設定」
- Macintosh の場合⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」－「拡張機能」

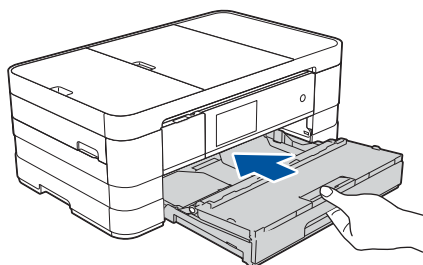
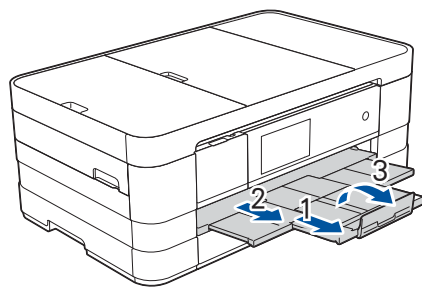
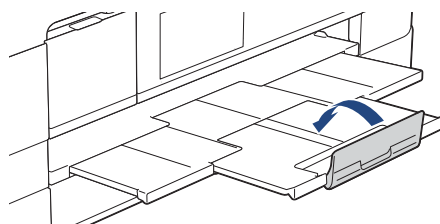
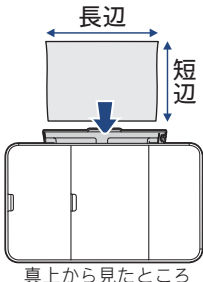
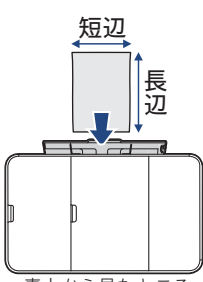
7 記録紙ガイド（1）を、記録紙にぴったりと合わせる

記録紙ガイドは両手で動かしてください。

お願い

■ 記録紙ガイドで記録紙を強くはさみつけないでください。記録紙が浮いたり、傾いたりしてうまく給紙されない場合があります。

8 記録紙がトレイ内側の△マーク（1）を超えていないことを確認する

- トレイに記録紙を入れすぎると、紙づまりの原因になります。
- 一度にセットできる枚数は記録紙によって異なります。
⇒ 41 ページ「使用できる記録紙」

9 トレイカバーを閉める

10 記録紙トレイを元に戻す

記録紙トレイをゆっくりと確実に本製品に戻します。
力を入れて押し込まないでください。トレイを強く押し込むと、紙づまりの原因になります。

11 記録紙ストッパーを確実に引き出し（1、2）、フラップを開く（3）

短辺にふたの付いた封筒をセットした場合は、記録紙ストッパーのフラップを閉じてください。

印刷時にパソコンのアプリケーション上で余白の設定が必要なことがあります。印刷する前に、同じ大きさの用紙などを使用して、試し印刷を行ってください。

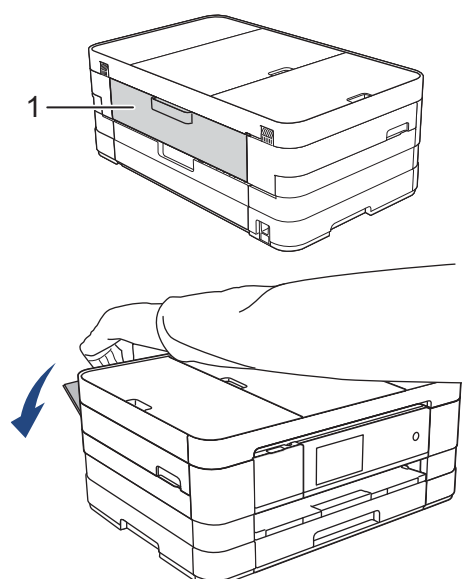
封筒にうまく印刷できない場合は、使用しているパソコンのアプリケーションで、用紙サイズ、余白を調整してみてください。

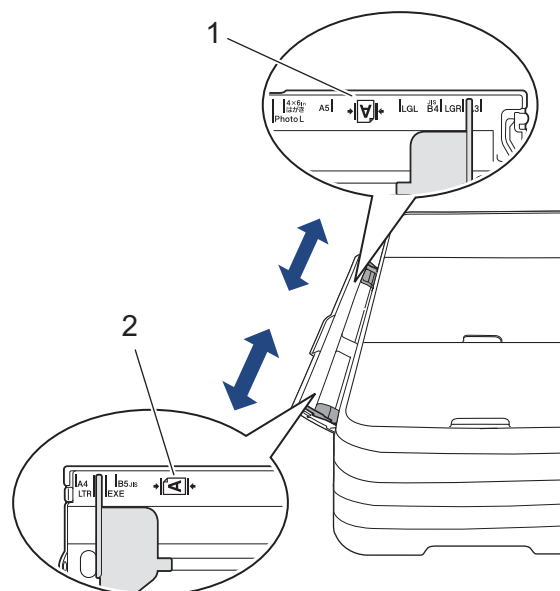
手差しトレイにセットする

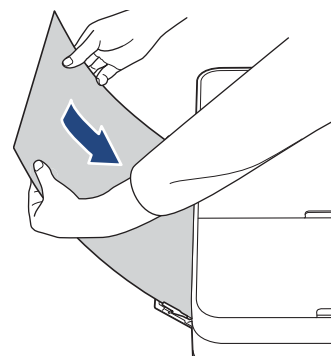
記録紙トレイの記録紙を入れ替えることなく、すぐに 1 枚だけ印刷したいときにセットします。本製品で対応可能なすべての記録紙がセットできます。
一度にセットできるのは 1 枚です。

● 記録紙のサイズによってセットする向きが異なります

• A4 • レター • エグゼクティブ • B5	横方向 真上から見たところ
• A3 • B4 • レジャー • リーガル • A5 • A6 • ハガキ • 往復ハガキ • ポストカード • インデックスカード • 封筒	縦方向 真上から見たところ

1 背面の手差しトレイ（1）を開く

2 ガイドをつまんで動かし、記録紙のサイズの目盛りに合わせせる

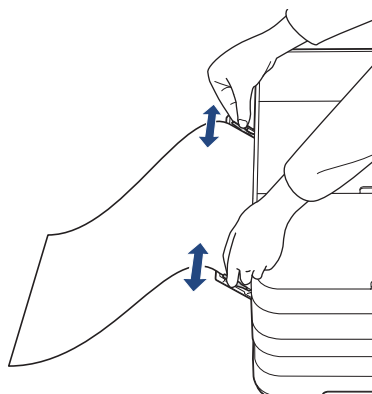
縦方向のマーク（1）は手差しトレイの右上に、横方向のマーク（2）は手差しトレイの左上にあります。それらの位置を確認しながらガイドを動かしてください。

3 印刷する面を上にして、記録紙を 1 枚だけセットする

記録紙の上端を下にしてセットしてください。

お願い

■ 記録紙を 2 枚以上セットしないでください。紙づまりの原因になります。

■ 記録紙トレイから給紙させた記録紙での印刷中に、手差しトレイに記録紙をセットしないでください。紙づまりの原因になります。

4 ガイドを記録紙のサイズに合わせる

記録紙がトレイの中央にセットされるように、両手でガイドを調節します。

お願い

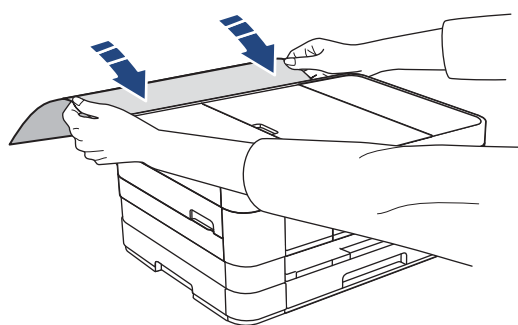
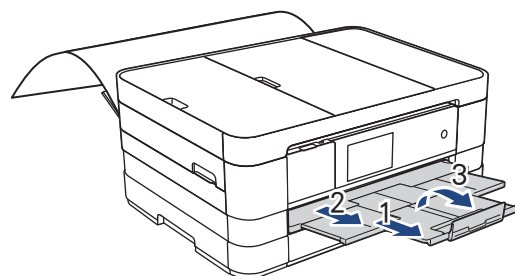
■ ガイドで記録紙を強くはさまないでください。記録紙が折れて、うまく給紙されない場合があります。

■ 中央にセットされなかった場合は、記録紙をいったん取り出してセットし直してください。

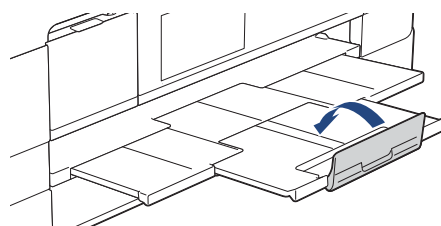
5 底に付くまで記録紙を差し込む

記録紙が底まで届き、記録紙が本製品に少し引き込まれたら手を離してください。
一度にセットできるのは 1 枚です。

お願い

■ 封筒や厚紙は、本製品に引き込まれにくいことがあります。引き込まれるまで、まっすぐに差し込んでください。

6 記録紙ストッパーを確実に引き出し（1、2）、フラップを開く（3）

記録紙の準備ができました。印刷（またはコピー）をスタートします。

A3 や B4 など、A4 より大きいサイズの場合は、印刷が終わっても床に落下しないように、本製品が記録紙を保持します。メッセージに従って操作し、【OK】を押してください。

- A3、B4、レジャーサイズの記録紙と、短辺にフラップのついた封筒をセットした場合は、記録紙ストッパーのフラップを閉じてください。

- 印刷が終了してから手差しトレイを閉じてください。
- 記録紙が手差しトレイにセットされていると、常に手差しトレイから給紙されます。
- レポート印刷（158 ページ）、テストプリント（116 ページ）、受信ファクスは、手差しトレイからは印刷できません。手差しトレイの記録紙は自動的に排紙され、記録紙トレイから給紙されます。
- ヘッドクリーニングが始まると、手差しトレイの記録紙は自動的に排紙されます。ヘッドクリーニングが終了してからもう一度記録紙をセットしてください。
- 記録紙を手差しトレイにセットしたあと、印刷せずに給紙をやめたいときは、記録紙を両手で持ちゆっくりと引き抜いてください。

記録紙の種類を設定する

[記録紙タイプ]

セットした記録紙の種類を本製品で設定します。
お買い上げ時は、【普通紙】に設定されています。

1 を押す

2 記録紙タイプ表示 / 設定ボタン（1）を押す

ボタンには現在の設定値が表示されています。

、【全てのメニュー】、【基本設定】、【記録紙タイプ】を順に押しても設定できます。

3 記録紙タイプを選ぶ

【普通紙／インク紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢／ OHP フィルム】から選びます。

- ブラザー BP71 写真光沢紙以外の光沢紙をお使いの場合は【その他光沢】を選んでください。
- カラーやグラフなどを多く含むビジネス文書を印刷するときは、【インク紙】を選ぶと、よりきれいに印刷できます。

4 を押して設定を終了する

- コピーやデジカメプリントを行うときに、一時的に記録紙の種類を変更することもできます。
  ⇒ 85 ページ「写真用光沢はがきに L 判の写真をコピーする（設定変更の操作例）」
  ⇒ 96 ページ「L 判、はがきに写真をプリントする（印刷設定の操作例）」
- パソコンから印刷するときは、パソコンで記録紙の種類を設定します。
  Windows® の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」－「印刷の設定を変更する」
  Macintosh の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」－「印刷の設定を変更する」

記録紙のサイズを設定する

[記録紙サイズ]

セットした記録紙のサイズを本製品で設定します。
お買い上げ時は【A4】に設定されています。

1 を押す

2 記録紙サイズ表示 / 設定ボタン（1）を押す

ボタンには現在の設定値が表示されています。

、【全てのメニュー】、【基本設定】、【記録紙サイズ】を順に押しても設定できます。

3 記録紙サイズを選ぶ

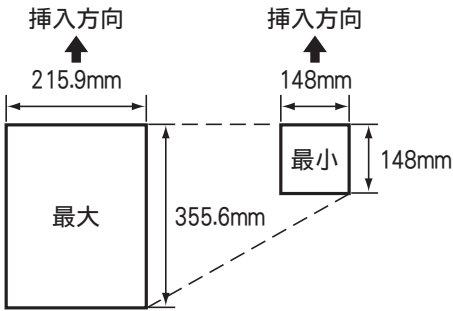
【A4 ／ A5 ／ B5 ／ハガキ／ 2L 判／ L 判】から選びます。

4 を押して設定を終了する

- コピーやデジカメプリントを行うときに、一時的に記録紙のサイズを変更することもできます。
  ⇒ 85 ページ「写真用光沢はがきに L 判の写真をコピーする（設定変更の操作例）」
  ⇒ 96 ページ「L 判、はがきに写真をプリントする（印刷設定の操作例）」
- パソコンから印刷するときは、パソコンで記録紙のサイズを設定します。
  Windows® の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」－「印刷の設定を変更する」
  Macintosh の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」－「印刷の設定を変更する」

原稿のセット

ADF（自動原稿送り装置）にセットできる原稿

ADF（自動原稿送り装置）にセットできる原稿サイズは下記のとおりです。これ以外のサイズの原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。

厚さ：0.08mm ～ 0.12mm
坪量：64g/m^2 ～ 90g/m^2

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする場合の注意事項

- インクやのり、修正液などが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。
- 原稿にクリップやホチキスの針が付いていると、故障の原因になります。取り外してください。
- 異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜて ADF（自動原稿送り装置）にセットしないでください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿を強く押し込まないでください。原稿づまりを起こしたり、複数枚の原稿が一度に送られることがあります。
- 以下のような原稿は、ADF（自動原稿送り装置）にセットしないでください。原稿台ガラスにセットしてください。

しわ、折り目のついた原稿

カールした原稿

折ってある原稿

クリップの付いた原稿

ホチキスでとじてある原稿

破れた原稿

とじ穴のある原稿

付箋など接着面のある原稿

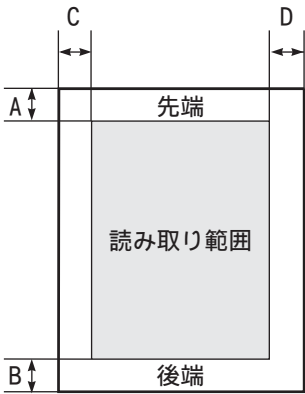
トレーシングペーパーのような半透明な原稿

セロハンテープなどでつなぎ合わせてある原稿

カーボン紙、ノーカーボン紙、裏カーボン紙の原稿

その他特殊な原稿

原稿の読み取り範囲

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに、原稿をセットしたときの最大読み取り範囲は下記のとおりです。

（単位：mm）

機能	A	B	C	D
ファクス	3		原稿台ガラス：3 ADF（自動原稿送り装置）：1	
コピー	3		3	
スキャン	1		1	

原稿をセットする

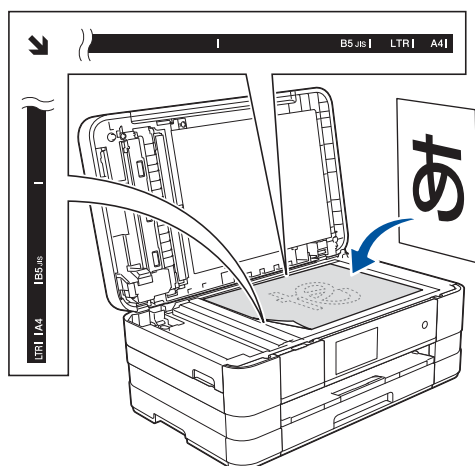
原稿台ガラスに原稿をセットする

原稿台ガラスの原稿ガイドに合わせて、原稿をセットします。原稿台には、最大重量 2kg までの原稿をセットできます。

お願い

■ インクやのり、修正液などが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。

1 原稿台カバーを持ち上げる

2 原稿ガイドの左奥に合わせて、原稿のおもて面を下にしてセットする

3 原稿台カバーを閉じる

本などの厚みのある原稿のときは、上から軽く押さえてください。

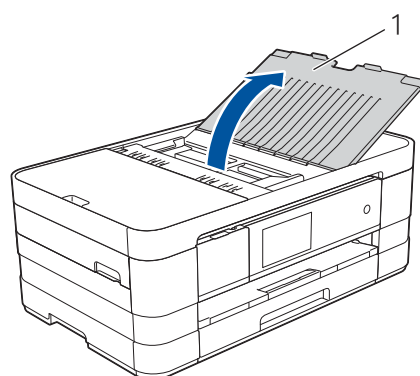
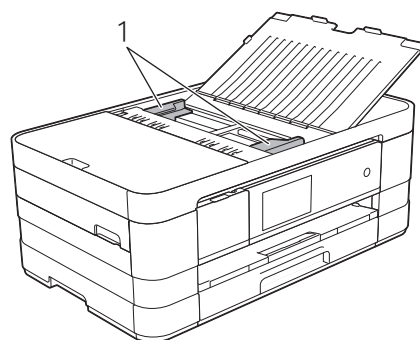
お願い

■ 原稿台カバーは必ず閉じてください。開いたままファクスを送ると、画像が乱れることがあります。

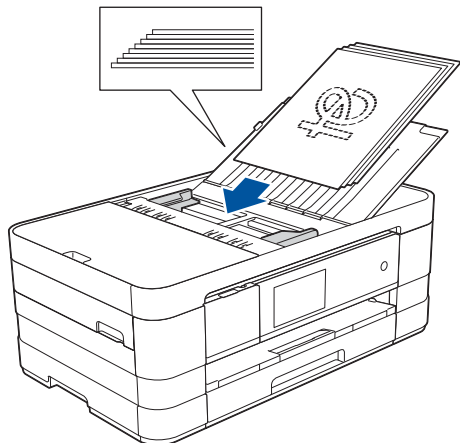
■ 原稿台カバーを閉じるときは、静かに閉じてください。また、強く押さえないでください。

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

本製品には、複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる ADF（自動原稿送り装置）が搭載されています。複数枚の原稿を読み取るときに便利です。

1 ADF 原稿トレイ（1）を開く

2 ADF ガイド（1）を原稿のサイズに調整する

3 原稿をさばく

❹ 原稿をそろえ、読み取りたい面を下にして、画面に【原稿セット OK】と表示されるところまで差し込む

一度に 20 枚までセットできます。原稿は、一番下から順番に読み取られます。

お願い

■ ADF ガイドで左右から原稿を強くはさみつけないでください。原稿が浮いたり、位置がずれたりして、うまく読み取りができなくなることがあります。

■ ADF（自動原稿送り装置）を使用しないときは、ほこりなどが入らないように ADF 原稿トレイを閉じておいてください。

第 2 章

ファクス

基本

通信管理

下記の機能については・・・

- 発信・着信履歴からの送信 / 手動送信 / 同報送信 / みてから送信 / タイマー送信 / とりまとめ送信 / リアルタイム送信 / ポーリング送信 / 海外送信モード
- 自動縮小受信 / ポーリング受信 / リモート受信 / ファクス転送 /PC ファクス受信
- 通信管理レポート / 送信結果レポート / 着信履歴リスト
- ファクスバックアップ

ファクスを送る

基本

ファクスを送ります。原稿に合わせて、画質を変更することもできます。お買い上げ時は、「みるだけ受信」が設定されていません。本書では、「みるだけ受信」を設定していない場合の手順を基本として操作説明をしています。

お願い

- **モノクロ原稿とカラー原稿が混在する場合は、すべてモノクロで送信するか、カラー原稿だけ別に送信してください。**
- **ファクスをカラーで送ると、メモリーに読み込まれずに送信されます。そのため、メモリーを使った送信（同報送信、タイマー送信、とりまとめ送信、ポーリング送信、デュアルアクセス）をすることができません。詳しくは、それぞれの操作説明をよくお読みください。**

相手先のファクス機がカラー対応していない場合は、カラーで送信してもモノクロで受信されます。

ファクスをカラーで送ると、モノクロより送信時間が長くかかります。

ファクス送信時の画面とボタンについて

ここでは、ファクス送信時に表示される画面情報やボタンについて説明します。

1	お気に入り登録	ファクス送信時、ファクス番号を入力後に【お気に入り登録】ボタンを押すと、相手先のファクス番号と設定内容をお気に入りに登録することができます。
2	電話帳	すでに登録済みの電話帳のあて先を表示させたり、検索するときに押します。新たに電話帳登録することもできます。 ⇒ 60 ページ「電話帳を使ってファクスを送る」 ⇒ 76 ページ「電話帳に登録する」
3	履歴	発信履歴や着信履歴からダイヤルするときに押します。
4	スタート	現在の設定でファクスを送信するときに押します。
5	設定変更	画質や濃度、カラー設定の変更など、設定を変更するときに押します。 ⇒ 61 ページ「設定を変えてファクスするには」
6	ファクス画質 / カラー設定情報	現在、設定されている、ファクス画質とカラー設定の情報が表示されます。
7	再ダイヤル	最後にダイヤルした相手に送信するときに押します。
8	オンフック	電話回線を接続 / 切断するときに押します。電話回線の種別設定や発信テストなどで使用します。

ADF（自動原稿送り装置）からファクスを送る

［自動送信］

本製品には、複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる ADF（自動原稿送り装置）が搭載されています。複数枚の原稿を送るときは、ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしてファクスを送ります。

1 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

⇒ 52 ページ「ADF（自動原稿送り装置）にセットできる原稿」
⇒ 53 ページ「ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする」

2 【ファクス】を押す

みるだけ受信をしている場合は、手順 2 のあとで、【ファクス送信】を押してください。

3 ダイヤルボタンまたは【電話帳】、【履歴】で相手先のファクス番号を入力する

- 【オンフック】は押さないでください。
- 【設定変更】を押すと、画質やカラー設定など、一時的に設定を変更することもできます。

4 【スタート】を押す

送信する前にファクスをキャンセルするには

ダイヤル中または送信中に、✕ を押してください。
※モノクロ送信の場合は、【停止しますか？／はい／いいえ】と表示されることがあります。このメッセージが表示されたら、【はい】を押します。

再ダイヤル待機中にファクスをキャンセルするには

ファクスを送る場合、相手が通話中などの理由でつながらなかったときは 5 分おきに 3 回まで自動で再ダイヤルを行います。再ダイヤルをやめたい場合は次のように行います。
モノクロ送信の場合は、ファクスデータはメモリーに蓄積されます。[設定アイコン] を押し、【全てのメニュー】、【ファクス】、【通信待ち一覧】を選んでキャンセルします。（74 ページ）再ダイヤルしてもファクスを送ることができなかったときは、送信結果レポートが印刷されます。あらかじめ記録紙をセットしておくことをお勧めします。
カラー送信の場合は、画面に【再ダイヤル待機中】と表示されます。✕ を押してメッセージを閉じると再ダイヤルが中止されます。この場合、通信レポートは印刷されません。
※手動送信（⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「相手先の受信音を確認してから送る」）の場合は、自動で再ダイヤルしません。
※【ファクス自動再ダイヤル】が【しない】の場合は、自動で再ダイヤルを行いません。
⇒ユーザーズガイド 応用編 第 1 章「ファクス送信時の自動再ダイヤルを解除する（MFC-J4510N のみ）」

原稿台ガラスからファクスを送る（1 枚のとき）

［自動送信］

1 枚のファクスを送ります。

1 原稿台ガラスに原稿をセットする

⇒ 53 ページ「原稿台ガラスに原稿をセットする」

お願い

■ 原稿台カバーは必ず閉じてください。開けたままファクスを送ると、画像が乱れることがあります。

2 【ファクス】を押す

みるだけ受信をしている場合は、手順 2 のあとで、【ファクス送信】を押してください。

3 ダイヤルボタンまたは【電話帳】、【履歴】で相手先のファクス番号を入力する

【オンフック】は押さないでください。

【設定変更】を押すと、画質やカラー設定など、一時的に設定を変更することもできます。

4 【スタート】を押す

- モノクロで送信した場合：
  原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わり、【次の原稿はありますか ？／はい ／いいえ 】と表示されたら、【いいえ】を押してください。
- カラーで送信した場合：
  【カラーファクスを 1 枚のみ送信します 複数枚送信したいときは ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットし直してください ／はい（カラー送信）／いいえ】と表示されたら、【はい（カラー送信）】を押してください。

送信する前にファクスをキャンセルするには

ダイヤル中または送信中に、✕ を押してください。

※モノクロ送信の場合は、【停止しますか？ ／はい／いいえ】と表示されることがあります。このメッセージが表示されたら、【はい】を押します。

再ダイヤル待機中にファクスをキャンセルするには

モノクロでファクスを送る場合、相手が通話中などの理由でつながらなかったときは、メモリーに蓄積され、5 分おきに 3 回まで自動で再ダイヤルを行います。再ダイヤルをやめたい場合は、 を押し、【全てのメニュー】、【ファクス】、【通信待ち一覧】を選んでキャンセルします。（74 ページ）

再ダイヤルしてもファクスを送ることができなかったときは、送信レポートが印刷されます。あらかじめ記録紙をセットしておくことをお勧めします。

※手動送信（⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「相手先の受信音を確認してから送る」）や、カラー送信の場合は、自動で再ダイヤルしません。

※【ファクス自動再ダイヤル】が【しない】の場合は、自動で再ダイヤルを行いません。
⇒ユーザーズガイド 応用編 第 1 章「ファクス送信時の自動再ダイヤルを解除する（MFC-J4510N のみ）」

原稿台ガラスからファクスを送る（2 枚以上のとき）

[自動送信]

モノクロでファクスを送る場合に限り、原稿台ガラスからも複数枚の原稿を送ることができます。この場合は、すべての原稿をメモリーに蓄積してから送信します。ADF（自動原稿送り装置）が使用できない原稿を送る場合に使用します。（⇒ 52 ページ「ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする場合の注意事項」）

お願い

- リアルタイム送信を【する】にしている場合は、原稿台ガラスから複数枚のファクスを送ることができません。原稿台ガラスから複数枚のファクスを送る場合は、リアルタイム送信を【しない】にしてください。
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「原稿をすぐに送る」
- カラーで複数枚送信する場合は、ADF（自動原稿送り装置）を使用してください。
  ⇒ 57 ページ「ADF（自動原稿送り装置）からファクスを送る」

1）1 枚目の原稿を読み込む

1 原稿台ガラスに 1 枚目の原稿をセットする

⇒ 53 ページ「原稿台ガラスに原稿をセットする」

お願い

- 原稿台カバーは必ず閉じてください。開けたままファクスを送ると、画像が乱れることがあります。

2 【ファクス】を押す

みるだけ受信をしている場合は、手順 2 のあとで、【ファクス送信】を押してください。

3 ダイヤルボタンまたは【電話帳】、【履歴】で相手先のファクス番号を入力する

- 【オンフック】は押さないでください。
- 【設定変更】を押すと、画質やカラー設定など、一時的に設定を変更することもできます。

4 【スタート】を押す

1 枚目の原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

5 【はい】を押す

【次の原稿をセットして［OK］を押してください】と表示されます。

2）2 枚目の原稿を読み込む

6 原稿台ガラスに 2 枚目の原稿をセットして、【OK】を押す

2 枚目の原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 3 枚目の原稿がある場合 ⇒手順 7 へ
- これで送信する場合 ⇒手順 8 へ

3）3 枚目の原稿を読み込む

7 【はい】を押し、3 枚目の原稿をセットして、【OK】を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまで、手順 5、6 を繰り返します。

8 最後の原稿を読み取ったら、【いいえ】を押す

送信・印刷中の次の原稿の読み取り（デュアルアクセス）について

本製品は、ファクス送信中やパソコンからの印刷実行中に、次に送りたい原稿を読み取ることができます。これを「デュアルアクセス」といいます。画面には、新しいジョブ番号が表示されます。
※【カラー設定】を【カラー】にしている場合は、デュアルアクセス機能は無効になります。

電話帳を使ってファクスを送る

【電話帳】

あらかじめ電話帳にファクス番号を登録しておくと、簡単な操作でダイヤルできます。

1 **原稿をセットする**

⇒ 53 ページ「原稿をセットする」

2 **【ファクス】を押す**

3 **【電話帳】を押す**

4 **上下にフリックするか、▲/▼を押して画面をスクロールさせ、相手先を選ぶ**

> 🔍を押すと、電話帳から検索することもできます。電話帳に登録した相手先の名前のヨミガナを入力し、【OK】を押します。ヨミガナの先頭の文字を入力しても検索ができます。

5 **【送信先に設定】を押す**

6 **【スタート】を押す**

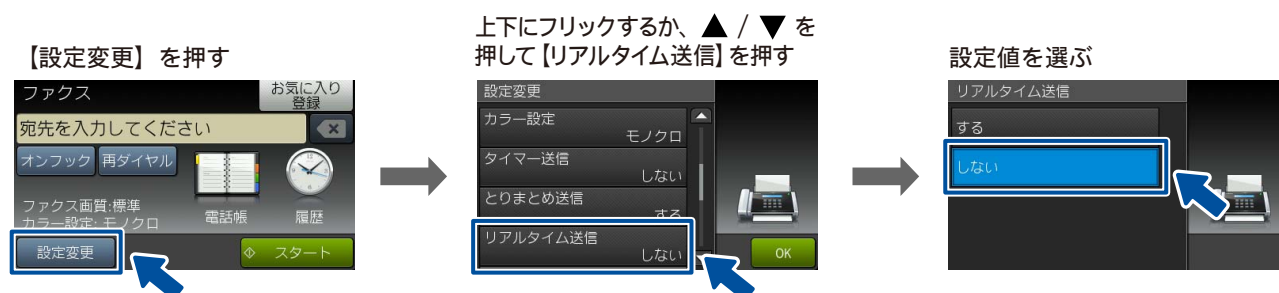
設定を変えてファクスするには

ファクス送信時、画面に表示されている【設定変更】から、ファクスを送るときの設定が変更できます。

例：リアルタイム送信

【設定変更】を押す

上下にフリックするか、▲ / ▼ を押して【リアルタイム送信】を押す

設定値を選ぶ

(1) ファクス画質

ファクス送信するときの画質を設定します。
- 【標準】
  お買い上げ時に設定されている標準的な画質モードです。
- 【ファイン】
  原稿の文字が小さいときに選びます。
- 【スーパーファイン】
  原稿の文字が新聞のように細かいときに選びます。
- 【写真】
  原稿に写真が含まれているときに選びます。

※【標準】以外の設定で送信すると、標準に比べて送信時間がかかります。
※【写真】で送信しても、相手側のファクス機が標準モードで受信した場合は、画像が劣化します。
※【スーパーファイン】や【写真】に設定していても、【カラー設定】が【カラー】のときは【ファイン】で送信されます。

(2) 原稿濃度

ファクス送信するときの原稿濃度を設定します。
- 【自動】
  読み取った原稿に合わせて自動的に濃度を設定します。
- 【濃く】
  原稿が薄いときに選びます。
- 【薄く】
  原稿が濃いときに選びます。

※原稿濃度を濃くすると、全体に黒っぽくなることがあります。
※【ファクス画質】が【写真】のときや、【カラー設定】が【カラー】のときは【自動】で送信されます。

(3) 同報送信

1 回の操作で複数の相手に同じ原稿を送ります。送信先は、電話帳・グループダイヤルから指定できます。
⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「複数の相手先に同じ原稿を送る」

(4) みてから送信

ファクス送信する前に、画面でファクスの内容を確認できます。
⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「内容を確認してから送る」

(5) カラー設定

ファクス送信するときに、原稿をカラーまたはモノクロで送信するかどうかの設定をします。

(6) タイマー送信
24 時間以内の指定した時刻にファクスを送信します。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「時間を指定して送る」
(7) とりまとめ送信
タイマー送信を複数設定している場合に、相手先の番号と送信時刻が同じものを、1 回の通信でまとめて送るように設定できます。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「同じ相手への「タイマー送信」を 1 回の通信にまとめる」
(8) リアルタイム送信
すぐに相手先にダイヤルし、原稿を読み取りながら送ります。ファクスを急いで送りたいとき、送信状況を確認しながら送信したいときに便利です。メモリーに送信待ち原稿があるときでも、優先して原稿を送ることができます。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「原稿をすぐに送る」
(9) ポーリング送信
本製品に原稿を登録しておくと、ポーリング機能のある他のファクス機を使って、その原稿を自由に取り出すことができます。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「相手の操作で原稿を送る」
(10) ポーリング受信
本製品から操作して、相手側のファクス機にセットされた原稿を受けます。ファクス情報サービスなどから情報を受けるときに使用します。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「本製品の操作で相手の原稿を受ける」
(11) 海外送信モード
海外へ送信するときは、回線の状況によって正常に送信できないことがあります。このときは海外送信を【する】に設定すると通信エラーを少なくできます。海外送信モードは送信が終了すると自動的に【しない】に戻ります。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「海外へ送る」
(12) 設定を保持する
設定を変更したあとで、【設定を保持する】を選びます。【設定を保持しますか ?／はい／いいえ】と表示されるので、【はい】を押すと、現在の設定が初期値として登録されます。
(13) 設定をリセットする
設定をお買い上げ時の状態に戻します。

ADF（自動原稿送り装置）から文字の細かい原稿をカラーで送る（設定変更の操作例）

ADF（自動原稿送り装置）から文字の細かい原稿をカラーでファクス送信する手順を例にして説明します。

1 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

⇒ 52 ページ「ADF（自動原稿送り装置）にセットできる原稿」
⇒ 53 ページ「ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする」

2 【ファクス】を押す

みるだけ受信をしている場合は、手順 2 のあとで、【ファクス送信】を押してください。

3 ダイヤルボタンまたは【電話帳】、【履歴】で相手先のファクス番号を入力する

4 【設定変更】を押す

1）ファクス画質を設定する

5 【ファクス画質】を押す

6 【ファイン】を押す

2）原稿濃度を設定する

7 【原稿濃度】を押す

8 【自動】を押す

3）カラー設定を設定する

9 上下にフリックするか、▲/▼を押して画面をスクロールさせ【カラー設定】を押す

10 【カラー】を押す

11 【OK】を押す

12 【スタート】を押す

ファクスを受ける

本製品では、以下の方法でファクスを受けることができます。

お願い

■ カラーインクのいずれかが残り少なくなり、画面に【まもなくインク切れ】と表示されると、カラーファクスはモノクロで印刷されます。カラーファクスを受信するには、新しいインクカートリッジに交換してください。
⇒ 111 ページ「インクカートリッジを交換する」

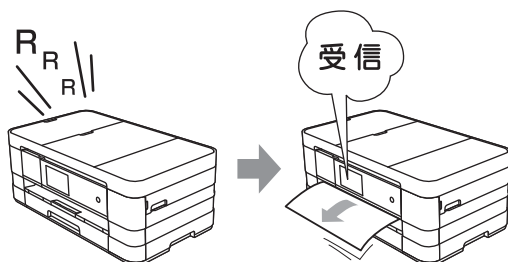
■ 受信したファクスが印刷できないとき、送られてきたファクスを自動的にメモリーに記憶します（メモリー代行受信）。メモリーがいっぱいになる前に、画面のメッセージに従って本製品を操作し、メモリーに記憶されたファクスを印刷してください。エラーの対処方法について詳しくは、下記も参照してください。

- 記録紙がなくなったとき、間違ったサイズの記録紙をセットしてしまったとき
⇒ 41 ページ「記録紙のセット」
- インクがなくなったとき
⇒ 110 ページ「インクがなくなったときは」
- 記録紙が詰まったとき
⇒ 118 ページ「紙が詰まったときは」

※メモリーがいっぱいになると、それ以降はメモリー代行受信はできません。
※メモリー代行受信できるのは約 200 枚です。

自動的に受ける

［自動受信］

設定した回数の着信音が鳴り終わると、本製品が自動的にファクスを受信し、印刷します。受信したファクスは、画面または記録紙のいずれかで確認できます。お買い上げ時は、「みるだけ受信」が設定されていないため、記録紙で確認します。

お願い

■ 受信モードが【TEL= 電話】の場合は、自動的に受信しません。かかってきた電話がファクスであるときに本製品に自動で受信させたい場合は、受信モードを変更してください。
⇒ 31 ページ「受信モードを選ぶ」

電話に出てから受ける

［手動受信］

本製品と接続している電話機で電話に出たあとに、ファクスを受信するときの手順です。

1 着信音が鳴ったら、本製品と接続している電話機で電話に出る

2 「ポーポー」と音がしていたら、【ファクス送受信】 を押す

相手と通話したあとにファクスを受信するには、相手へファクスに切り替えることを伝えて【ファクス送受信】を押します。

【ファクスしますか ？ ／送信／受信】と表示されます。

【ファクスしますか ?】のメッセージが表示されないときは、✕ を押して、【ファクス送受信】を押してください。

3 【受信】を押す

4 画面に【受信中】と表示されたら、受話器を戻す

- 本製品と接続している電話機で電話に出なかった場合は、設定している受信モードに従った動作をします。
- 親切受信（⇒ 66 ページ「電話に出ると自動的に受ける（親切受信）」）が設定されている場合は、電話に出て約 7 秒待つと、自動的にファクスを受信します。

電話に出ると自動的に受ける（親切受信）

［親切受信］

本製品と接続している電話機で電話に出たときにファクスであれば、受話器を持ったまま約 7 秒待つと自動的にファクスを受信できます。本製品を手動で操作する必要がないため、離れた場所で電話に出たときなどに便利です。お買い上げ時は【しない】に設定されています。

親切受信を設定する

1 **を押す**

2 **【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【親切受信】を順に押す**

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

3 **【する】を押す**

4 **を押して設定を終了する**

親切受信でファクスを受ける

1 **着信音が鳴ったら、電話に出る**

ファクスであれば、「ポーポー」と音が聞こえます。

2 **そのまま 7 秒待つ**

約 7 秒後に、自動的にファクスを受信します。

3 **画面に【受信中】と表示されたら、受話器を戻す**

お願い

- 通話中、または外部からの音が入ったとき突然ファクスに切り替わってしまう場合は、親切受信の設定を【しない】にしてください。相手側から発せられる音や外部からの雑音が、ファクス信号音と似ているために起きる現象です。頻繁に起きる場合は、【しない】にすることをお勧めします。
- 本製品が待機状態（スリープモード）にあるときに、外付け電話で電話をかけると、親切受信およびリモート受信をすることができません。いったん電話を切り、あらためて送信してもらってください。

ファクスの受信が始まったら受話器を置いてください。

本製品にファクスが送られてきたとき、自動受信を開始する前に電話を受けると「ポーポー」という音が聞こえます。このとき、親切受信を設定していない場合は、手動で受信してください。
⇒ 64 ページ「電話に出てから受ける」

回線の状態により、「ポーポー」という音が聞こえても、自動的にファクスを受信しないときがあります。このようなときは、手動で受信してください。
⇒ 64 ページ「電話に出てから受ける」

親切受信は、電話に出たあと、約 40 秒間有効です。40 秒経過したあとに「ポーポー」という音が聞こえても、自動的にファクスを受信しません。この場合は、電話に出たまま手動で受信してください。
⇒ 64 ページ「電話に出てから受ける」

ファクスの見かた

受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する

［みるだけ受信］

「みるだけ受信」は受信したファクスの内容を画面で確認できる機能です。このとき、ファクスはメモリーに記憶し、保存します。受信したファクスを画面で見るには、みるだけ受信を【する（画面で確認）】に設定してください。受信したファクスを印刷するようにしたい場合は、【しない（受信したら印刷）】に設定してください。お買い上げ時は、【しない（受信したら印刷）】に設定されています。

お願い

- みるだけ受信と【ファクス転送】を同時に設定している場合は、本製品にファクスの受信データは残らず、転送先に送信されます。【ファクス転送】で【本体でも印刷する】を設定していても印刷されません。ファクスを本製品で確認することができなくなるためご注意ください。
- みるだけ受信を設定していても、カラーファクスはメモリーに記憶されずに自動的に印刷されます。画面で確認できない場合は、印刷されていないかどうかを確認してください。

みるだけ受信を設定する

1 を押す

2 【みるだけ受信】（1）を押す

ボタンには現在の状態が表示されています。

、【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【みるだけ受信】を順に押しても設定できます。

3 【する（画面で確認）】を押す

【みるだけ受信を［する（画面で確認）］にしますか？／はい／いいえ】と表示されます。

4 【はい】を押す

【受信したファクスはメモリに保存され画面で確認できます 印刷はされませんがよろしいですか？／はい／いいえ】と表示されます。

5 メッセージを確認して、【はい】を押す

6 を押して設定を終了する

新着ファクスを見る

みるだけ受信設定時には、ファクスを受信すると、待ち受け画面に、新着を知らせるメッセージが表示されます。

1 【確認】を押す

2 確認したいファクスを選んで押す

目的のファクスが表示されていないときは、▲/▼で、画面をスクロールさせます。

新着ファクスには、左側に新着マーク（青色）が表示されます。

ご使用の前に
ファクス
電話帳
コピー
デジカメプリント
こんなときは
付録

❸ 下表を参考にして操作を行う

ボタン	操作内容
▲/▼	縦方向にスクロールします。
◀/▶	横方向にスクロールします。
(前ページ)/(次ページ)	前のページ/次のページを表示します。
(回転)	90゜ずつ右回転します。
(拡大)/(縮小)	拡大 / 縮小表示します。
(ごみ箱)	ファクスをメモリーから消去します。 ⇒ 68 ページ「ファクスをメモリーから消去する」
【スタート】	ファクスを印刷します。 ⇒ 68 ページ「ファクスを印刷する」

受信したファクスの画像が大きい場合は、表示に時間がかかることがあります。

メモリーに保存できるファクスは 99 件分です。不要なファクスのデータは削除してください。

既読のファクスを再度見たいときは

(1) **【ファクス】を押す**

(2) **【受信ファクス】を押す**

(3) **確認したいファクスを選ぶ**

◆目的のファクスが表示されていないときは、▲/▼で、画面をスクロールさせます。
既読ファクスには、左側に既読マーク（灰色）が表示されます。

(4) **新着ファクスを見るときと同様に画面を操作して内容を確認する**

ファクスを印刷する

(1) **印刷したいファクスが画面に表示された状態で【スタート】を押す**

◆見ているファクスが1ページだけであればすぐに印刷されます。(3) に進んでください。

◆見ているファクスが複数ページあるときは、(2) に進んでください。

(2) **次のいずれかを行って、ファクスを印刷する**

◆すべてのページを印刷する場合は、【全てのページをプリント】を押して、(3) に進みます。

◆見ているページのみを印刷する場合は、【表示ページのみプリント】を押して、(4) に進みます。

◆見ているページ以降すべてを印刷する場合は、【表示ページ以降プリント】を押して、(4) に進みます。

(3) **ファクスを消去する場合は【はい】を、メモリーに残す場合は【いいえ】を押す**

(4) **(ホーム) を押す**

ファクスをメモリーから消去する

(1) **消去したいファクスが画面に表示された状態で、(ごみ箱) を押す**

◆【全てのページを消去しますか ? ／はい／いいえ】と表示されます。

(2) **【はい】を押す**

◆ファクスのデータが消去されます。

すべてのファクスを印刷する

みるだけ受信設定時、メモリーに保存されているファクスデータを新着ファクス、既読ファクスごとにまとめて印刷できます。

1 【ファクス】を押す

2 【受信ファクス】を押す

受信ファクスの一覧が表示されます。

3 【印刷 / 消去】を押す

4 【全て印刷 (新着ファクス)】または【全て印刷 (既読ファクス)】を押す

【全て印刷 (新着ファクス)】が表示されるのは、未読のファクスがある場合のみです。

5 を押す

すべてのファクスを消去する

みるだけ受信設定時、メモリーに保存されているファクスデータを新着ファクス、既読ファクスごとにまとめて消去できます。

1 【ファクス】を押す

2 【受信ファクス】を押す

受信ファクスの一覧が表示されます。

3 【印刷 / 消去】を押す

4 【全て消去 (新着ファクス)】または【全て消去 (既読ファクス)】を押す

【全て消去 (新着ファクス)】が表示されるのは、未読のファクスがある場合のみです。

【消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

5 【はい】を押す

表示されているファクス一覧のデータがすべて消去されます。

6 を押す

ファクスを自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する）

[みるだけ受信]

【みるだけ受信をしない（受信したら印刷）】に設定すると、みるだけ受信が解除され、以降受信するファクスは自動的に印刷されます。

お願い

■ みるだけ受信を解除すると、メモリーに保存されているすべてのファクスデータが消去されます。印刷しておきたいデータがある場合は、みるだけ受信の解除設定時に、画面の指示に従って印刷してください。あらかじめ個別に印刷したり、すべてのファクスデータを印刷しておくこともできます。
⇒ 68 ページ「ファクスを印刷する」
⇒ 69 ページ「すべてのファクスを印刷する」

1 を押す

2 【みるだけ受信】（1）を押す

ボタンには現在の状態が表示されています。

3 【しない (受信したら印刷) 】を押す

【みるだけ受信をしないにすると今後受信ファクスは全て印刷されますがよろしいですか？／はい／いいえ】と表示されます。
【いいえ】を押すと、みるだけ受信の解除をキャンセルします。

4 【はい】を押す

【メモリ受信】を設定している場合またはメモリー内にファクスデータがない場合：
操作は終了です。⇒手順 7 へ

ご使用の前に
ファクス
電話帳
コピー
デジカメプリント
こんなときは
付録

5 【全て消去】または【全て印刷してから消去】を押す

【全て消去】を押すと、【ファクスを消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。⇒手順 6 へ

【全て印刷してから消去】を押すと、受信ファクスが印刷され、メモリーから消去されます。みるだけ受信は解除され、今後はファクスを受信すると自動的に印刷します。ここで操作は終了です。

6 【はい】を押す

みるだけ受信は解除され、今後はファクスを受信すると本製品で自動的に印刷します。

7 を押す

受信したファクスが印刷できないときは（メモリー代行受信）

【みるだけ受信】を【しない (受信したら印刷)】にして、受信ファクスを印刷するように設定していても、以下の場合は、送られてきたファクスを自動的にメモリーに記憶します。

- 記録紙がなくなったとき
- インクがなくなったとき
- 記録紙が詰まったとき
- 間違ったサイズの記録紙をセットしたとき

画面の指示に従って操作すると、メモリーに記憶された内容を印刷できます。

※メモリーがいっぱいになると、それ以降はメモリー代行受信はできません。

※メモリー代行受信できるのは約 200 枚です。

ファクスの便利な受けかた

ファクスをメモリーで受信する

［メモリ受信］

メモリー受信を設定すると、受信したファクスを本製品のメモリーに保存できます。
お買い上げ時は【オフ】に設定されています。

- 【メモリ受信】を設定していても、カラーファクスはメモリーに記憶されずに自動的に印刷されます。
- 【メモリ保持のみ】に設定すると、ファクスデータは本製品のメモリーに記憶されるとともに、自動的に印刷されます。
- 【メモリ保持のみ】は、【ファクス転送】【PCファクス受信】【電話呼び出し】と同時に設定できません。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【メモリ受信】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

3 【メモリ保持のみ】を押す

4 を押して設定を終了する

- メモリー受信は最大 200 ページまで受信できます。ただし、メモリーの残量や原稿の内容によって、メモリー受信できる枚数は変化します。
- メモリーに受信データが残っている場合は、手順 3 で【オフ】を選択すると【ファクスを消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。消去する場合は【はい】を押してください。

メモリー受信したファクスを印刷する

［ファクス出力］

本製品のメモリーに記憶されているファクスメッセージを印刷します。印刷したファクスメッセージは、メモリーから消去されます。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【ファクス】、【ファクス出力】を順に押す

3 【OK】を押す

メモリーに蓄積されていたファクスメッセージが印刷されます。
印刷されたファクスメッセージは、メモリーから消去されます。

4 を押して設定を終了する

ファクスメッセージをメモリーから消去する

本製品のメモリーに記憶されているファクスメッセージを、すべて消去します。

1 **を押す**

2 **【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【メモリ受信】を順に押す**

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

3 **【オフ】を押す**

以下のメッセージが表示されます。

・【ファクス転送】、【PC ファクス受信】を【本体では印刷しない】に設定している場合に、未転送のファクスがあるとき：

【全てのファクスをプリントしますか？／はい／いいえ】と表示されます。

・上記以外の設定にしている場合：

【ファクスを消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

4 **【はい】を押す**

メモリーからすべてのファクスメッセージが消去されます。

メモリー受信の設定が解除されます。

5 **を押して設定を終了する**

発信元を登録する

通信管理

送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する

［発信元登録］

自分の名前とファクス番号を本製品に登録します。登録した名前とファクス番号は、ファクス送信したときに相手側の記録紙の一番上に印刷されます。

2013/01/21 15:25　052XXXXXXX　山田　太郎　ページ 01/01

〇〇〇のお知らせ

拝啓

平素は格別のお引立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、先日ご依頼のありました〇〇のカタログを送付いたします。何とぞ詳細にご検討くださいますようお願い申し上げます。

発信元登録をしていない場合は、相手側の記録紙に、日時も印刷されません。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【初期設定】、【発信元登録】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

3 【ファクス】を押す

4 画面に表示されているテンキーでファクス番号を入力し、【OK】を押す

20 桁まで入力できます。ハイフンは入力できません。

ファクス番号と電話番号を共通で使用している場合は、電話番号を入力してください。

5 【名前】を押す

6 画面に表示されているキーボードで名前を入力し、【OK】を押す

16 文字まで入力できます。

⇒ 162 ページ「文字の入力方法」

7 を押して設定を終了する

発信元登録を削除するときは

(1)「発信元を登録する」の手順 1 ～ 3 を行う

(2) を 1 秒以上押してファクス番号を削除し、【OK】を押す

(3) を押す

通信状態を確かめる

送信待ちファクスを確認・解除する

[通信待ち一覧]

ファクスを送りたい相手が通信中などの場合、本製品は通信待機します。待機しているこれらの通信を確認したり、確認後、送信を中止したりできます。

1 **を押す**

2 **【全てのメニュー】、【ファクス】、【通信待ち一覧】を順に押す**

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

保留されている通信の一覧が表示されます。
・確認を終了するとき⇒手順 5 へ
・送信をやめたいとき⇒手順 3 へ

3 **解除するファクスを選び、【停止】を押す**

【停止しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

4 **【はい】を押す**

5 **を押して設定を終了する**

第３章

電話帳

電話帳

下記の機能については・・・

■ 発信・着信履歴から電話帳に登録する
■ ファクス送付先をグループ登録する
■ パソコンから電話帳に登録 / 編集する（リモートセットアップ）

ご使用の前に
ファクス
電話帳
コピー
デジカメプリント
こんなときは
付　録

電話帳を利用する

電話帳

よくファクスを送る相手先のファクス番号を電話帳に登録します。
また、複数の相手先をグループダイヤルに登録すると、ひとつのグループ番号を指定するだけで複数の相手先にファクスを送ることができます。

個別に登録した相手先をまとめてグループダイヤルとして登録することもできます。
⇒ユーザーズガイド 応用編 第 3 章「グループダイヤルを登録する」

「リモートセットアップ」を使用して、パソコンから簡単に電話帳に登録することもできます。
⇒ユーザーズガイド 応用編 第 3 章「パソコンを使って電話帳に登録する」

電話帳に登録する

[電話帳登録]

相手先のファクス番号と名称を、最大 100 件× 2 番号に登録します。

1. **【ファクス】を押す**

2. **【電話帳】、【設定】を順に押す**

3. **【電話帳登録】を押す**
   キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼ を押して、画面をスクロールさせます。

4. **【名前】を押して、画面に表示されているキーボードで電話帳に表示する名前を入力し、【OK】を押す**
   名前は 10 文字まで入力できます。読みがなは、自動的に 16 文字まで入力されます。
   ⇒ 162 ページ「文字の入力方法」

5. **【ヨミガナ】を押し、画面に表示されているキーボードで読みがなを編集して、【OK】を押す**
   編集する必要がない場合は、そのまま【OK】を押します。
   読みがなは、電話帳検索時、五十音順に並べ替えるときに使われます。

6. **【番号 1】を押して、画面に表示されているテンキーで番号を入力し、【OK】を押す**
   電話・ファクス番号は 20 桁まで入力できます。入力できる文字は、以下のとおりです。
   - 数字：0 ～ 9
   - 記号：＊、#
   - スペース：▶ を押す
   - ポーズ：約 3 秒の待ち時間（画面には「p」と表示）

   ※ハイフン、カッコは入力できません。

   同様の手順で【番号 2】を押すと、2 つめの番号を登録することができます。

7. **登録内容を確認し、【OK】を押す**

8. **[ホーム] を押して登録を終了する**

お願い

- ■ 電話番号およびファクス番号は、必ず市外局番から登録してください。ナンバーディスプレイの名前 / 着信履歴が正しく表示されない場合があります。
- ■ 電話帳にファクス番号を間違って登録すると、自動再ダイヤルなどの際に、間違った相手を何度も呼び出すことになります。新しくファクス番号を登録したときは、正しい番号であるかどうかをよく確認してください。その際、電話帳リストを印刷して確認することをお勧めします。
  ⇒ 78 ページ「電話帳リストを印刷する」

こんなときは～電話番号を登録するとき～

(A) **「186」または「184」を付ける場合**

同一市内であっても必ず市外局番を付けて電話番号を登録してください。市外局番を付けずに登録すると、着信時に相手の名前が表示されません。
例）
○ 186 XXX XXX XXXX
（市外局番）（市内局番）（相手先番号）
× 186 XXX XXXX
（市内局番）（相手先番号）

(B) **構内交換機（PBX）で“0”発信の場合**

“0”のあとにポーズ（約 3 秒の待ち時間）を入れてください。

(C) **国際電話の場合**

国番号のあとにポーズ（約 3 秒の待ち時間）を入れてください。

- 「マイライン」「マイラインプラス」の国際区分に登録されている場合
  010+国番号+ポーズ+市外局番+電話番号
- 「マイライン」「マイラインプラス」の国際区分に登録されていない場合
  （国際電話サービス会社指定の番号）+010+国番号+ポーズ+市外局番+電話番号

※入力したポーズは「p」と表示されます。

電話帳の内容を変更するには

(1) **「電話帳に登録する」の手順 ❸ で、【変更】を押す**

(2) **変更したい相手先を選ぶ**

(3) **変更したい項目を選ぶ**

(4) **名前や電話番号を入力し直し、【OK】を押す**

複数の項目を変更する場合は、手順（3）（4）を繰り返します。

(5) **【OK】を押す**

◆変更した内容が反映されます。

(6) **🏠 を押す**

電話帳の内容を削除するには

(1) **「電話帳に登録する」の手順 ❸ で【消去】を押す**

(2) **消去したい相手先を選んでチェックマークを付け、【OK】を押す**

【消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

(3) **【はい】を押す**

◆選んだ番号が削除されます。

(4) **🏠 を押す**

電話帳リストを印刷する

[電話帳リスト]

電話帳に登録された内容を印刷します。登録した電話番号に間違いがないかを確認するとき、登録した内容を忘れてしまったときなどにお使いいただくと便利です。

> 電話帳リストは、モノクロでしか印刷できません。

1 記録紙をセットする

⇒ 44 ページ「記録紙トレイにセットする」

2 を押す

3 【全てのメニュー】、【レポート印刷】、【電話帳リスト】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

4 【OK】を押す

電話帳リストが印刷されます。

5 印刷が終了したら、を押す

コピー

基本

下記の機能については・・・

■ スタック・ソートコピー / レイアウトコピー / 両面コピー
■ インク節約モード / 裏写り除去コピー / ブックコピー / 透かしコピー / 地色除去コピー
■ 便利な A3 コピー

コピーに関するご注意 基本

コピーを行うときは、以下の点にご注意ください。

● **法律で禁止されているもの(絶対にコピーしないでください)**
- 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方証券
- 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
- 未使用の郵便切手やはがき
- 政府発行の印紙、および酒税法や物品税法で規定されている証券類

● **著作権のあるもの**
- 著作権の対象となっている著作物を、個人的に限られた範囲内で使用する以外の目的でコピーすることは禁止されています。

● **その他注意を要するもの**
- 民間発行の有価証券(株券、手形、小切手)、定期券、回数券
- 政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類など

● **記録紙について**
- しわ、折れのある紙、湿っている紙、一度記録した紙の裏などは使用しないでください。
- 記録紙の保管は、直射日光、高温、高湿を避けてください。
- コピーをする場合(特にカラーの場合)は、記録紙の選択が印刷品質に大きな影響を与えます。推奨紙をお使いください。

● **原稿について**
- インクやのり、修正液などが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。スキャナー(読み取り部)が汚れて、印刷品質が悪くなることがあります。
  ⇒ 52 ページ「ADF(自動原稿送り装置)にセットできる原稿」

● **スキャナー(読み取り部)について**
- スキャナー(読み取り部)は常にきれいにしておいてください。汚れているときれいにコピーできません。
  ⇒ 105 ページ「スキャナー(読み取り部)を清掃する」

原稿の読み取り範囲について
⇒ 52 ページ「原稿の読み取り範囲」

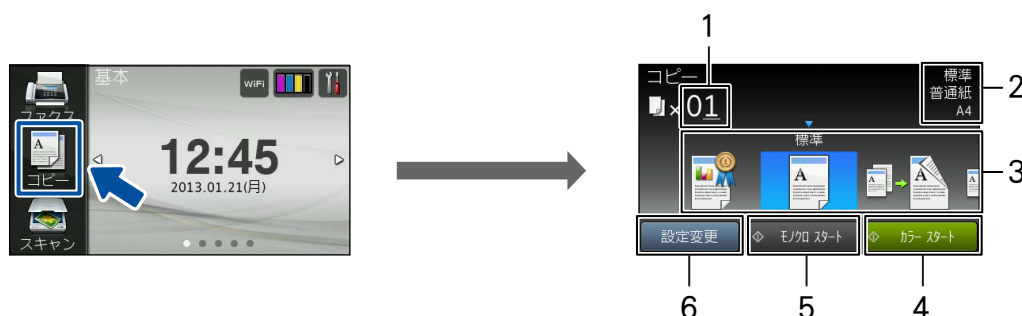
コピーする

モノクロまたはカラーでコピーします。画質や濃度を変更したり、いろいろなコピーをすることができます。

お願い

■ スキャナー（読み取り部）はきれいにしておきましょう。汚れているときれいなコピーができません。スキャナー（読み取り部）のお手入れ方法について詳しくは、⇒ 105 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」をご覧ください。

コピーモード時の画面とボタンについて

ここでは、コピーモードで表示される画面情報やボタンについて説明します。

1	部数	コピーする部数が表示されます。
2	コピー設定情報	現在、設定されている、プリセットコピーメニュー、記録紙タイプ、記録紙サイズの情報が表示されます。
3	プリセットコピーメニュー	いろいろなコピーを最適に行うための設定値があらかじめ登録されています。左右にフリックして表示することができます。 ⇒ 82 ページ「プリセットコピーメニューについて」
4	カラー スタート	カラーでコピーします。
5	モノクロ スタート	モノクロでコピーします。
6	設定変更	コピー画質や記録紙の種類など、さまざまな設定を変更できます。 ⇒ 83 ページ「設定を変えてコピーするには」

コピーする

原稿をモノクロまたはカラーでコピーします。

1 原稿をセットする

2 【コピー】を押す

3 左右にフリックして、プリセットコピーメニューを選ぶ

お買い上げ時は【標準】に設定されています。

4 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

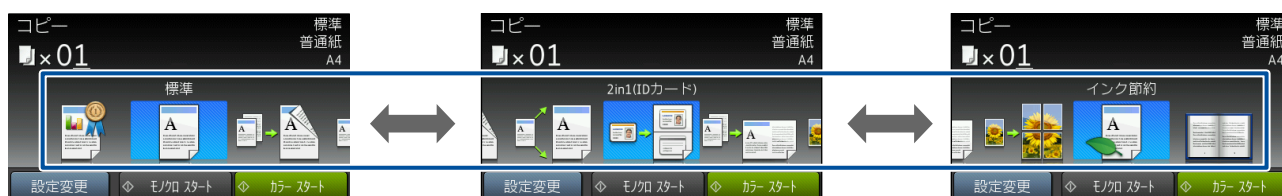
【設定変更】を押すと、画質や記録紙サイズなど、一時的に設定を変更することもできます。

5 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

途中でコピーを中止するには、✕を押してください。

ご使用の前に
ファクス
電話帳
コピー
デジカメプリント
こんなときは
付録

プリセットコピーメニューについて

プリセットコピーとは、いろいろなコピーを最適に行うための設定値があらかじめ登録されている機能です。通常のコピーを行う場合は【標準】を選択してください。次の表は、プリセットコピーメニューとそれぞれの初期設定値を表しています。■部分はプリセット機能を有効にする値であるため、変更しないでください。■部分は、向きや分割枚数の選択はできますが、オフにするとプリセット機能が無効になります。

設定変更 ＼ プリセットコピーメニュー		コピー画質	記録紙タイプ	記録紙サイズ	拡大／縮小	コピー濃度	スタック／ソート	レイアウトコピー	両面コピー	便利なコピー設定
高画質	写真やイラストなどをよりきれいにコピーします。	高画質	普通紙	A4	100%	0	スタックコピー	オフ（1in1）	オフ	オフ
標準	通常のコピーをします。お買い上げ時の設定です。	標準	【全てのメニュー】で設定した値に自動で設定されます。	【全てのメニュー】で設定した値に自動で設定されます。	100%	0	スタックコピー	オフ（1in1）	オフ	オフ
片面⇒両面	片面2枚の原稿を両面1枚にコピーします。	標準	―	A4	100%	0	スタックコピー	オフ（1in1）	印刷の向き：縦長辺とじ	オフ
A4⇒A3拡大	A4 サイズの原稿をA3 サイズに拡大コピーします。	標準	普通紙	A3	141%	0	スタックコピー	―	―	オフ
2in1（IDカード）	カードサイズの原稿の両面を、1 枚の記録紙に割り付けてコピーします。	標準	普通紙	A4	―	0	―	2in1（IDカード）	―	―
2in1	2 枚の原稿を 1 枚の記録紙に割り付けてコピーします。	標準	普通紙	A4	―	0	―	2in1（タテ長）	オフ	―
ポスター	原稿をポスターサイズに拡大し、複数の記録紙に分割してコピーします。	標準	普通紙	A4	―	0	―	ポスター（2×2）	―	―
インク節約	文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。	標準	普通紙	A4	100%	0	スタックコピー	―	オフ	インク節約モード
ブック	本のように中央でとじられた原稿を開いてコピーするときに、原稿の傾きを自動で補正します。	標準	普通紙	A4	100%	0	―	―	―	ブックコピー

設定を変えてコピーするには

【コピー】を押して、画面に表示される【設定変更】から、コピーの設定が変更できます。ここで変更した内容は待ち受け画面に戻ると初期値に戻りますが、お気に入りとして登録することもできます。
⇒ 38 ページ「お気に入りを登録する」

例：記録紙タイプ

【設定変更】を押す

【記録紙タイプ】を押す

設定値を選ぶ

(1) コピー画質	
コピーの画質を設定します。 • 【標準】 通常のコピーを行う場合に選びます。 • 【高画質】 写真やイラストなどをよりきれいにコピーする場合に選びます。 ※1 部コピーと複数部コピーでは、画質が異なることがあります。	
(2) 記録紙タイプ	
使用する記録紙に合わせて、記録紙タイプを設定します。 【普通紙／インク紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢／ OHP フィルム】	
(3) 記録紙サイズ	
使用する記録紙に合わせて、記録紙サイズを設定します。 【A4 ／ A3 ／ B4 ／ A5 ／ B5 ／ハガキ／ 2L 判／ L 判】	
(4) 拡大 / 縮小	
倍率を変更してコピーします。 【等倍 100%】 【拡大】 • 【240% L 判 ⇒ A4】 • 【204% ハガキ ⇒ A4】 • 【141% B5 ⇒ B4，A4 ⇒ A3】 • 【123% A5 ⇒ B5】 • 【115% B5 ⇒ A4】 • 【113% L 判 ⇒ ハガキ】*1 【縮小】 • 【86% A4 ⇒ B5】 • 【69% A4 ⇒ A5】 • 【46% A4 ⇒ ハガキ】 • 【40% A4 ⇒ L 判】 【用紙に合わせる】*2 【カスタム（25-400%）】*3	拡大 / 縮小とレイアウトコピーは同時に設定できません。 *1 L 判タテ向きの写真（127mm × 89mm）をハガキにフィットさせます。 *2 選択した用紙のサイズに合わせて自動的に倍率が設定されます。 【用紙に合わせる】は次のような制約があります。 • ADF（自動原稿送り装置）は使用できません。原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。 • 原稿を読み取るときに 3°以上傾いている場合、サイズを検知できず、適切にコピーできない場合があります。 • ソートコピー、レイアウトコピー、両面コピー、裏写り除去コピー、ブックコピーと同時に設定できません。 *3 画面に表示されているテンキーや操作パネル上のダイヤルボタンで倍率を入力し、【OK】を押します。

(5) コピー濃度

コピーの濃度を調整します。5 段階の調整ができます。

(6) スタック / ソート コピー

複数部コピーをするとき、一部ごと（ソートコピー)、ページごと（スタックコピー）にまとめてコピーできます。
⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「スタック / ソートコピーする」

(7) レイアウト コピー

2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚の記録紙に割り付けてコピーしたり、原稿をポスターサイズに拡大してコピーしたりできます。
⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「レイアウトコピーする」

(8) 両面コピー

片面 2 枚の原稿を両面 1 枚にコピーできます。とじ辺と原稿の向きの設定により、うら面のコピー方向が選べます。
⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「両面コピーする」

(9) 便利なコピー設定

その他のいろいろなコピーができます。

- 【インク節約モード】
  文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「インクを節約してコピーする」
- 【裏写り除去コピー】
  コピー時の裏写りを軽減します。
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「コピー時の裏写りを抑える」
- 【ブックコピー】
  原稿台ガラスに本のように中央でとじられた原稿を開いてコピーするときに、とじ部分の陰やセット時の原稿の傾きを自動で補正します。
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「ブックコピーする」
- 【透かしコピー】
  コピー画像に 5 種類のテキストの中から 1 つを選んで、好みの位置、サイズ、角度、濃度、色で重ねることができます。
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「コピーに文字を重ねる」
- 【地色除去コピー】
  原稿の下地（背景）の色を除いてコピーします。
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「原稿の地色を除去してコピーする」

(10) お気に入り登録

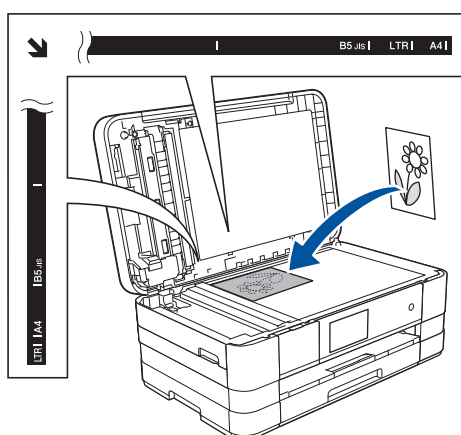
設定変更をしたあとで、【お気に入り登録】を押すと、現在の設定がお気に入りとして登録できます。

写真用光沢はがきに L 判の写真をコピーする（設定変更の操作例）

L 判の写真を、写真用光沢はがきにコピーする手順を例にして説明します。

1 **記録紙トレイに写真用光沢はがきをセットする**

⇒ 44 ページ「記録紙トレイにセットする」

2 **原稿台カバーを持ち上げ、原稿ガイドの左奥に合わせて、コピーしたい写真面が下になるようにセットする**

3 **原稿台カバーを閉じる**

4 **【コピー】を押す**

5 **操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する**

6 **【設定変更】を押す**

1）コピー画質を設定する

7 **【コピー画質】を押す**

8 **【高画質】を押す**

2）記録紙タイプを設定する

9 **【記録紙タイプ】を押す**

10 **【その他光沢】を押す**

3）記録紙サイズを設定する

11 **【記録紙サイズ】を押す**

12 **上下にフリックするか、▲/▼を押して画面をスクロールさせ、【ハガキ】を押す**

4）拡大・縮小率を設定する

13 **【拡大 / 縮小】を押す**

14 **【拡大】を押す**

15 **上下にフリックするか、▲/▼を押して画面をスクロールさせ、【113 % L 判 ⇒ ハガキ】を押す**

16 **【OK】を押す**

17 **【カラー スタート】を押す**

第 5 章

デジカメプリント

デジカメプリント

その他の機能

下記の機能については・・・

■ まとめてプリント
■ インデックスプリント / 番号指定プリント
■ こだわり印刷
■ スライド表示

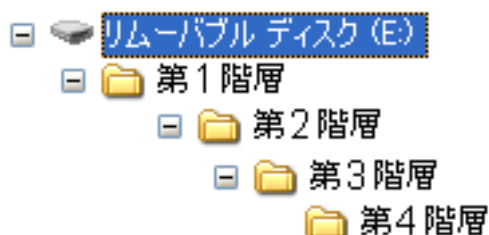
写真をプリントする前に

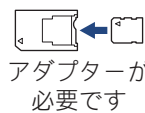
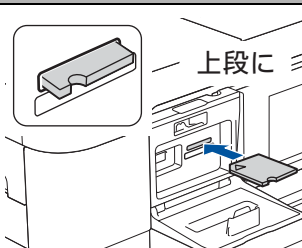
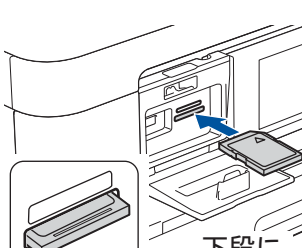
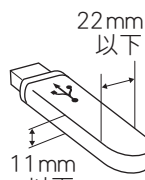
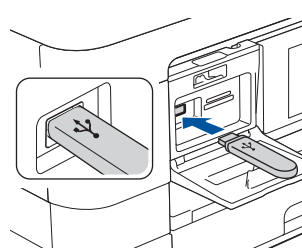
デジカメプリント

デジタルカメラで撮影した写真や動画が保存されているメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを、本製品のカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口に差し込んで、直接プリントします。パソコンに取り込んだり、中継させる必要がありません。

お願い

- **メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーは正しくフォーマットされたものをお使いください。**
- **写真のフォーマットは「JPEG」形式をお使いください。（プログレッシブ JPEG、TIFF、その他の形式のフォーマットには対応していません。）**
- **動画のフォーマットは「AVI」または「MOV」形式の MotionJPEG をお使いください。**
- **デジカメプリントとパソコンからのメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーの操作は同時にできません。必ず、どちらかの作業が終わってから操作してください。**

- 拡張子が「.JPEG」「.JPE」のファイルは認識しません。拡張子を「.JPG」に変えてください。（拡張子の大文字と小文字は区別せず、どちらも認識します。）
- 画像ピクセルサイズが処理可能サイズ（横幅が 8192 ピクセル以内）を超えた場合は、印刷できません。
- 日本語のファイル名が付けられた画像は、インデックスプリント（⇒ユーザーズガイド 応用編 第 6 章「インデックスシートをプリントする」）を行うと、ファイル名が正しく印字されません。
- 本製品は、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の 4 階層目までのフォルダーに入っている画像しか認識しません。5 階層目以下にある写真をプリントするときは、パソコンでフォルダー階層を上げて保存し直すか、パソコンからのプリントに切り替えてください。

- メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像データは、フォルダーとファイルを合わせて 999 個まで認識します。
- Macintosh の場合、OS によっては、本製品にセットしたメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのアイコンがデスクトップに表示されます。アイコンがデスクトップに表示されていると、デジカメプリントの操作ができません。この場合は、デスクトップ上のメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのアイコンをいったん［ゴミ箱］に移動させたあと、デジカメプリントの操作をしてください。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

1 メディアスロットカバーを開く

2 本製品のカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口に、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを 1 つだけ差し込む

下記のメモリーカードおよび USB フラッシュメモリーに対応しています。

種類		セットする位置
• メモリースティック デュオ ™（最大 128MB） • メモリースティック PRO デュオ ™（最大 32GB）		上段に
• メモリースティック マイクロ ™（M2™）（最大 32GB）	アダプターが必要です	
• SD メモリーカード（最大 2GB） • SDHC メモリーカード（最大 32GB） • SDXC メモリーカード（最大 128GB） • マルチメディアカード（最大 2GB） • マルチメディアカード plus（最大 4GB）		下段に
• miniSD カード（最大 2GB） • microSD カード（最大 2GB） • miniSDHC カード（最大 32GB） • microSDHC カード（最大 32GB） • マルチメディアカード mobile（最大 1GB）	アダプターが必要です	
• USB フラッシュメモリー（最大 32GB）	22mm 以下 11mm 以下	

重要

- ■ メモリーカードは 1 枚だけしか読み取れません。2 枚挿入すると破損の恐れがあります。使用するメモリーカードのみを挿入してください。
- ■ カードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口には、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー、PictBridge 対応デジタルカメラ以外のものを差し込まないでください。本製品が破損する恐れがあります。
- ■ アクセス中は、電源プラグを抜いたり、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを壊す恐れがあります。

お願い

- ■ メモリーカードと USB フラッシュメモリーを両方挿入しても、最初に挿入した記録メディアしか読み込みません。使用する記録メディアのみを挿入するようにしてください。

- データが認識されないときは、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが破損していないかどうかを、データを記録した機器などに戻して確認してください。
- 本製品は、著作権保護機能には対応していません。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出すときは

アクセスが終了していることを確認して、そのまま引き抜きます。
パソコンに接続しているときは、必ず、パソコン上でメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーへのアクセスを終了してから、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを引き抜いてください。

パソコンからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする

本製品とパソコンが USB 接続されている場合は、本製品にセットした USB フラッシュメモリーまたはメモリーカードを、パソコンから［リムーバブル ディスク］として利用することができます。
また、ネットワーク接続であっても、パソコンから本製品経由でアクセスする方法があります。本製品にセットしたメディアにパソコンからアクセスする方法について詳しくは、下記をご覧ください。
Windows® の場合
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「パソコンからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使う」
Macintosh の場合
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh からメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使う」

動画プリントについて

本製品は、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存されている動画を自動的に9分割して、1枚の記録紙にプリントすることができます。

写真と共に保存されている動画も表示されます

印刷設定画面

出力例

プリント方法は通常の写真と同様です。詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 92 ページ「写真をプリントする」

- 動画の特定のシーンを指定することはできません。
- 分割したコマの中に出力に適さない（部分的に壊れている）データがある場合は、そのコマのみ白紙になります。
- 本製品が対応している動画のフォーマットは、「AVI」または「MOV」形式のMotionJPEGです。ただし、1ファイルのサイズが1GB（撮影時間およそ30分）以上のAVIファイル、2GB（撮影時間およそ60分）以上のMOVファイルはプリントできません。

  使用できないデータは、?と表示されます。

写真をプリントする

デジタルカメラで撮影した画像が保存されているメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを本製品のカードスロットまたはUSBフラッシュメモリー差し込み口に差し込んで、直接プリントします。

> パソコンからメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーにアクセスし、【PC接続中】と表示されている間はデジカメプリント機能は使用できません。

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の画像を見る・プリントする

[かんたん印刷]

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーの画像を画面で確認・プリントできます。

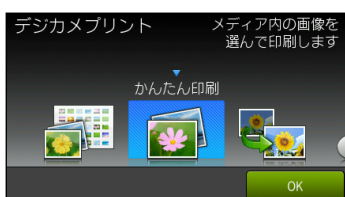
1 メディアスロットカバーを開く

2 メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを差し込む

⇒89ページ「メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーをセットする」

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、[ホーム]を押して、待ち受け【便利な機能】画面を表示させてください。

3 【デジカメプリント】を押す

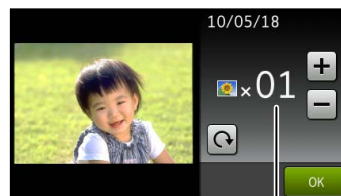
4 【かんたん印刷】を選んで【OK】を押す

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の画像が表示されます。

> 画像のファイルサイズによっては、表示されるまでに時間がかかる場合があります。

5 プリントしたい画像を選ぶ

目的の画像が表示されていないときは、左右にフリックするか、◀/▶を押して、画面をスクロールさせます。

> ◀/▶を長押しすると目的の写真を早く表示できます。
>
> メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の画像をまとめてプリントしたいときは、【全て1枚選択】を押します。100枚目までの画像をすべて1枚ずつプリントするように設定できます。
> ⇒ユーザーズガイド 応用編 第6章「メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の画像をまとめてプリントする」

6 【+】/【−】でプリント枚数を設定し、【OK】を押す

プリント枚数

> 操作パネル上のダイヤルボタンでも部数を入力できます。
>
> [回転]を押すたびに90°ずつ右回りに回転します。

7 手順5、6を繰り返して、プリントしたい画像をすべて選び、【OK】を押す

8 画面で設定を確認する

【印刷設定】を押すと、画質や記録紙のサイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ 94 ページ「設定を変えてプリントするには」

9 【スタート】を押す

DPOF を使用する場合

DPOF（デジタルプリントオーダーフォーマット）[*1] を利用して、プリントする写真や枚数を指定している場合、以下の手順で操作してください。メディアをセットしたまま、ほかのモードで使用していた場合は、いったんメディアを抜いてください。

(1) メディアスロットカバーを開く

(2) DPOF 設定済みのメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを差し込む

(3) 【DPOF】を押す

(4) 【印刷設定】を押す

◆デジカメプリントの設定画面が表示されます。

(5) 【記録紙サイズ】を押す

(6) 記録紙サイズを選ぶ

◆他の設定項目も変更できます。ただし、プリント画質は変更できません。また、プリント枚数と日付も DPOF での設定が優先されるため変更できません。
設定を変更したら、【OK】を押して手順 (7) に進んでください。

(7) 【スタート】を押す

◆DPOF で指定したとおりに写真がプリントされます。

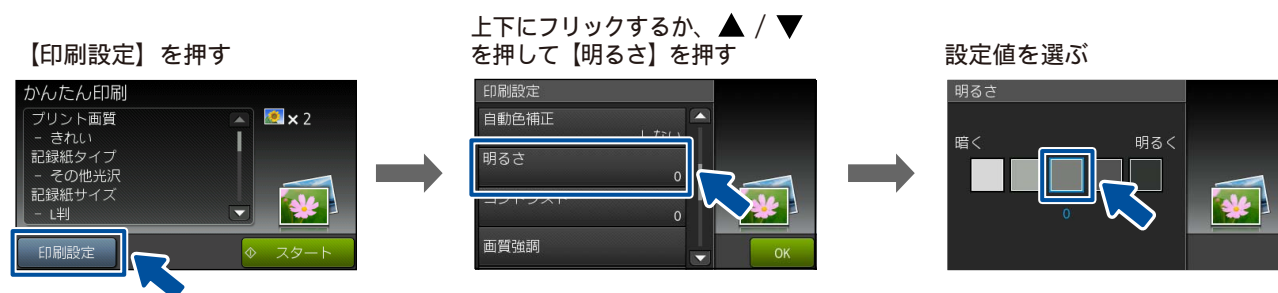
*1 デジタルカメラの記録フォーマットの一つで、撮影した画像のプリントに関する規格です。プリントする写真の選択やプリント枚数の指定をデジタルカメラ側で行えます。DPOF を使用すると、プリントしたい写真や枚数を本製品側で指定する必要がありません。

※DPOF から動画のプリントはできません。

設定を変えてプリントするには

デジカメプリントの設定を確認する画面に表示される【印刷設定】から、プリントの設定が変更できます。【印刷設定】で変更できる項目は、デジカメプリントモードの機能によって異なります。設定できない項目は、キーの色が灰色表示されます。詳しくは、⇒ 173 ページをご覧ください。

ここでは、すべての【印刷設定】の項目について説明しています。

例：明るさ

(1) プリント画質

プリントする際の画質を設定します。

- 【標準】
  速くプリントする場合に選びます。
- 【きれい】
  よりきれいにプリントする場合に選びます。

(2) 記録紙タイプ

プリントする記録紙の種類を選びます。
【普通紙／インク紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢】

(3) 記録紙サイズ

プリントする記録紙のサイズを選びます。
【L 判／ 2L 判／ハガキ／ A4 ／ A3】
【A4】を選んだ場合は、プリントサイズ（レイアウト）を以下の設定から選びます。

(4) 自動色補正

自動で色や明るさを補正します。【する】または【しない】を選びます。

(5) 明るさ

プリントする際の明るさを調整します。5 段階の調整ができます。

(6) コントラスト

プリントする際のコントラストを調整します。5 段階の調整ができます。【+】はコントラストが強くなり、【−】はコントラストが弱くなります。

(7) 画質強調

(1) 上下にフリックするか、▲/▼を押して画面をスクロールさせ【画質強調】を押す

(2) 更に【画質強調】を押して、【する】を押す

(3) 設定する項目を選ぶ

- 【ホワイトバランス】
  画像の白色部分の色合いを基準に、全体の色合いを調整します。色合いを調整することで、より自然に近い色合いにプリントできます。
- 【シャープネス】
  画像の輪郭部分のシャープさを調整して、はっきりした画像に調整できます。
- 【カラー調整】
  画像のカラー全体の濃度（色の濃さ）を調整し、画像全体をくっきりさせることができます。

(4) ◀/▶でレベルを調整し、【OK】を押す

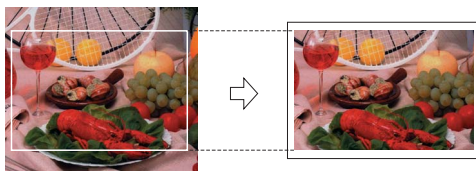
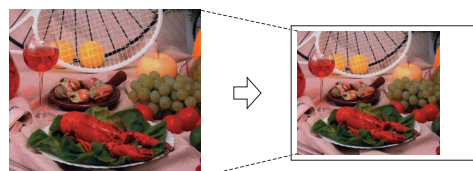
(5) 手順 (3)、(4) を繰り返して、3 つの項目を調整する

(6) 【OK】を押す

※画質強調は、画素数の少ないデジタルカメラの画像に対して有効に働きます。
メガピクセルクラスのカメラで撮影した写真は、そのままプリントしてください。
なお、画素数の多い画像に画質強調を行うと、処理に数十分かかる場合があります。

(8) 画像トリミング

プリント領域いっぱいに画像がプリントされるように、収まらない部分を切り取ります。
画像トリミングをしない場合は、ふちなし印刷も【しない】に設定してください。

- 【する】
  横長の画像の場合は、縦のプリント領域に合わせて、縦長の画像の場合は、横のプリント領域に合わせてプリントします。収まりきらない部分は、切り取られます。

- 【しない】
  画像を切り取らずに、プリント領域に収まるようにプリントします。

(9) ふちなし印刷

プリント領域いっぱいにプリントします。【する】または【しない】を選びます。
※ふちなし印刷を【する】に設定すると、画像トリミングの設定の有無にかかわらず、画像をプリント領域に合わせるために一部が自動的にトリミングされることがあります。

(10) 日付印刷

撮影された日付をプリントします。【する】または【しない】を選びます。
※動画は、【する】に設定しても日付はプリントされません。

(11) 設定を保持する

設定を変更したあとで、【設定を保持する】を選びます。【設定を保持しますか ？ ／はい／いいえ】と表示されるので、【はい】を押すと、現在の設定が初期値として登録されます。

(12) 設定をリセットする

印刷設定をお買い上げ時の状態に戻します。

L 判、はがきに写真をプリントする（印刷設定の操作例）

写真を L 判サイズやはがきサイズの記録紙にプリントする手順を説明します。

1 記録紙をセットする

記録紙は光沢面（印刷面）を下にしてセットしてください。
⇒ 44 ページ「記録紙トレイにセットする」

2 メディアスロットカバーを開く

3 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを差し込む

⇒ 89 ページ「メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする」
すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、 を押して、待ち受け【便利な機能】画面を表示させてください。

4 【デジカメプリント】を押す

5 【かんたん印刷】を選んで【OK】を押す

> 画像のファイルサイズによっては、表示されるまでに時間がかかる場合があります。

6 プリントしたい画像を選ぶ

目的の画像が表示されていないときは、左右にフリックするか、◀/▶ を押して、画面をスクロールさせます。

> ◀/▶ を長押しすると目的の写真を早く表示できます。

7 【+】／【−】でプリント枚数を設定し、【OK】を押す

> 操作パネル上のダイヤルボタンでも部数を入力できます。
>
> を押すたびに 90°ずつ右回りに回転します。

8 【OK】を押す

9 【印刷設定】を押す

1）記録紙タイプを設定する

10 【記録紙タイプ】を押す

11 セットした記録紙の種類を選ぶ

セットした記録紙の種類に合わせて、【普通紙】【インク紙】【ブラザー BP71 光沢】【その他光沢】のいずれかを選びます。

2）記録紙サイズを設定する

12 【記録紙サイズ】を押す

13 セットした記録紙のサイズを選ぶ

セットした記録紙のサイズに合わせて、【L 判】【ハガキ】のいずれかを選びます。

14 【OK】を押す

15 【スタート】を押す

PictBridge機能を使ってデジタルカメラから直接プリントする

本製品はPictBridgeに対応しています。PictBridge対応のデジタルカメラと本製品をUSBケーブルで接続して、直接写真をプリントします。

PictBridgeとは

PictBridgeは、デジタルカメラやデジタルビデオカメラ、カメラ付き携帯電話などで撮影した画像を、パソコンを使わずに直接プリントするための規格です。PictBridgeに対応した機器であれば、メーカーや機種を問わず、本製品と接続して写真をプリントできます。

PictBridgeに対応しているデジタルカメラには、以下のロゴマークがついています。

重要

■ PictBridgeケーブル差し込み口には、PictBridge対応のデジタルカメラおよびUSBフラッシュメモリー以外を接続しないでください。本製品が破損する恐れがあります。

- PictBridge使用中はメモリーカードの使用はできません。
- 本製品は、動画を9分割画像にしてプリントできますが、PictBridgeではこの機能は使用できません。

デジタルカメラで行う設定

本製品でPictBridge機能を使う場合は、デジタルカメラで以下の設定ができます。設定項目や設定内容は、お使いのデジタルカメラによって異なります。詳しくは、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

設定項目	設定内容
記録紙サイズ	A3、A4、10 × 15cm、L判、2L判、はがき
記録紙タイプ	普通紙、光沢紙、インクジェット紙
DPOFプリント*1	する、しない、プリント枚数、日付
プリント品質	標準、高画質
画質補正	する、しない
日付印刷	する、しない

*1 DPOFとは、デジタルカメラの記録フォーマットの一つで、撮影した画像のプリントに関する規格です。プリントする写真の選択やプリント枚数の指定をデジタルカメラ側で行えます。DPOFを使用すると、プリントしたい写真や枚数を本製品で指定する必要がありません。

デジタルカメラから設定ができない場合、またはデジタルカメラでプリンター設定を選んだ場合は、以下の設定でプリントされます。
- プリント画質：きれい
- 記録紙タイプ：その他光沢
- 記録紙サイズ：L判
- 画質強調：しない
- ふちなし印刷：する

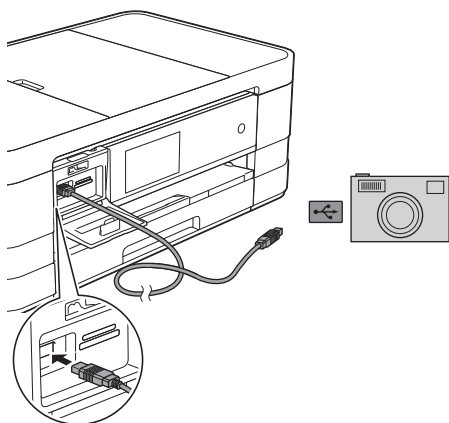
写真をプリントする

お願い

■ PictBridge を使用する前に、本製品にメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーがセットされていないことを確認してください。

1 デジタルカメラの電源を切る

2 本製品とデジタルカメラを USB ケーブルで接続する

本製品前面にあるメディアスロットカバーを開け、PictBridge ケーブル差し込み口に USB ケーブルを接続します。

重 要

■ PictBridge ケーブル差し込み口には、PictBridge 対応のデジタルカメラおよび USB フラッシュメモリー以外を接続しないでください。本製品が破損する恐れがあります。

3 デジタルカメラの電源を入れ、プリント設定をする

設定方法については、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

デジタルカメラから設定ができない場合は、固定の設定でプリントされます。
⇒ 97 ページ「デジタルカメラで行う設定」

4 デジタルカメラからプリントを実行する

お願い

■ プリントが終了するまで、USB ケーブルを抜かないでください。

5 デジタルカメラの電源を切り、USB ケーブルを抜く

DPOF を使用する

DPOF 設定を行ったメモリーカードをデジタルカメラから取り出して本製品にセットします。
⇒ 93 ページ「DPOF を使用する場合」

スキャンしたデータをメディアに保存する その他の機能

本製品でスキャンした画像を、パソコンを使用せずにメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存できます。TIFF ファイル形式（.TIF）または PDF ファイル形式（.PDF）を選ぶと、複数枚の原稿を 1 つのファイルにまとめて保存できます。

スキャンしたデータをメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存する

［メディア保存］

1 原稿をセットする

⇒ 53 ページ「原稿をセットする」

2 メディアスロットカバーを開く

3 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを差し込む

⇒ 89 ページ「メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする」
すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、［ホーム］を押して【スキャン】を押し、左右にフリックして【メディア】を選び、【OK】を押してください。⇒手順 5 へ

4 【スキャン：メディア】を押す

5 【設定変更】を押す

6 【カラー設定】を押し、カラーを選ぶ

【カラー／モノクロ】から選びます。

7 【解像度】を押し、解像度（1 インチあたりのドット数）を選ぶ

【100 dpi ／ 200 dpi ／ 300 dpi ／ 600 dpi ／自動】から選びます。

8 【ファイル形式】を押し、保存するファイル形式を選ぶ

- 手順 6 で、カラーを選んだ場合
【PDF ／ JPEG】から選びます。
- 手順 6 で、モノクロを選んだ場合
【PDF ／ TIFF】から選びます。

9 【ファイル名】を押し、画面に表示されているキーボードで保存するファイルの名前を入力し、【OK】を押す

ファイル名は 6 文字以内で入力します。

※あらかじめ、スキャンする日付が入力されています。スキャンを開始すると、ファイル名の末尾に自動的に通し番号が追加されます。
例）2013 年 5 月 3 日にスキャンをすると、スキャン後のファイル名は「130503XX」（「XX」は通し番号）となります。

※ファイル名に漢字・ひらがな・カタカナを使うことはできません。アルファベット、数字、記号で付けてください。

※間違って入力した場合は、［削除］を押して消去します。

10 必要に応じて【地色除去】を設定する

【オフ／弱／中／強】から選びます。スキャンした原稿の地色（用紙色または背景色）を 消して保存します。お買い上げ時は、【オフ】に設定されており、地色が残された状態で保存されます。

11 【OK】を押す

12 【スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、スキャンが開始されます。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、1 枚目の原稿を読み取り後、【メディアを抜かないでください　次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 読み取る原稿が 1 枚の場合：⇒手順 15 へ
- 読み取る原稿が複数枚の場合：⇒手順 13 へ

⑬【はい】を押す

【次の原稿をセットして［OK］を押してください】と表示されます。

【次の原稿をセットして［OK］を押してください】と表示されたあと、❌を押すと、それまでに読み取っていたスキャンデータは次のようになります。
- PDF、TIFF 形式の場合は、すべて消去され、保存されません。
- JPG 形式の場合は、最後に読み取ったスキャンデータは消去され、それ以前のデータは保存されます。

操作しないで放置した場合は、約 1 分後に、PDF、TIFF、JPG 形式のいずれの場合も、それまでに読み取っていたスキャンデータを保存して自動的に終了します。

⑭原稿台ガラスに次の原稿をセットして、【OK】を押す

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存する原稿の枚数だけ、手順⑬、⑭を繰り返します。

⑮すべての原稿をスキャンしたら、【いいえ】を押してスキャンを終了する

重要

■ アクセス中は、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを壊す恐れがあります。

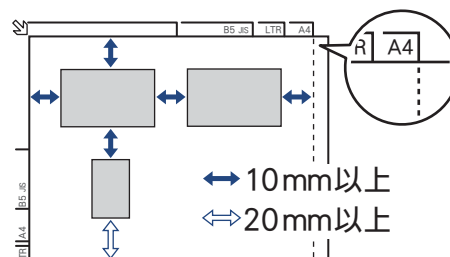
本製品をスキャナーとして使う操作については、下記をご覧ください。
Windows® の場合
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
「Windows® 編」－「スキャナーとして使う前に」
Macintosh の場合
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
「Macintosh 編」－「スキャナーとして使う前に」

パソコンで PDF ファイルを閲覧するには、Adobe® Reader® または Adobe® Acrobat® が必要です。

複数の原稿を一度にスキャンする（おまかせ一括スキャン）

複数の原稿を一度にスキャンして、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存します。

(1) **原稿をセットする**

下記に注意して原稿をセットしてください。
- ADF（自動原稿送り装置）からおまかせ一括スキャンはできません。必ず原稿台ガラスに原稿をセットしてください。
- すべての角が直角（90°）の四角形の原稿のみスキャンできます。
- 下記の範囲を空けてセットしてください。
  左、奥：原稿台ガラスの端から 10mm 以上
  右：A4 サイズのガイド線から 10mm 以上
  手前：原稿台ガラスの端から 20mm 以上
- 原稿の間隔を 10mm 以上空けてください。
- 原稿が 10° 以上傾いていると、スキャンできないことがあります。
- 短辺に対して長辺が長すぎると、スキャンできないことがあります。
- 一度にスキャンできる原稿の枚数はサイズによって異なりますが、最大 16 枚（名刺は 8 枚）です。

(2) **メディアスロットカバーを開く**

(3) メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを差し込む

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、🏠 を押して【スキャン】を押し、左右にフリックして【メディア】を選び、【OK】を押してください。⇒手順 (5) へ

(4) 【スキャン：メディア】を押す

(5) 【設定変更】を押す

(6) 【おまかせ一括スキャン】を押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼ を押して、画面をスクロールさせます。

(7) 【オン】を押す

(8) 【OK】を押す

(9) 【スタート】を押す

◆スキャンできた原稿の枚数が画面に表示されます。

(10)【OK】を押す

◆スキャン結果が画面に表示されます。

※ ◀/▶ で前後の画像を確認できます。

(11)【全て保存】を押す

◆メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにデータが保存されます。

※「おまかせ一括スキャン」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

設定を保持する

(1) 【スキャン】を押す

(2) 【メディア】を押す

目的の画像が表示されていないときは、左右にフリックして、画面をスクロールさせます。

(3) 【OK】を押す

(4) 【設定変更】を押す

(5) 初期値にしたい設定に変更する

(6) 【設定を保持する】を押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼ を押して、画面をスクロールさせます。

◆【設定を保持しますか ? ／はい／いいえ】と表示されます。

(7) 【はい】を押す

◆変更した設定が初期値として登録されます。

※手順 (1) ～ (4) のあと、手順 (6) に進み【設定をリセットする】を選ぶと、いったん保持した設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

(8) 🏠 を押して設定を終了する

第 6 章

こんなときは

本製品が汚れたら

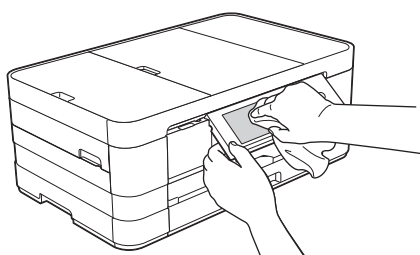
日常のお手入れ

本製品が汚れたときは、必要に応じて以下のようにお手入れを行ってください。

タッチパネルを清掃する

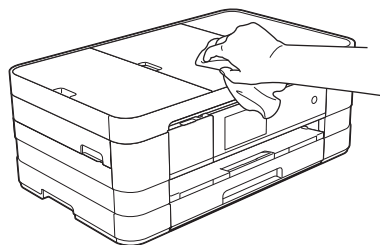
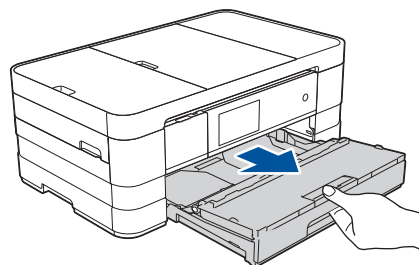
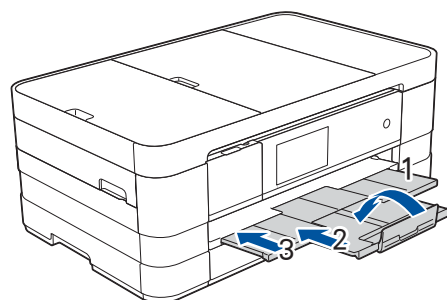
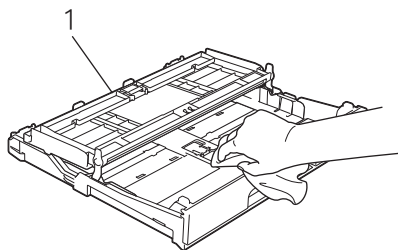
重 要

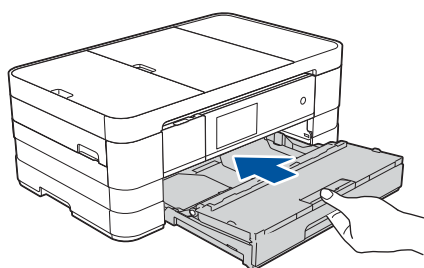
- タッチパネルを清掃するときは、本製品の電源をオフにしてください。
- 液体の洗浄剤は使用しないでください。

乾いた柔らかい布でタッチパネルを軽く拭いてください。

本製品の外側を清掃する

重 要

- 可燃性スプレー、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤や、アルコールを使用しないでください。本製品の操作パネルの文字が消えることがあります。

1 柔らかくて繊維の出ない乾いた布で本体を軽く拭く

2 記録紙トレイを引き出す

記録紙ストッパーが開いている場合は、閉じてから記録紙トレイを引き出してください。

3 トレイカバー（1）を開けて記録紙トレイから記録紙を取り除き、記録紙トレイの内側、外側を軽く拭く

4 トレイカバーを閉じて、記録紙トレイを元に戻す

記録紙トレイをゆっくりと確実に本製品に戻します。

スキャナー（読み取り部）を清掃する

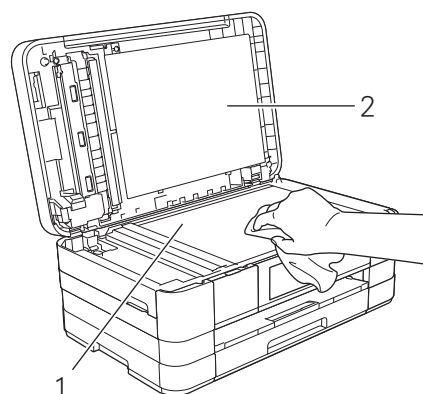
スキャナー（読み取り部）が汚れていると、ファクス送信時やコピー時の画質が悪くなります。きれいな画質を保つために、こまめにスキャナー（読み取り部）を清掃してください。

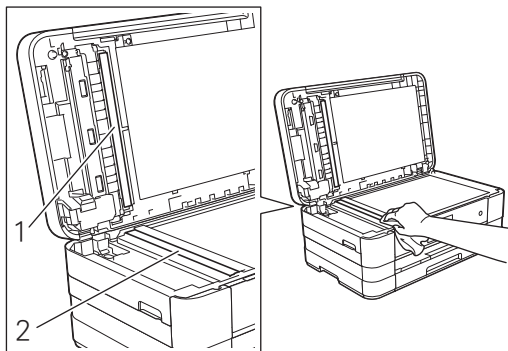
重 要

■ 可燃性スプレー、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤を使用しないでください。

1 電源プラグをコンセントから抜く

2 原稿台カバーを開けて、読み取り部を拭く

水を含ませて固く絞った柔らかい布で、原稿台ガラス（1）、原稿台カバーのプラスチック面（2）を拭いてください。

3 ADF（自動原稿送り装置）読み取り部を拭く

水を含ませて固く絞った柔らかい布で、白色のバー（1）と ADF 読み取り部（2）を拭いてください。

お願い

■ コピーで黒い細い線が入るときには、ADF 読み取り部（2）を清掃してください。
非常に細かい汚れ（ボールペンのインクや修正液など）が付着している場合がありますので、念入りに拭いてください。
汚れが見えない場合は、ADF 読み取り部のガラスを手で触ってどこに汚れがあるかを確認し、その部分をオーディオ用クリーニング液（イソプロピルアルコール）などを含ませた柔らかい布で念入りに拭いてください。
最後に ADF（自動原稿送り装置）からコピーしてみて、黒い縦線が消えていることを確認してください。

4 原稿台カバーを閉じる

5 電源プラグをコンセントに差し込む

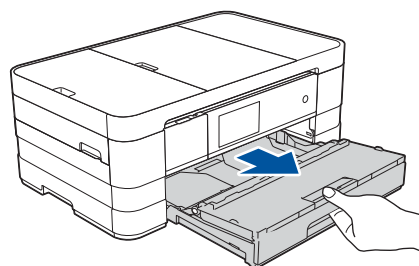
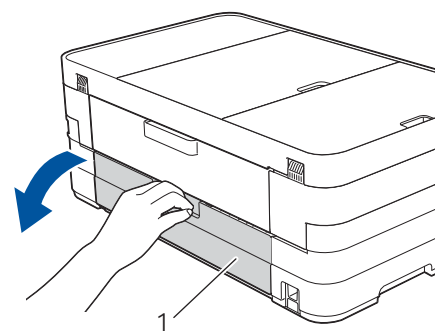
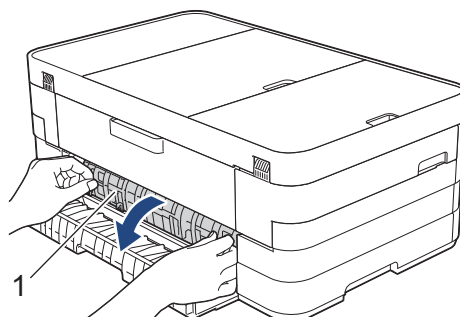
清掃には、無水エタノール、OA クリーナー、メガネクリーナー、カセット用ヘッドクリーナー、CD 用レンズクリーナーも使用できます。

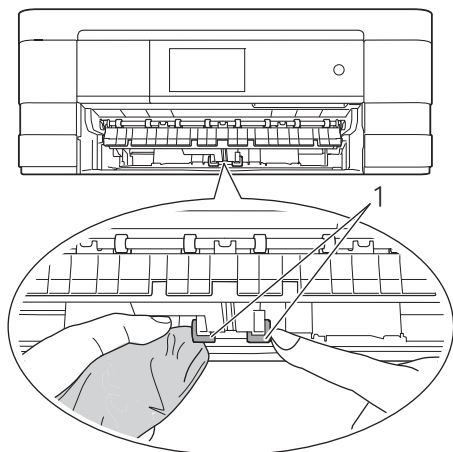
給紙ローラーを清掃する

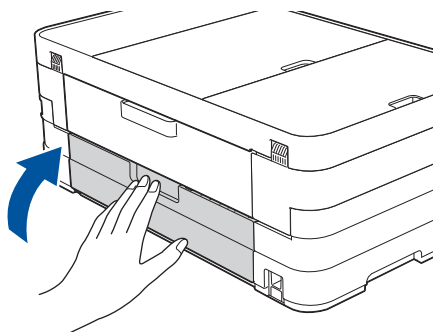
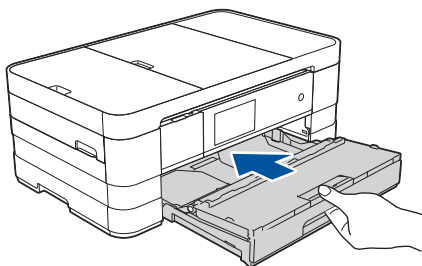
給紙ローラーが汚れていると、記録紙のおもて面が汚れたり給紙されにくくなったりします。

1 電源プラグをコンセントから抜く

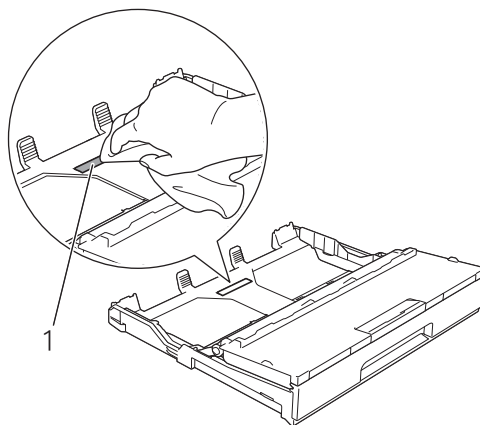
2 柔らかくて繊維の出ない布を水にぬらして固く絞る

3 記録紙ストッパーが格納されていることを確認して、記録紙トレイを引き出す

4 本体背面の紙づまり解除カバー（1）を開く

5 内カバー（1）を開く

6 給紙ローラー（1）を拭く

ローラーの1つを縦方向にゆっくりと回転させながら、残りのローラーを横方向に拭いてください。そのあと、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で水分を拭き取ってください。同様にしてすべてのローラーを拭いてください。

7 内カバー、紙づまり解除カバーの順に閉じる

確実に閉じてください。

8 記録紙トレイを元に戻す

9 電源プラグをコンセントに差し込む

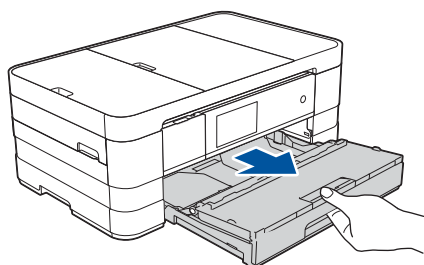
記録紙が重なって給紙されてしまうときは

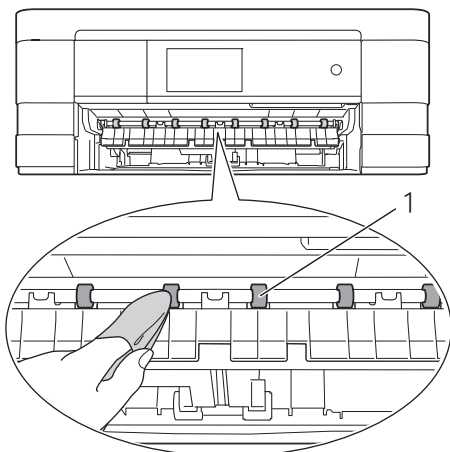
記録紙の残りが少なくなってきたときに、記録紙が重なって給紙されてしまうときは、水にぬらして固く絞った柔らかくて繊維の出ない布で、記録紙トレイのコルク部分（1）を拭いてください。そのあと、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で水分をよく拭き取ります。

排紙ローラーを清掃する

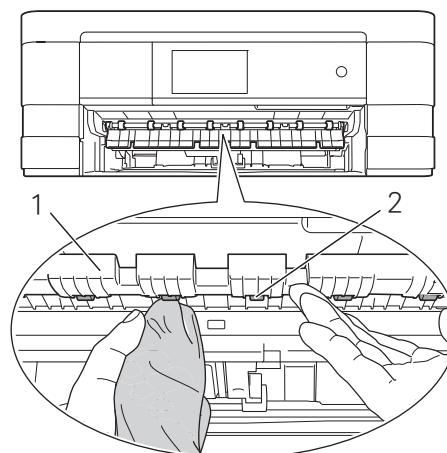
排紙ローラーが汚れていると、記録紙が排出されなかったり、自動両面印刷ができなくなったりします。

1. **電源プラグをコンセントから抜く**

2. **柔らかくて繊維の出ない布を水にぬらして固く絞る**

3. **記録紙ストッパーが格納されていることを確認して、記録紙トレイを引き出す**

4. **排紙ローラー（1）を拭く**

   そのあと、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で水分を拭き取ってください。

5. **フラップ（1）を手前に持ち上げて排紙ローラー（2）の裏側を拭く**

   そのあと、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で水分を拭き取ってください。

6. **記録紙トレイをゆっくりと戻す**

7. **電源プラグをコンセントに差し込む**

重要

- ローラーが完全に乾くまで、本製品を使用しないでください。ローラーが湿った状態で印刷すると、紙づまりやその他不具合の原因になります。

本体内部を清掃する

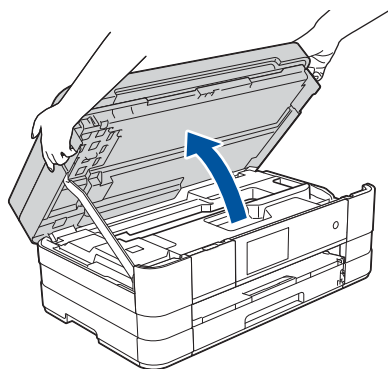
記録紙のうら面が汚れる場合は、本製品内部で記録紙を支えるプラテンと呼ばれる部品が汚れていることが考えられます。

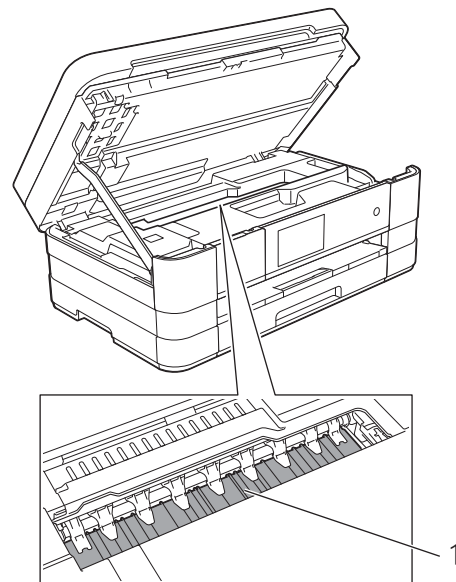
警告

● 内部を清掃するときは、必ず電源プラグを抜いてください。電源プラグを差したまま清掃すると感電する恐れがあります。

1 電源プラグをコンセントから抜く

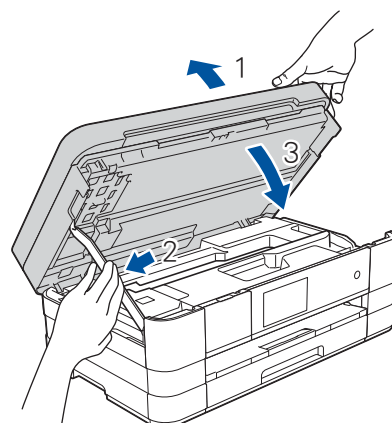
2 両手で本体カバーを開く

本体カバーが保持される位置まで上げてください。

3 柔らかくて繊維の出ない布を水にぬらして固く絞り、プラテン（1）を軽く拭く

インクがプラテン周囲に飛び散っている場合は、柔らかくて繊維の出ない乾いた布でていねいに拭き取ってください。

4 プラテンが完全に乾いたことを確認して、本体カバーを閉める

注意

● 本体カバーは、手をはさまないように注意して、最後まで両手を離さないようにして閉じてください。

本体カバーを少し持ち上げて固定を解除し（1）、カバーサポートをゆっくり押して（2）、本体カバーを両手で閉めます（3）。

5 電源プラグをコンセントに差し込む

インクがなくなったときは

本製品は、インクカートリッジの残量が少なくなると自動的に下記のメッセージを表示し、インクカートリッジの交換時期をお知らせします。インクの残りが少なくなると、文字のカスレなどが発生しやすくなります。
インクの残りが少なくなったときはできるだけ早くインクカートリッジをお求めいただくことをお勧めします。

- インクの残りが少なくなったとき：【まもなくインク切れ】
- インクがなくなったとき：【印刷できません　インク交換】

【モノクロ片面印刷のみ可能です】と表示されているときは、一定期間に限りブラックインクでモノクロ印刷を続けることができます。この状態で印刷をする場合、次のことにご注意ください。

- パソコンから印刷をする場合は、印刷設定時、用紙種類を［普通紙］、カラーを［モノクロ］に設定する必要があります。
  Windows® の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」－「印刷の設定を変更する」
  Macintosh の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」－「印刷の設定を変更する」
- 記録紙タイプが、コピーの場合は【普通紙】に、ファクスの場合は【普通紙】または【インク紙】に設定されている必要があります。
  ただし、次の場合はモノクロでも印刷ができません。
  －空のインクカートリッジを取り外した場合
  －ブラックインクがなくなったとき
  －プリンタードライバーの［基本設定］タブで［乾きにくい紙］をチェックしている場合（パソコンと本製品のそれぞれでいったん印刷を中止し、［乾きにくい紙］のチェックを外して印刷してください。）

本製品は、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングします。そのため、印刷をしていなくてもインクが消費されます。

必要なときに、インク残量を確認することもできます。
⇒ 113 ページ「インク残量を確認する」

インクカートリッジは、それぞれの機種に対応したカートリッジをお買い求めください。お近くの販売店で交換用の純正インクカートリッジが手に入らないときは、弊社ダイレクトクラブでご注文ください。
⇒ 195 ページ「消耗品」
⇒ 197 ページ「消耗品などのご注文について」

インクカートリッジを交換する

画面に【印刷できません　インク交換】と表示されたら、新しいインクカートリッジに交換します。

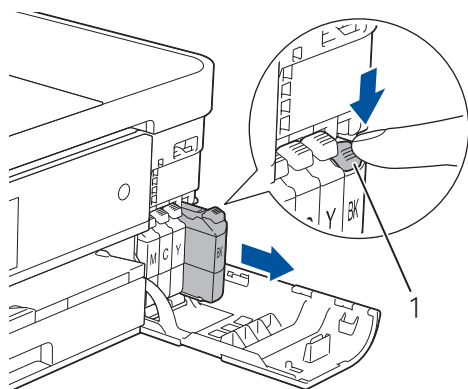
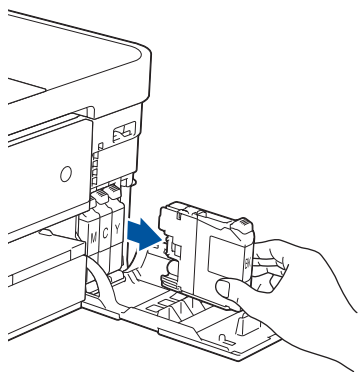
注意

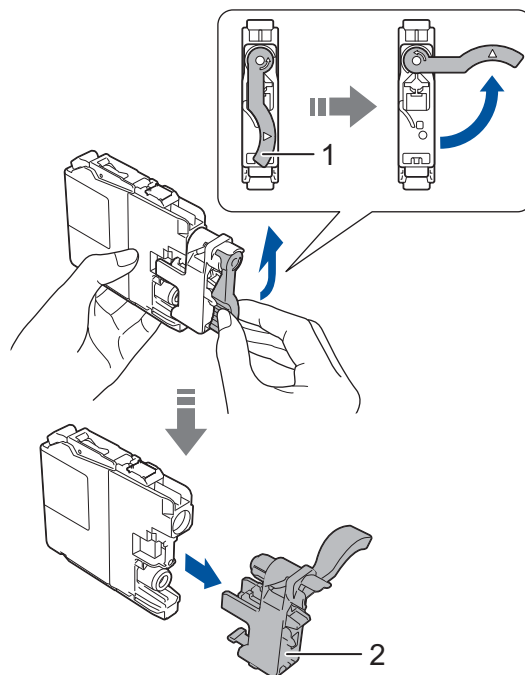
● 誤ってインクが目に入ってしまったときは、すぐに水で洗い流してください。インクが皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。もし、炎症などの症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。

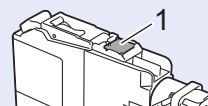
重要

■ インクカートリッジを分解しないでください。インク漏れの原因になります。
■ インクカートリッジの取り付け、取り外しを繰り返さないでください。インクカートリッジからインクが漏れることがあります。
■ 開封したインクカートリッジは、6ヶ月以内に使い切ってください。未開封の場合でも、パッケージに記載された有効期限以内に使用してください。
（6ヶ月を超えてのご使用は、水分が蒸発しインクの粘度が高まるため、吐出不良の恐れがあります。）
■ 純正以外のインクを使用したことによる不具合は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。
■ インクを補充して使うことは、プリントヘッドの目詰まりや、プリントヘッドの故障の原因となる可能性があります。また、インクの補充に起因して発生した故障は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。

1 インクカバーを開く

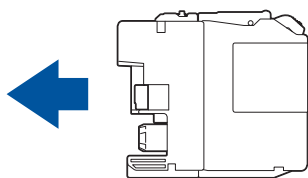
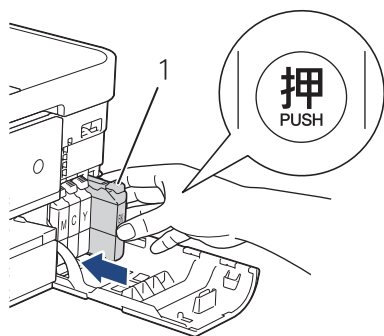
2 なくなった色のリリースレバー（1）を押し下げる

3 インクカートリッジを取り出す

4 新しいインクカートリッジを準備する

緑色の取っ手（1）を図のように回して封印を開放し、オレンジ色の保護カバー（2）を引き抜きます。

重要

■ インクカートリッジの基板（1）に触れないでください。本製品がインクカートリッジを検知できなくなる恐れがあります。

5 新しいインクカートリッジを取り付ける

重 要

- インクカートリッジは、色によってセットする位置が決められています。間違った位置にセットするとエラーになり印刷できません。
  表示に従って正しい位置にセットしてください。

インクカートリッジのラベルに、挿入方向を示す矢印とインク色が印刷されています。

リリースレバー（1）が上がるまで、「押」の部分を押し込みます。

6 インクカバーを閉じる

インク交換を行った場合は、【インクを交換しましたか／BK　ブラック／はい／いいえ】と表示されることがあります。次の手順に進んでください。

7 【はい】を押す

内蔵カウンターがリセットされます。

お願い

- 画面に【インクを交換しましたか／BK　ブラック／はい／いいえ】と表示されたときは、必ず、【はい】を押してください。【いいえ】を押すと本製品の内蔵カウンターがリセットされず、インクの残量を正しく把握できなくなることがあります。
- 【インクカートリッジがありません】【インクを検知できません】と表示されたときは、インクカートリッジをセットし直してください。

インクカートリッジを捨てるときは

使用済みのインクカートリッジは、インクが飛び散らないように注意し、地域の規則に従って廃棄してください。（インクカートリッジに貼られているラベルは、剥がす必要はありません。）
また、弊社では使用済みインクカートリッジの回収・リサイクルに取り組んでおります。
⇒ 197 ページ「インクカートリッジの回収・リサイクルのご案内」

インク残量を確認する

[インク残量]

以下の手順でインク残量を確認できます。

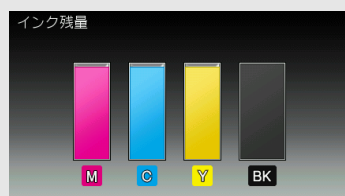
1 を押す

2 【インク】（1）を押す

ボタンには現在のインク残量の目安が表示されています。

、【全てのメニュー】、【基本設定】、【インク】、【インク残量】を順に押しても確認できます。

3 【インク残量】を押す

インク残量が表示されます。

4 を押して確認を終了する

- 待ち受け画面の でも、インク残量の目安を確認したり、押してインクメニューを表示させることができます。
- パソコンからも本製品のインク残量を確認できます。詳しくは、下記をご覧ください。
  Windows® の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「印刷状況やインク残量を確認する（ステータスモニター）」
  Macintosh の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「本製品の設定を確認・変更する」

印刷品質が良くないときは

白紙のまま印刷される、印刷がかすれる、薄い、印刷面に白い筋が入る、違う色になるなど、印刷品質が良くないときは、プリントヘッドのクリーニングを行ったり、印刷位置のズレを補正する必要があります。

重 要

- ■ ヘッドクリーニングが定期的に行われるように、本製品の電源プラグはコンセントに差したままご使用ください。ヘッドクリーニングをしない状態で長く放置すると目詰まりをおこします。
- ■ 本製品の電源プラグを頻繁に抜き差しすると、内部の時計が狂うため、必要以上にクリーニングが実行されることがあります。その際、インクが多く消費されたり、クリーニング時に排出される微量のインクを吸収するための部品が通常よりも早く限界に達して、交換が必要となる場合があります。

定期メンテナンスについて

プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、本製品は、自動で定期的にプリントヘッドをクリーニングします。目詰まりを防ぎ、長く快適にご利用いただくために以下の点にご注意ください。

プリントヘッドをクリーニングする

[ヘッドクリーニング]

印刷品質が良くないと感じたら、自動クリーニングを待たずに、下記の手順でプリントヘッドをクリーニングすることもできます。1 回のヘッドクリーニングで問題が解決しない場合、何度かクリーニングを行うことで、解決できる場合があります。ヘッドクリーニングを 5 回行っても問題が解決しない場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。

目詰まり例

白い筋が縦に入った
A4記録紙

正常

※筋の入りかたは、記録紙のセット方向により異なります。上図のように縦に入るとは限りません。

ヘッドクリーニングはある程度のインクを消耗します。

1 **を押す**

2 **【インク】を押す**

3 **【ヘッドクリーニング】を押す**

4 **クリーニングする色を選ぶ**

【ブラック／カラー／全色】から選びます。

ヘッドクリーニングが開始されます。

待ち受け画面の でも、インク残量の目安を確認したり、押してインクメニューを表示させることができます。

【ブラック】または【カラー】を選んだときは、クリーニングに約 1、2 分かかります。【全色】を選んだときは、約 3 分かかります。

記録紙のうら面が汚れるときは

印刷したあと、記録紙のうら面に汚れが付く場合は、プリンター内部（プラテン、給紙 / 排紙ローラー）にインクが付着している可能性があります。以下の手順で、クリーニングを行います。

1 本体内部のプラテンを清掃する

⇒ 109 ページ「本体内部を清掃する」

2 紙づまり解除カバーを開け、給紙ローラーに汚れがないかを確認する

⇒ 106 ページ「給紙ローラーを清掃する」

3 排紙ローラーに汚れがないかを確認する

⇒ 108 ページ「排紙ローラーを清掃する」

印刷テストを行う

【テストプリント】

プリントヘッドをクリーニングしても印刷品質が改善されない場合は、印刷テストを行い、再度クリーニングを行います。

印刷品質をチェックする

1 A4 サイズの記録紙をセットする

⇒ 44 ページ「記録紙トレイにセットする」

2 を押す

3 【インク】を押す

4 【テストプリント】を押す

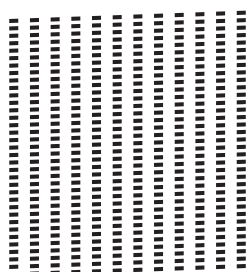
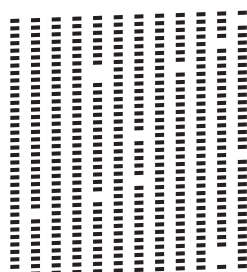
5 【印刷品質チェックシート】を押す

6 【OK】を押す

「印刷品質チェックシート」が印刷されます。

印刷後は、【印刷品質は OK ですか？／はい／いいえ】と表示されます。

7 きれいに印刷されているときは【はい】を、きれいに印刷されていないときは【いいえ】を押す

1 色でも「悪い例」のような状態があるときは、【いいえ】を押します。

【はい】を押した場合は、印刷品質チェックが終了します。手順 12 へ進みます。

【いいえ】を押した場合は、【ブラックは OK ですか？／はい／いいえ】と表示されます。手順 8 へ進みます。

8 黒色がきれいに印刷されているときは【はい】を、きれいに印刷されていないときは【いいえ】を押す

【カラーは OK ですか ？ ／はい／いいえ】と表示されます。

9 カラーがきれいに印刷されているときは【はい】を、きれいに印刷されていないときは【いいえ】を押す

【クリーニングを開始しますか？［OK］を押してください】と表示されます。

10 【OK】を押す

【いいえ】とされたプリントヘッドのクリーニングを行います。クリーニング終了後、【［OK］を押してください】と表示されます。

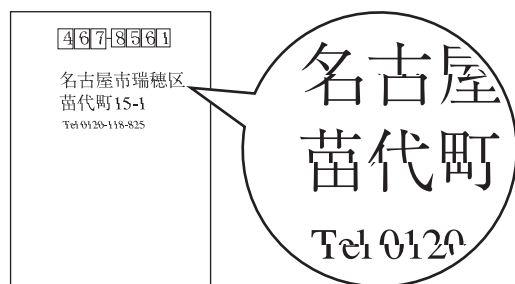
11 【OK】を押す

再度、印刷品質チェックシートを印刷します。⇒手順 6 へ

12 を押してチェックを終了する

待ち受け画面の でも、インク残量の目安を確認したり、押してインクメニューを表示させることができます。

印刷位置のズレをチェックする

印刷位置がずれている場合に、印刷位置が正しいかを確認し、必要に応じて補正します。

1 **A4 サイズの記録紙をセットする**

⇒ 44 ページ「記録紙トレイにセットする」

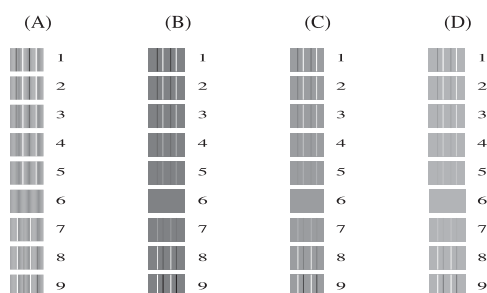
2 **を押す**

3 **【インク】を押す**

4 **【テストプリント】を押す**

5 **【印刷位置チェックシート】を押す**

6 **【OK】を押す**

「印刷位置チェックシート」が印刷されます。

7 **(A) について、縦筋が最も目立たないパターンの番号を選択して【OK】を押す**

8 **(B) について、縦筋が最も目立たないパターンの番号を選択して【OK】を押す**

9 **(C) について、縦筋が最も目立たないパターンの番号を選択して【OK】を押す**

10 **(D) について、縦筋が最も目立たないパターンの番号を選択して【OK】を押す**

11 **を押してチェックを終了する**

待ち受け画面の でも、インク残量の目安を確認したり、押してインクメニューを表示させることができます。

紙が詰まったときは

記録紙が詰まったときは

⚠注意

● プリントヘッドの下に紙が詰まったときは、電源プラグを抜いてから紙と接触しない方向にプリントヘッドを動かし、記録紙を取り除いてください。

お願い

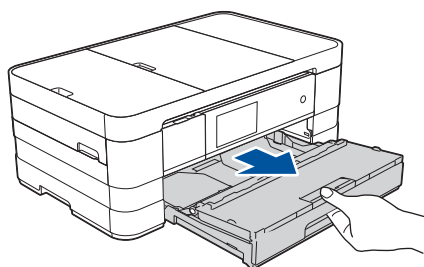
■ 何度も紙が詰まるときは…

- 紙の曲がりや反りを直して使用してください。
  ⇒ 42 ページ「カールしている記録紙について」
- 給紙ローラーを清掃してください。
  ⇒ 106 ページ「給紙ローラーを清掃する」
- 紙づまり解除カバーがしっかりと閉められていることを確認してください。
  ⇒ 120 ページ「記録紙が背面に詰まったときは」手順 5
- 紙の切れ端、クリップなどの異物が内部に残っていないかどうかを、記録紙トレイを抜いて確認してください。
- 記録紙が使用できないものである可能性があります。ブラザー純正の専用紙、推奨紙をお使いになることをお勧めします。
  ⇒ 42 ページ「専用紙・推奨紙」

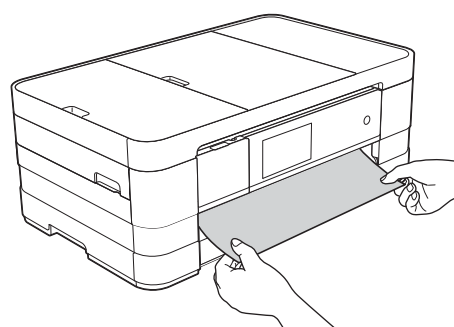
■ メッセージに従って対処してもエラーメッセージが消えないときは、電源プラグを抜き差ししてみてください。

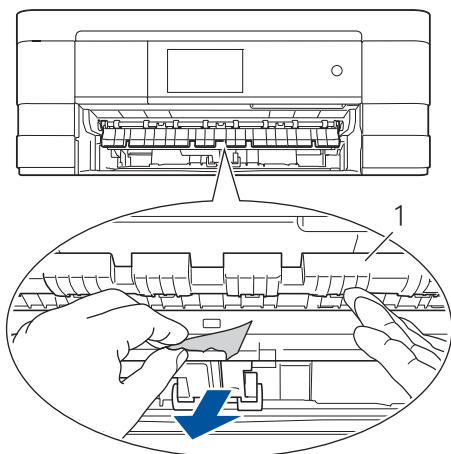
記録紙が前面に詰まったときは

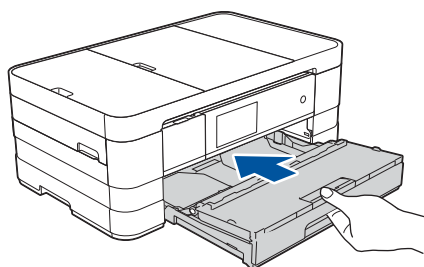
前面に記録紙が詰まると、画面に【記録紙が詰まっています 前】と表示されます。

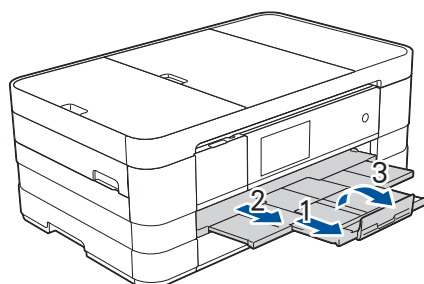
1 電源プラグをコンセントから抜く

2 記録紙トレイを引き出す

3 挿入口に残っている記録紙をゆっくり引き抜く

紙が破れないように静かに抜き取ります。

4 フラップ（1）を持ち上げて、詰まった記録紙を抜き取る

紙が破れないように静かに抜き取ります。

5 記録紙トレイを元に戻す

本製品から引き出した記録紙トレイを押して、元に戻します。

6 記録紙ストッパーを確実に引き出し（1、2）、フラップを開く（3）

記録紙ストッパーは、とまるところまでしっかりと引き出してください。

7 電源プラグをコンセントに差し込む

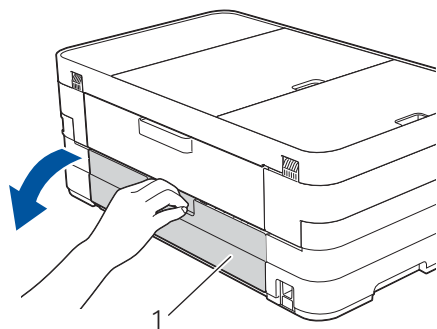
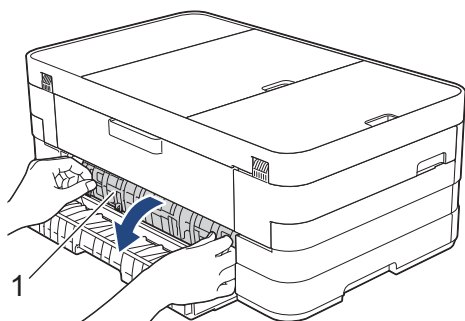
8 エラーメッセージが消えていることを確認する

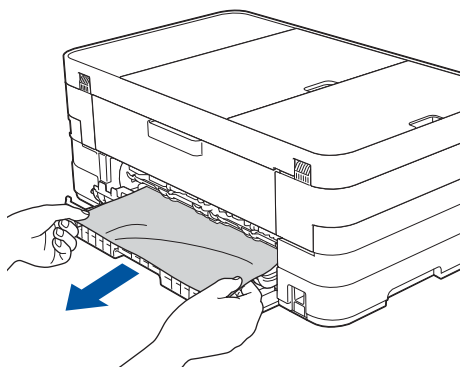
上記の対処をしてもエラーメッセージが消えなかったり、紙づまりが繰り返されたりするときは、背面に記録紙が残っていたり、本体内部に小さな紙片が詰まっていることが考えられます。順番に確認してみてください。
⇒ 120 ページ「記録紙が背面に詰まったときは」
⇒ 123 ページ「紙片が本体内部に詰まったときは」

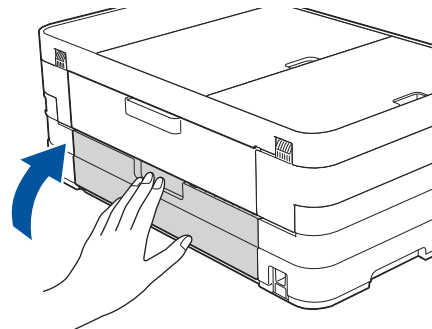
記録紙が背面に詰まったときは

背面に記録紙が詰まると、画面に【記録紙が詰まっています 後ろ】と表示されます。

1 電源プラグをコンセントから抜く

2 本体背面の紙づまり解除カバー（1）を開く

3 内カバー（1）を開く

4 詰まった記録紙を手前に抜き取る

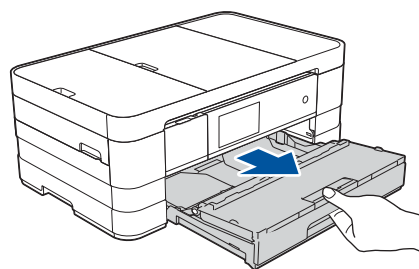
紙が破れないように静かに抜き取ります。

5 内カバー、紙づまり解除カバーの順に閉じる

カバーを押して確実に閉じてください。

6 電源プラグをコンセントに差し込む

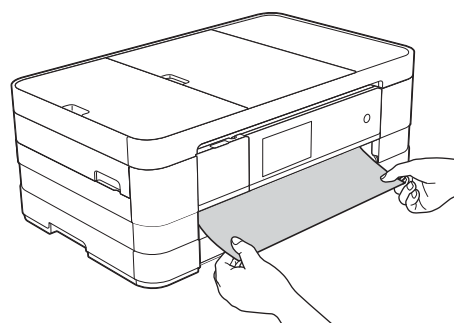
7 エラーメッセージが消えていることを確認する

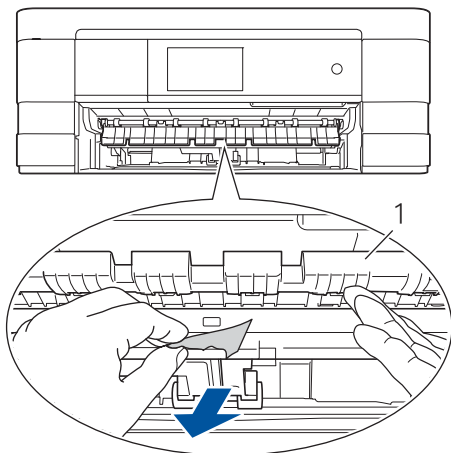
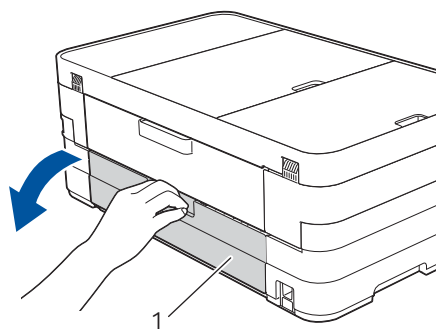
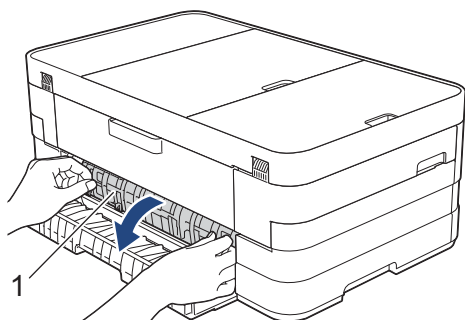
記録紙が前面と背面に詰まったときは

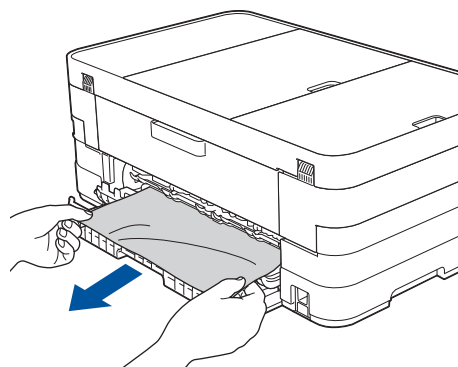
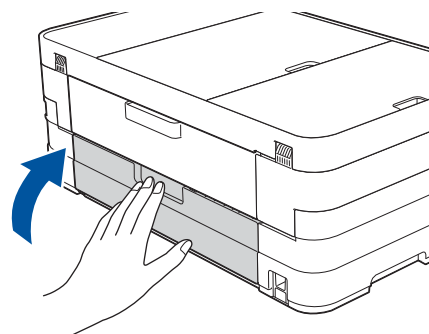
前面と背面に記録紙が詰まると、画面に【記録紙が詰まっています 前 , 後ろ】と表示されます。

1 電源プラグをコンセントから抜く

2 記録紙トレイを引き出す

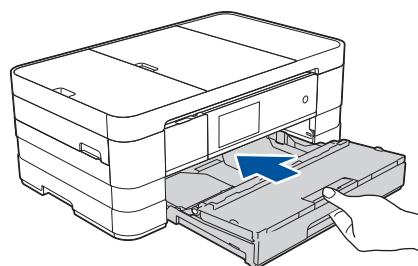
3 挿入口に残っている記録紙をゆっくり引き抜く

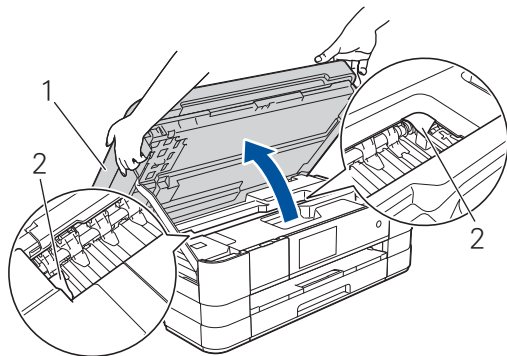
紙が破れないように静かに抜き取ります。

4 フラップ（1）を持ち上げて、詰まった記録紙を抜き取る

紙が破れないように静かに抜き取ります。

5 本体背面の紙づまり解除カバー（1）を開く

6 内カバー（1）を開く

7 詰まった記録紙を手前に抜き取る

紙が破れないように静かに抜き取ります。

8 内カバー、紙づまり解除カバーの順に閉じる

カバーを押して確実に閉じてください。

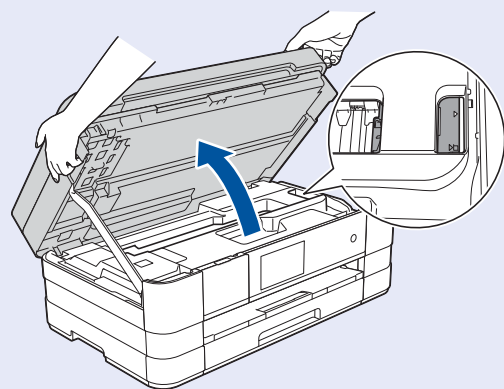
9 記録紙トレイを元に戻す

本製品から引き出した記録紙トレイを押して、元に戻します。

10 両手で本体カバー（1）を開いて、内部に記録紙（2）が残っていないかを確認する

本体カバーが保持される位置まで上げてください。
残っている記録紙があれば、破れないように静かに抜き取ります。

⚠注意

- プリントヘッドの下に紙が詰まったときは、電源プラグを抜いてから紙と接触しない方向にプリントヘッドを動かし、記録紙を取り除いてください。
- 万一インクが皮膚に付着したら、すぐに石けんと水で十分に洗い流してください。

重要

- 内部に詰まった記録紙を取り除くときは、本体内部になるべく触らないようにご注意ください。故障の原因となったり、手が汚れたりする場合があります。記録紙が破れてしまった場合は、本体内部を傷つけないように注意して、紙片をピンセットなどで取り除いてください。
- プリントヘッドが図のように右端で止まっている場合は、以下の手順で操作してください。

(1)電源プラグが差し込まれた状態で、を長押しする
プリントヘッドが中央に移動します。

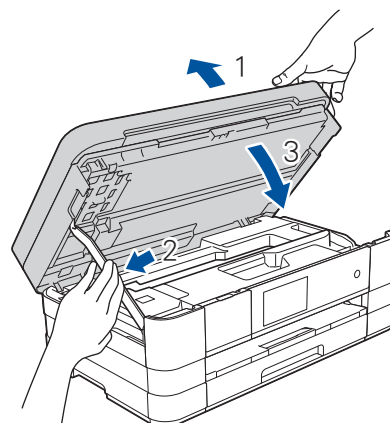
(2)電源プラグを抜いて、記録紙を取り除く

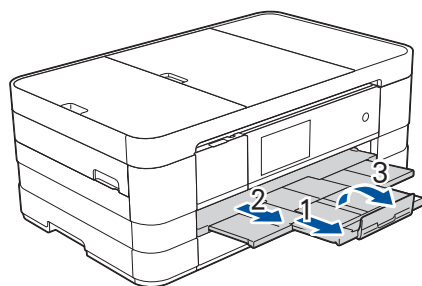
(3)本体カバーを閉じて、電源プラグをコンセントに差し込む
本製品の電源が入り、プリントヘッドが所定の位置に自動的に戻ります。

11 本体カバーを閉める

⚠注意

- 本体カバーは、手をはさまないように注意して、最後まで両手を離さないようにして閉じてください。

本体カバーを少し持ち上げて固定を解除し（1）、カバーサポートをゆっくり押して（2）、本体カバーを両手で閉めます（3）。

12 記録紙ストッパーを確実に引き出し（1、2）、フラップを開く（3）

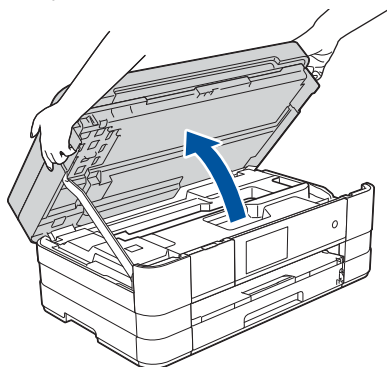
記録紙ストッパーは、とまるところまでしっかりと引き出してください。

13 電源プラグをコンセントに差し込む

14 エラーメッセージが消えていることを確認する

上記の対処をしても紙づまりが繰り返される場合は、本体内部に小さな紙片が詰まっていることが考えられます。
⇒ 123 ページ「紙片が本体内部に詰まったときは」

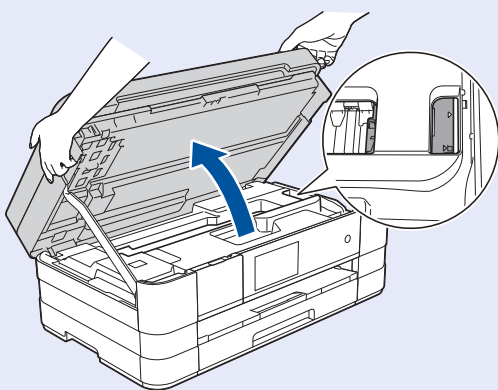
紙片が本体内部に詰まったときは

1 両手で本体カバーを開く

本体カバーが保持される位置まで上げてください。

⚠注意

- プリントヘッドの下に紙が詰まったときは、電源プラグを抜いてから紙と接触しない方向にプリントヘッドを動かし、記録紙を取り除いてください。
- 万一インクが皮膚に付着したら、すぐに石けんと水で十分に洗い流してください。

重要

- ■ 内部に詰まった記録紙を取り除くときは、本体内部になるべく触らないようにご注意ください。故障の原因となったり、手が汚れたりする場合があります。記録紙が破れてしまった場合は、本体内部を傷つけないように注意して、紙片をピンセットなどで取り除いてください。
- ■ プリントヘッドが図のように右端で止まっている場合は、以下の手順で操作してください。

(1)電源プラグが差し込まれた状態で、❌を長押しする
プリントヘッドが中央に移動します。

(2)電源プラグを抜いて、記録紙を取り除く

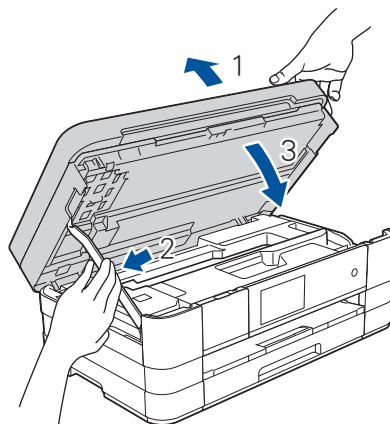
(3)本体カバーを閉じて、電源プラグをコンセントに差し込む
本製品の電源が入り、プリントヘッドが所定の位置に自動的に戻ります。

2 電源プラグをコンセントから抜く

3 本体カバーを閉める

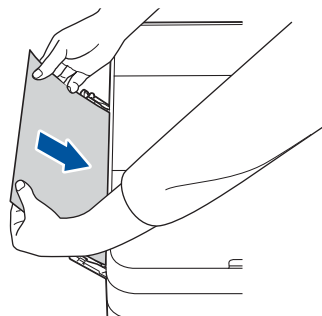
⚠注意

- 本体カバーは、手をはさまないように注意して、最後まで両手を離さないようにして閉じてください。

本体カバーを少し持ち上げて固定を解除し(1)、カバーサポートをゆっくり押して(2)、本体カバーを両手で閉めます(3)。

4 手差しトレイを開く

5 手差しトレイにA4サイズの厚紙を横向きにセットする

トレイの底に厚紙を押し込んでください。押し込まないと、電源プラグを差し込んだときに厚紙が吸い込まれません。

光沢紙のご使用をお勧めします。

6 電源プラグをコンセントに差し込む

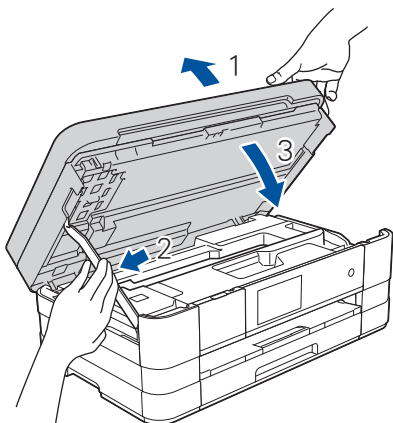
厚紙が吸い込まれて本体内部を通り、詰まっていた紙片と共に排紙されます。

7 両手で本体カバーを開けて、内部に紙片が残っていないかを確認する

8 本体カバーを閉める

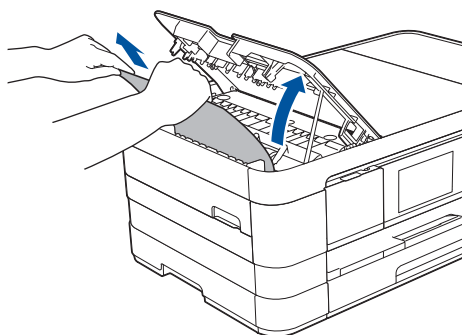
注意

- 本体カバーは、手をはさまないように注意して、最後まで両手を離さないようにして閉じてください。

本体カバーを少し持ち上げて固定を解除し(1)、カバーサポートをゆっくり押して(2)、本体カバーを両手で閉めます（3）。

9 エラーメッセージが消えていることを確認する

ADF（自動原稿送り装置）に原稿が詰まったときは

ADF（自動原稿送り装置）内部に詰まった場合

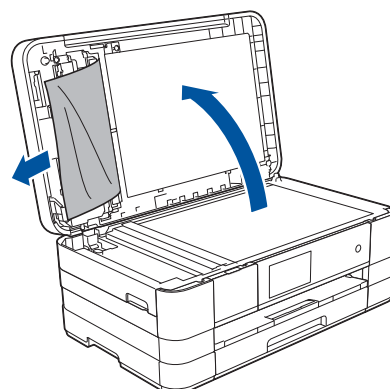
1. **ADF（自動原稿送り装置）から、詰まっていない原稿をすべて取り除く**
2. **ADF カバーを開き、詰まった原稿を抜き取る**
   原稿が破れないように静かに抜き取ります。

3. **ADF カバーを閉じる**

お願い

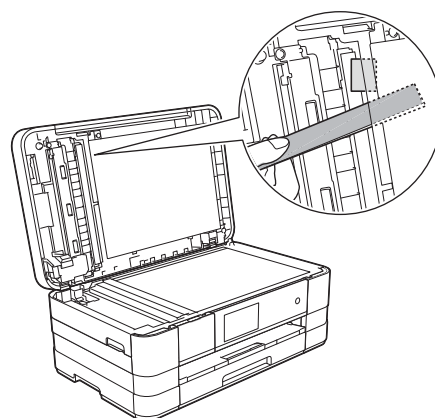
- 再度紙詰まりを起こさないように、ADF カバーは中央を押さえて、ていねいに閉じてください。

4. **❌を押す**

吸い込み口付近に詰まった場合

1. **ADF（自動原稿送り装置）から、詰まっていない原稿をすべて取り除く**
2. **原稿台カバーを開き、詰まった原稿を抜き取る**
   原稿が破れないように静かに抜き取ります。

3. **原稿台カバーを閉じる**
4. **❌を押す**

紙片が詰まった場合

1. **原稿台カバー開く**
2. **名刺のような、折れ曲がりにくくしなる紙を差し込んで紙片を取り除く**

3. **原稿台カバーを閉じる**
4. **❌を押す**

画面にメッセージが表示されたときは

本製品や電話回線に異常があるときは、下記のようなメッセージと処置方法が画面に表示されます。画面に表示された処置方法や、下記の処置を行っても問題が解決しないときは、電源プラグを抜いて電源をオフにし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって改善される場合があります。それでも不具合が改善しないときは、メッセージを控えた上でお客様相談窓口にご連絡ください。

メッセージ	原因	対処
インクカートリッジがありません	インクカートリッジがセットされていない。	インクカートリッジをセットしてください。 ⇒ 111 ページ「インクカートリッジを交換する」
インクを検知できません	機械が検知する前に素早くインクカートリッジを交換した。	セットされている新しいインクカートリッジを取り外し、もう一度ゆっくり取り付けてください。
	検知できないインクカートリッジが取り付けられているか、検知部が破損している。	検知可能なインクカートリッジをセットしてください。検知可能なインクカートリッジをセットしてもメッセージが表示される場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。
	インクカートリッジが正しくセットされていない。	リリースレバーが上がるまで、インクカートリッジを確実に押してセットします。
インク量を検知できません	純正インクを使用していない。	弊社純正でないインクカートリッジをご使用になると、本製品がインク量を検知できない場合があります。弊社純正品に交換してください。純正品に換えてもメッセージが表示される場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。
印刷できません インク交換	ブラックまたはカラーインクのいずれかが空になった。ファクスメッセージはすべてモノクロでメモリーに記憶されます。	画面に表示されている色のインクカートリッジを交換してください。 ⇒ 111 ページ「インクカートリッジを交換する」 一部のファクス機からは、送信が中止されることがあります。この場合は、モノクロで送信してもらうようにしてください。
印刷できません XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で記録紙の切れ端や異物が詰まっているなどの機械的な異常が発生した。	本体カバーを開けて、詰まった記録紙の切れ端や異物を取り除いて、本体カバーを閉めてください。 ⇒ 118 ページ「記録紙が詰まったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクス機かお使いのパソコンに転送したあと、お客様相談窓口にご連絡ください。 ⇒ 133 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」
カバーが開いています インクカバーを閉じてください	インクカバーが完全に閉まっていない。	インクカバーを閉め直してください。
カバーが開いています 本体カバーを閉じてください	本体カバーが完全に閉まっていない。	本体カバーを閉め直してください。
記録紙が詰まっています 後ろ	記録紙が詰まっている。	詰まった記録紙を取り除いてください。 ⇒ 120 ページ「記録紙が背面に詰まったときは」
	ガイドが記録紙のサイズに合っていない。	ガイドが記録紙のサイズに合っていることを確認してください。
	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 106 ページ「給紙ローラーを清掃する」

メッセージ	原因	対処
記録紙が詰まっています 前	記録紙が詰まっている。	詰まった記録紙を取り除いてください。 ⇒ 118 ページ「記録紙が前面に詰まったときは」
	ガイドが記録紙のサイズに合っていない。	ガイドが記録紙のサイズに合っていることを確認してください。
記録紙が詰まっています 前 , 後ろ	記録紙が詰まっている。	詰まった記録紙を取り除いてください。 ⇒ 120 ページ「記録紙が前面と背面に詰まったときは」
	ガイドが記録紙のサイズに合っていない。	ガイドが記録紙のサイズに合っていることを確認してください。
	手差しトレイに記録紙を 2 枚以上セットしている。	手差しトレイには、一度に 1 枚しかセットできません。また、複数枚の記録紙を使用するときは、画面に次の記録紙のセットを促すメッセージが表示されるのをお待ちください。 詰まった記録紙は取り除いてください。 ⇒ 120 ページ「記録紙が前面と背面に詰まったときは」
	次の記録紙のセットが可能であることを示すメッセージが表示される前に背面トレイに記録紙をセットした。	
記録紙間違い	記録紙のセット方向が間違っている。	トレイに示されている記録紙サイズの目盛りに合わせて記録紙をセットし直してください。 設定したサイズの記録紙を正しい方向でセットしたことを確認して、【OK】を押してください。 ⇒ 41 ページ「記録紙のセット」
	記録紙トレイに設定したサイズ以外の記録紙がセットされている。	
記録紙トレイが抜けています	記録紙トレイが正しい位置にセットされていない。	記録紙トレイを本体からいったん引き出し、もう一度ゆっくりと確実に差し込んでください。
記録紙を送れません	記録紙がないか、正しくセットされていない。	トレイに記録紙を入れ直してください。 記録紙を補給するか、正しい位置にセットして、【OK】を押してください。 ⇒ 41 ページ「記録紙のセット」
	記録紙が詰まっている。	詰まった記録紙を取り除いてください。 ⇒ 118 ページ「記録紙が詰まったときは」
	紙づまり解除カバーが開いている。	内カバー、紙づまり解除カバーの順に確実に閉めてください。 ⇒ 120 ページ「記録紙が背面に詰まったときは」手順 5
	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 106 ページ「給紙ローラーを清掃する」
	記録紙が手差しトレイの中央にセットされていない。	記録紙を手差しトレイからいったん外し、ガイドを記録紙サイズの目盛りに合わせ直した上で再度セットしてください。 ⇒ 49 ページ「手差しトレイにセットする」
クリーニング中	プリントヘッドのクリーニング中。	そのまましばらくお待ちください。 ⇒ 114 ページ「プリントヘッドをクリーニングする」
クリーニングできません XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で記録紙の切れ端や異物が詰まっているなどの機械的な異常が発生した。	本体カバーを開けて、詰まった記録紙の切れ端や異物を取り除いて、本体カバーを閉めてください。 ⇒ 118 ページ「記録紙が詰まったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクス機かお使いのパソコンに転送したあと、お客様相談窓口にご連絡ください。 ⇒ 133 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」

メッセージ	原因	対処
原稿が詰まっています／長すぎます	原稿が ADF（自動原稿送り装置）に詰まっている。	詰まった原稿を取り除き、 を押したあと、原稿を正しくセットし直してください。原稿づまりが解消されてもADFカバーの開け閉めは必ず行ってください。 ⇒ 125 ページ「ADF（自動原稿送り装置）に原稿が詰まったときは」
室温が高すぎます 室温を下げてください	室温が高くなっている。	室温を下げてお使いください。
室温が低すぎます 室温を上げてください	室温が低くなっている。	室温を上げてお使いください。
使用不能な USB 機器です 前面にケーブル接続された機器はご利用できません とり外してオン/オフボタンでリセットしてください	本製品に対応していない USB 機器が接続されている。または、接続された USB 機器が壊れている可能性がある。	USB ケーブルを抜き、本製品の電源を入れ直してください。本製品では、メモリーカードから写真をプリントすることもできます。 ⇒89 ページ「メモリーカードまたはUSB フラッシュメモリーをセットする」
使用不能な USB 機器です USB 機器を抜いてください	USB フラッシュメモリーがフォーマットされていない。または、壊れている。	USB フラッシュメモリーを抜き、パソコンなどでフォーマットしてください。 または、正常に動作する USB フラッシュメモリーを差し込んでください。
	USB フラッシュメモリーが正しく差し込まれていない。	USB フラッシュメモリーを抜いて、差し込み直してください。
	本製品に対応していない USB フラッシュメモリーがセットされている。	USB フラッシュメモリーを抜いてください。
使用不能なUSBハブです USB ハブを抜いてください	USB ハブまたはハブを内蔵した USB 機器がセットされている。 ※ハブ回路が内蔵された一部の USB フラッシュメモリーに対しても、このエラーメッセージが表示されます。	本製品はハブ、またはハブを内蔵した USB 機器には対応しておりません。ハブ、または USB 機器を抜いてください。 ※使用可能な USB 機器の詳細については、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）にある「よくあるご質問（Q&A）」の「USB フラッシュメモリーの他社製品動作確認情報」をご覧ください。
初期化できません XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で記録紙の切れ端や異物が詰まっているなどの機械的な異常が発生した。	本体カバーを開けて、詰まった記録紙の切れ端や異物を取り除いて、本体カバーを閉めてください。 ⇒ 118 ページ「記録紙が詰まったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクス機かお使いのパソコンに転送したあと、お客様相談窓口にご連絡ください。 ⇒ 133 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」

メッセージ	原因	対処
スキャンできません XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で記録紙の切れ端や異物が詰まっているなどの機械的な異常が発生した。	本体カバーを開けて、詰まった記録紙の切れ端や異物を取り除いて、本体カバーを閉めてください。 ⇒ 118 ページ「紙が詰まったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクス機かお使いのパソコンに転送したあと、お客様相談窓口にご連絡ください。 ⇒ 133 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」
切断されました	通信中に相手機から回線が切断された。	相手先に電話をし、原因を解除してもらい、再度送信してください。
設定できませんでした	ADSLのIPフォンに接続している。 PBX に接続している。 マンションアダプター回線に接続している。	手動で回線種別を設定し直してください。 ⇒ 29 ページ「回線種別を設定する」
タッチパネルエラー	電源オン後のタッチパネルの初期化完了前に画面に触れた。	電源プラグをコンセントから外すか、本製品の電源をオフにします。タッチパネルに乗ったり触れたりしているものがないことを確認し、本製品の電源プラグをコンセントに差し込むか、電源をオンにします。画面上にボタンが表示されるまで待ってからタッチパネルを使用してください。
	タッチパネルの下部と枠の間にゴミなどの異物が入っている。	タッチパネルの下部を指で押して、タッチパネル下部と枠のすきまに厚紙など、画面を傷つけないものを差し込み、異物を取り除いてください。
中間機器（モデムなど）の接続や電源状態を 確認してください　解決しない時は回線事業者へ「回線からの供給電圧がない」ことをお伝えください	モデムやターミナルアダプターなどの接続が外れているか、電源がオフになっている可能性がある。	モデムやターミナルアダプターなどが正しく接続されていること、また、これらの機器の電源がオンになっていることを確認してください。解決しない場合は、回線事業者へ「回線からの供給電圧がない」ことをお伝えください。
通信エラー	回線状態が悪い。	少し時間が経ってから、もう一度送信してください。
	相手先がポーリング送信待機状態になっていないときに、ポーリング受信の操作を行った。	相手先に確認して、もう一度操作してください。
	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網を使用している。（相手側を含む）	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網の状況によりファクス送信 / 受信ができないことがありますので、IP 網を使わずに送信 / 受信してください。 不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
データが残っています	印刷データが本体のメモリーに残っている。	を押してください。 （印刷を中止し、印刷中の記録紙を排出します。）
	パソコン側が印刷を一時停止したままになっている。	パソコン側で印刷を再開してください。
電話・ファクスが使えない状態です 電話回線が接続されていない可能性があります	電話回線が接続されていない可能性がある。	電話機コードを回線接続端子に差し込んでください。⇒かんたん設置ガイド「接続する」

メッセージ	原因	対処
廃インク吸収パッド満杯です	廃インク吸収パッド[*1]の吸収量が限界に達した。 [*1] ヘッドクリーニング実行中に排出される微量のインクを吸収する部品	廃インク吸収パッドの吸収量が限界に達すると、本製品内部でのインク漏れを防ぐためにヘッドクリーニングができなくなります。廃インク吸収パッドを交換するまで印刷はできません。廃インク吸収パッドはお客様自身による交換ができませんので、お買い求めいただいた販売店またはコールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。
話し中/応答がありません	相手先が話し中か、応答がなかった。	少し時間を置いて、もう一度かけ直してください。相手がファクスではない場合は応答しないので、再ダイヤルを繰り返したあと、【話し中／応答がありません】になります。
ファイルがありません	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内に印刷可能なファイルが存在しない。	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存されているファイル形式を確認してください。
ファクスメモリが少なくなりました	メモリー受信でメモリーに蓄積されたデータ量が保存できる限界に近づいている。	メモリー受信でメモリーに記憶されたファクスデータを印刷または消去してメモリーを確保してください。 ⇒ 71 ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」 ⇒ 72 ページ「ファクスメッセージをメモリーから消去する」 ただし、【メモリ受信】のオン・オフ操作でメモリー消去を行うと、メモリー受信はいったん解除されます。引き続きメモリー受信する場合は、再度、【メモリ保持のみ】に設定してください。 ⇒ 71 ページ「ファクスをメモリーで受信する」
プリンター使用中	本製品のプリンターが動作中。	印刷が終了してから再度操作してください。
まもなくインク切れ	インクの残りが少なくなっている。 カラーインクのいずれかが残り少なくなると、カラーファクスの受信が中止されるため、カラーファクスが送られてきても、モノクロで受信されます。 また、一部のファクス機からは、送信が中止されることがあります。この場合は、モノクロで送信してもらうようにしてください。	新しいインクカートリッジをご準備ください。弊社ダイレクトクラブで購入することもできます。 ⇒ 197 ページ「消耗品などのご注文について」 カラーファクスを受信するには、新しいインクカートリッジに交換してください。 ⇒ 111 ページ「インクカートリッジを交換する」 なお、モノクロでのファクス受信に影響はありません。【印刷できません】になるまで、利用できます。 カラーコピーの場合は、【モノクロ片面印刷のみ可能です】になるまで利用できます。
まもなく廃インク吸収パッド満杯	廃インク吸収パッド[*1]の吸収量が限界に近づいている。 [*1] ヘッドクリーニング実行中に排出される微量のインクを吸収する部品	廃インク吸収パッドの吸収量が限界に達すると、交換するまで印刷ができなくなります。廃インク吸収パッドはお客様自身による交換ができませんので、お早めにお買い求めいただいた販売店またはコールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。
メディアがいっぱいです	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに、合わせて 999 個以上のフォルダーとファイルが保存されている。	本製品からメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存できるフォルダーとファイルの数は最大 999 個までです。 メモリーカード内のフォルダーとファイルの数を 999 個より少なくしてください。 999 個より少ない場合は、不要なデータを削除して空き容量を増やしてください。

メッセージ	原因	対処
メモリがいっぱいです	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの空き容量が不足している。	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の不要なデータを削除するなどして、空き容量を増やしてからお試しください。
	コピー中に本製品のメモリーに空き容量がなくなった。	【読み取り分コピー】を押すと、すでに読み取りが終わっている原稿の分だけコピーを行います。✕または【取り消し】または【閉じる】を押すとコピーをキャンセルします。
メモリがいっぱいです 読み取り分送信 / 中止する	空きメモリーが不足している。	【読み取り分送信】を押すと、すでに読み取りが終わっている原稿のみファクスします。 ✕または【中止する】を押すと送信をキャンセルします。 メモリーに記録されている不要なファクスメッセージを消去してください。 • メモリー受信したファクスデータ ⇒71ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」 ⇒ 72 ページ「ファクスメッセージをメモリーから消去する」
メモリカードエラー	メモリーカードがフォーマットされていない。または、壊れている。	メモリーカードを抜き、パソコンなどでフォーマットしてください。 または、正常に動作するメモリーカードを差し込んでください。
	メモリーカードが正しく差し込まれていない。	メモリーカードを抜いて、差し込み直してください。

メッセージ	原因	対処
モノクロ片面印刷のみ可能です	1 色以上のカラーインクがなくなっている。 この内容が表示されている間は次の操作のみ可能です。 • 印刷 印刷設定時、用紙種類を［普通紙］、カラーを［モノクロ］に設定して、強制的にモノクロ印刷をすれば、片面印刷の場合に限りモノクロでの印刷が可能です。ブラックインクがあるあいだは、この状態でも約 1ヶ月間使用できます。 • コピー 記録紙タイプを【普通紙】に設定している場合、モノクロでコピーできます。ただし、両面コピーはできません。 • ファクス 記録紙タイプを【普通紙】【インク紙】に設定している場合、モノクロで受信し、印刷します。 ただし、次の場合は、モノクロでも印刷できません。 • 空のインクカートリッジを取り外した場合（インクカートリッジを交換してください。） • プリンタードライバーの［基本設定］タブで［乾きにくい紙］をチェックしている場合（パソコン側で印刷をキャンセルし、本製品でも ✕ を押して印刷を取り消してください。）	新しいインクカートリッジに交換してください。 ⇒ 111 ページ「インクカートリッジを交換する」

エラーが発生したときのファクスの転送方法

【印刷できません】【初期化できません】などのエラーが解決されない場合は、本製品でファクスメッセージを印刷できません。以下の方法でメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクス機かパソコンに転送できます。

別のファクス機に転送する場合

(1) **を押して、エラーメッセージを閉じる**

(2) **、【全てのメニュー】、【サービス】、【データ転送】、【ファクス転送】を順に押す**

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

◆【受信データはありません】と表示されたときは、メモリーにファクスメッセージが残っていません。

◆ファクス番号の入力画面が表示されたときは、メモリーにファクスメッセージが残っています。手順 (3) に進んでください。

(3) **転送先のファクス番号を入力し、【スタート】を押す**

※発信元登録がされていないと転送ができません。

本製品と接続しているパソコンにファクスメッセージを転送する場合

(1) **を押して、エラーメッセージを閉じる**

(2) **、【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【メモリ受信】、【PC ファクス受信】を順に押す**

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

(3) **メッセージを確認して、【OK】を押す**

◆パソコンの「PC-FAX 受信」を起動させてください。起動方法について詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「PC-FAX 受信を起動する」

(4) PC-FAX 受信を起動させたパソコンを選ぶ

USB 接続しているパソコンを選ぶ場合は、【< USB >】を選び【OK】を押します。

◆メモリーにファクスメッセージがあるときは、【ファクスを PC に転送しますか ?／はい／いいえ】と表示されます。

(5) **【はい】を押す**

(6) **【本体では印刷しない】を押す**

(7) **を押す**

※この操作後は、受信したファクスは、パソコンに転送されます。エラーが解決され、本製品で印刷できるようになったら、【メモリ受信】の設定を当初の状態（オフ／ファクス転送／電話呼び出し／メモリ保持のみ）に戻してください。（⇒ 166 ページ）

通信管理レポートを別のファクス機に転送する場合

(1) **を押して、エラーメッセージを閉じる**

(2) **、【全てのメニュー】、【サービス】、【データ転送】、【レポート転送】を順に押す**

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

(3) **転送先のファクス番号を入力し、【スタート】を押す**

※発信元登録がされていないと転送ができません。

故障かな？と思ったときは（修理を依頼される前に）

修理を依頼される前に下記の項目および弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）の「よくあるご質問（Q&A）」をチェックしてください。それでも異常があるときは、電源プラグを抜いて電源をオフにし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって改善される場合があります。それでも不具合が改善しないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。
ネットワーク接続した状態で印刷できない、スキャンできないなどの問題があるときは、ユーザーズガイド ネットワーク編「困ったときは（トラブル対処方法）」を参照してください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ナンバー・ディスプレイ	電話番号が表示されない。	ブランチ接続（並列接続）していませんか。	正しく接続し直してください。 ⇒かんたん設置ガイド
		ナンバー・ディスプレイサービスを契約されていますか。	電話会社（NTT など）との契約が必要です（有料）。契約の有無をご確認の上、状況に合わせて再度設定をしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 1 章「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」
ISDN	電話がかかってきても本製品の着信音が鳴らない。	電話機コードが正しく接続されていますか。	電話機コードがしっかり接続されているか確認してください。
		電源が入っていますか。	電源プラグを接続してください。
		本製品に電話をかけると「あなたと通信できる機器が接続されていません」とメッセージが流れませんか。	ターミナルアダプターが正しく設定されていません。ターミナルアダプターの設定を確認してください。また、ターミナルアダプターの電源が入っているのを確認してください。
		ターミナルアダプターの設定を確認してください。	何も接続していない空きアナログポートは「使用しない」に設定してください。
		契約回線番号および i・ナンバー情報は正しく入力されているか確認してください。	それでもうまくいかないときは、お使いになっているターミナルアダプターのメーカーまたはご利用の電話会社にお問い合わせください。
	本製品が接続されているアナログポートに1～2回おきにしか着信しない。	「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1 ～ 2 回おきにしか着信できません。	ターミナルアダプターやダイヤルアップルーターの設定で「着信優先」または「応答平均化」を解除してください。
	本製品に電話をかけると、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています」というメッセージが流れてつながらない。	本製品を接続しているアナログポートの設定内容を確認してください。	本製品を接続しているアナログポートの接続機器は「電話」または「ファクス付電話」にしてください。（初期値のままで使用可能です。）
			契約回線番号のアナログポートに本製品を接続している場合は、以下のように設定してください。 • サブアドレスなし着信：「着信する」 • HLC 設定：「HLC 設定しない」 • 識別着信：「識別着信しない」
			i・ナンバーやダイヤルインのアナログポートに本製品を接続している場合は、以下のように設定してください。 • サブアドレスなし着信：「着信する」 • HLC 設定：「HLC 設定しない」 • 識別着信：「識別着信しない」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ISDN	本製品に電話をかけると、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています」というメッセージが流れてつながらない。	相手側のターミナルアダプターの設定を確認してください。	相手も ISDN 回線の場合、相手側のターミナルアダプターの設定が誤っていることもあります。 この場合、アナログ回線に接続したファクスと送・受信できれば本製品を接続しているターミナルアダプターの設定は正しいことになります。
		ターミナルアダプターの自己診断モードでISDN回線の状況を確認してください。	異常があった場合はご利用の電話会社へご連絡ください。
	契約回線番号に電話がかかってきたのに、i・ナンバーやダイヤルインのアナログポートに接続した機器の呼出ベルも鳴る。	i・ナンバーやダイヤルインのアナログポートの設定を確認してください。	ISDN の交換機で、グローバル着信をしないように設定してください。
	特定の相手とファクス通信できない。	特別回線対応の設定を【光・ISDN】にしてください。⇒ 150 ページ「特別な回線に合わせて設定する」	それでもうまくいかないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。
	ファクス送受信ができない。 (外付け電話も使えない)	ターミナルアダプターの自己診断モードでISDN回線の状況を確認してください。	異常があった場合はご利用の電話会社へご連絡ください。 回線に異常がなければ、お客様相談窓口にご連絡ください。
ADSL	ファクス通信でエラー発生が多くなった。	他の機器とブランチ接続（並列接続）していませんか。	ブランチ接続（並列接続）をしないでください。ラインセパレーターを使用すると改善する場合があります。ラインセパレーターは、パソコンショップなどでご購入ください。
リモコン機能	外出先からの操作ができない。	トーン信号（ピッポッパッ）が出せない電話機からかけていませんか。	トーン信号の出せる電話機からかけ直してください。
		携帯電話からかけていませんか。	トーン信号の出せる固定電話からかけ直してください。
ファクス/コピー	ファクス送信/受信ができない。	本製品と接続している電話機が通話中ではありませんか。	本製品と接続している電話機を確認してください。
		回線種別の設定は正しいですか。	回線種別を正しく設定してください。 ⇒ 29 ページ「回線種別を設定する」
		ターミナルアダプターは正しく設定されていますか。（ISDN 回線の場合）	ターミナルアダプターの設定を確認してください。
		インターネット電話や IP フォンなど、IP 網を使用していませんか。 (「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む)	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網の状況によりファクス送信 / 受信ができないことがあります。IP 網を使わずに送信 / 受信してください。 不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
			安心通信モードを設定してください。このとき、【標準】→【安心（VoIP）】の順にお試しください。 ⇒ 150 ページ「安心通信モードに設定する」
		ファクスを送信/受信できる相手とできない相手がいますか。	安心通信モードを設定してください。このとき、【標準】→【安心（VoIP）】の順にお試しください。 ⇒ 150 ページ「安心通信モードに設定する」
		電話機コードが回線接続端子に差し込まれていますか。	電話機コードを回線接続端子に差し込んでください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス/コピー	ファクスを受信できない。	転送電話（ボイスワープ）の契約をしていませんか。	転送電話（ボイスワープ）の設定をしていると、電話とファクスはすべて転送先へ送られます。詳しくはご利用の電話会社にお問い合わせください。
	カラーファクス受信ができない。	【メモリ受信】を【ファクス転送】にしていませんか。	カラーファクスを転送することはできません。カラーファクスは転送されずに自動的に印刷されます。 排紙トレイを確認してください。
		【メモリ受信】を【メモリ保持のみ】にしていませんか。	カラーファクスをメモリーに記憶させることはできません。カラーファクスはメモリーに記憶されずに自動的に印刷されます。 排紙トレイを確認してください。
		【メモリ受信】を【PC ファクス受信】にしていませんか。	カラーファクスをパソコンに転送することはできません。カラーファクスはパソコンに転送されずに自動的に印刷されます。 排紙トレイを確認してください。
		安心通信モードを【安心（VoIP）】にしていませんか。	カラーファクスを受信することはできません。 カラーファクスを受信するには、安心通信モードを【標準】または【高速】にしてください。 ⇒ 150 ページ「安心通信モードに設定する」
		残り少なくなっているインクがありませんか。	インクが残り少なくなるとカラーファクスの印刷ができません。カラーファクスを印刷するには、新しいインクカートリッジに交換する必要があります。 ⇒ 111 ページ「インクカートリッジを交換する」
	ファクスを送信できない場合がある。（IP 網を使用している場合）	電話帳機能を利用してファクスを送っていますか。	「0000」発信を行って、一般の加入電話（NTT など）を選んでかけている場合は、「0000」や選択番号のあとに【履歴】を押してポーズ（約 3 秒間の待ち時間）を入れ、電話番号を入力してください。
		自動送信機能を利用していますか。	
		手動で「0000」発信によって一般の加入電話（NTT など）を選んでかけていませんか。	「0000」や選択番号をダイヤルしたあと、少し待ってからダイヤルしてください。
	電話帳を使うと、ファクスが送信できない場合がある。	登録している電話番号の間に、ポーズ「p」が入っていませんか。	「p」を削除して登録してください。
	ファクスを複数枚送信できない。	リアルタイム送信を【する】にしていませんか。	リアルタイム送信を【しない】にしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「原稿をすぐに送る」
		【オンフック】を押してファクスを送信していませんか。	【オンフック】を押さずに送信してください。
		カラーファクスを原稿台ガラスから送信していませんか。	カラーファクスを複数枚送るときは、ADF（自動原稿送り装置）をお使いください。 ⇒ 57 ページ「ADF（自動原稿送り装置）からファクスを送る」
	送信後、相手から画像が乱れている（黒い縦の線が入る）と連絡があった。	きれいにコピーがとれますか。	コピーに異常があるときは読み取り部の清掃をしてください。 ⇒ 105 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」
		相手先に異常がありませんか。	相手先に確認してください。または、別のファクスから相手先に送信してください。
		画質モードは適切ですか。	画質を調整してください。 ⇒ 61 ページ「設定を変えてファクスするには」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス/コピー	送信後、相手から画像が乱れている（黒い縦の線が入る）と連絡があった。	キャッチホンが途中で入っていませんか。	キャッチホンが途中で入ると、画像が乱れることがあります。 「キャッチホン II」のご利用をお勧めします。
		ブランチ接続（並列接続）された別の電話機の受話器を上げていませんか。	ブランチ接続（並列接続）はしないようにしてください。 ⇒かんたん設置ガイド
	送信後、受信側から受信したファクスに縦の線が入っているという連絡があった。	本製品の読み取り部分、または受信側ファクス機のプリンターのヘッドが汚れていませんか。	読み取り部の清掃を行って、きれいにコピーが取れることを確認してから送信してください。 ⇒ 105 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」 それでも現象が変わらない場合は、相手のファクスの状態を調べてもらってください。
	受信したファクスが縮んでいる。	安心通信モードを【安心（VoIP）】に設定していませんか。	安心通信モードを【標準】に設定してください。 ⇒ 150 ページ「安心通信モードに設定する」
	受信したファクスに白抜けした所がある。		
	受信 / コピーしても、記録紙が出てこない。	記録紙は正しくセットされていますか。	記録紙、本体カバーを正しくセットしてください。 ⇒ 41 ページ「記録紙のセット」
		記録紙がなくなっていませんか。	
		本体カバーまたはインクカバーは確実に閉まっていますか。	
		記録紙が詰まっていませんか。	詰まった記録紙を取り除いてください。 ⇒ 118 ページ「記録紙が詰まったときは」
		インクの残量は十分ですか。	インク残量を確認してください。 ⇒ 113 ページ「インク残量を確認する」
		給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 106 ページ「給紙ローラーを清掃する」
	受信しても、記録紙が白紙のまま出てくる。	相手が原稿を裏返しに送信していませんか。	相手に確認し、送信し直してもらってください。
		プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか。	ヘッドクリーニングを行ってください。 ⇒ 114 ページ「プリントヘッドをクリーニングする」 本製品には、印刷品質を維持するために、自動でヘッドクリーニングを行う機能があります。ただし、電源プラグが抜かれているとこの機能が働きません。電源の入 / 切は、電源プラグの抜き差しではなく、操作パネル上の電源ボタンで行うことを強くお勧めします。
		コピーは正しくとれますか。	コピーが正しくとれるか確認してください。 ⇒ 81 ページ「コピーする」
	きれいに受信できない。	電話回線の接続が悪いときに起こります。	相手に確認し、送信し直してもらってください。
		相手側の原稿に異常がありませんか（うすい、かすれなど）。	相手に確認し、送信し直してもらってください。
	きれいにコピーできない。	読み取り部が汚れていませんか。	スキャナー（読み取り部）を清掃してください。 ⇒ 105 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス/コピー	きれいにコピーできない。	プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか。	ヘッドクリーニングを行ってください。 ⇒ 114 ページ「プリントヘッドをクリーニングする」 本製品には、印刷品質を維持するために、自動でヘッドクリーニングを行う機能があります。ただし、電源プラグが抜かれているとこの機能が働きません。電源の入 / 切は、電源プラグの抜き差しではなく、操作パネル上の電源ボタンで行うことを強くお勧めします。
	コピーに黒い縦の線が入る。	スキャナー（読み取り部）が汚れていませんか。	ADF 読み取り部を清掃してください。 ⇒ 105 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」
	文字や画像がずれている、またはにじんでいるように見える。	プリントヘッドがずれていませんか。	本製品は双方向印刷を行っているために、プリントヘッドが左右どちらに移動するときにもインクを吐出しています。左右の吐出位置のずれが大きくなると、このような印刷結果になります。印刷位置チェックシートの印刷結果に従って補正を行ってください。 ⇒ 117 ページ「印刷位置のズレをチェックする」
	2 枚に分かれて印刷される。	送信側の原稿が A4 より長くありませんか。	自動縮小の設定を【する】にしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「自動的に縮小して受ける」
	自動受信できない。	呼出回数が多すぎませんか。	呼出ベル回数を 6 回以下に設定してください。 ⇒34ページ「呼出ベル回数を設定する（ファクスのとき着信音を鳴らさずに受信する）」
		メモリーがいっぱいではありませんか。	メモリーが不足しているとファクスが受信できない場合があります。メモリーに記録されているファクスメッセージを消去してください。
	構内交換機（PBX）に内線接続したときに、ファクス受信できない。	内線または外線から、ファクス受信するときのベルの鳴りかたを確認します。	特別回線対応の設定を【PBX】にしてください。 ⇒ 150 ページ「特別な回線に合わせて設定する」 それでも受信できないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。
	記録紙が何度も詰まる。	本体内部に紙片が残っていませんか。	本体内部から紙片を取り除いてください。 ⇒ 118 ページ「記録紙が詰まったときは」
	自動両面コピーのとき、記録紙が何度も詰まる。	排紙ローラーが汚れていませんか。	排紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 108 ページ「排紙ローラーを清掃する」
	自動両面コピーのとき、記録紙のうら面が汚れる。	おもて面の印刷内容によっては、インクが乾きにくく、記録紙のうら面が汚れる場合があります。	あんしん設定（⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「両面コピーする」）をお試しください。
	ダイヤルインが機能しない。	本製品は、NTT のダイヤルインサービスには対応していません。	
	ADF（自動原稿送り装置）使用時、原稿が送り込まれていかない。	画面に【原稿セット OK】と表示される位置まで原稿をしっかりと差し込んでいますか。	原稿を一度取り出し、もう一度確実にセットしてください。
		ADF カバーは確実に閉まっていますか。	ADF カバーを閉じ直してください。
		原稿が厚すぎたり、薄すぎたりしていませんか。	推奨する厚さの原稿を使用してください。
		原稿が折れ曲がったり、カールしたり、しわになっていませんか。	原稿台ガラスからファクスまたはコピーをしてください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス/コピー	ADF（自動原稿送り装置）使用時、原稿が送り込まれていかない。	原稿が小さすぎませんか。	小さすぎる原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。
		原稿挿入口に破れた原稿などが詰まっていませんか。	ADF カバーを開け、詰まっている原稿を取り除いてください。
	ADF（自動原稿送り装置）使用時、原稿が斜めになってしまう。	ADF ガイドを原稿に合わせていますか。	ADF ガイドを原稿の幅に合わせてから原稿をセットしてください。
		原稿挿入口に破れた原稿などが詰まっていませんか。	ADF カバーを開け、詰まっている原稿を取り除いてください。
	ADF（自動原稿送り装置）使用時、本製品の動作が遅くなる。	大量の原稿を連続で読み取らせていませんか。	製品の温度上昇を防ぐため、動作が遅くなることがあります。しばらく時間をおいてからご使用ください。
	光沢紙がうまく送り込まれない。	給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 106 ページ「給紙ローラーを清掃する」
		光沢紙を1枚だけセットしていませんか。	光沢紙付属の補助紙を敷いた上に、光沢紙をセットしてください。ブラザー写真光沢紙の場合は、1 枚多く光沢紙をセットしてください。 ⇒ 41 ページ「記録紙のセット」
	拡大 / 縮小で【用紙に合わせる】が機能しない。	セットした原稿が傾いていませんか。	セットした原稿が3°以上傾いていると、原稿サイズが正しく検知されず、【用紙に合わせる】が機能しません。原稿が傾かないようにセットし直してください。
	印刷面の下部が汚れる。	スキャナー（読み取り部）が汚れていませんか。	スキャナー（読み取り部）を清掃してください。 ⇒ 105 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」
		記録紙ストッパーを確実に引き出していますか。	記録紙ストッパーを確実に引き出してください。 ⇒ 44 ページ「記録紙トレイにセットする」手順 ⑪
プリント（印刷）	記録紙が重なって送り込まれる。	記録紙がくっついていませんか。	記録紙をさばいて入れ直してください。 ⇒ 41 ページ「記録紙のセット」
		記録紙がトレイの後端に乗り上げていませんか。	記録紙を押し込みすぎないでください。
		種類の違う記録紙を混ぜてセットしていませんか。	種類の違う記録紙は取り除いてください。
		記録紙トレイのコルクの部分が汚れていませんか。	コルクの部分を清掃してください。 ⇒ 107 ページ「記録紙が重なって給紙されてしまうときは」
		記録紙のセット枚数に余裕はありますか。	記録紙のセット枚数に余裕がないと、うまく送り込まれないことがあります。記録紙を 10 枚程度多めにセットしてください。
	パソコンから印刷できない。 （①～⑪の順番に試してください。）	① 本製品とパソコンの接続方式（USB、有線 LAN、無線 LAN）を変更していませんか。	接続方式を変更する場合は、新しい接続方式のドライバーを追加インストールする必要があります。 ⇒かんたん設置ガイド また、有線 LAN と無線 LAN を切り替える場合は、インストール作業を行う前に、本製品のネットワークメニューから【有線 / 無線切替え】で、新しい接続方式に設定を切り替えてください（ → 【全てのメニュー】→【ネットワーク】→【有線 / 無線切替え】→新たに変更したい接続方式、の順に選択）。

ご使用の前に　ファクス　電話帳　コピー　デジカメプリント　こんなときは　付録

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント（印刷）	パソコンから印刷できない。 （①～⑪の順番に試してください。）	② 本製品の電源は入っていますか。画面にエラーメッセージが表示されていませんか。	電源を入れてください。エラーメッセージが出ている場合は、内容を確認して、エラーを解除してください。 ⇒ 126 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」
		③ USB ケーブルはパソコンと本体側にしっかりと接続されていますか。 また、LAN ケーブルでの接続の場合は正しく接続されていますか。無線LAN接続の場合、正しくセットアップされていますか。	本体側と、パソコン側の両方の USB ケーブルを差し直してください。 ※USBハブなどを経由して接続している場合は、USB ハブを外し、直接 USB ケーブルで接続してください。 ネットワーク経由で印刷できない場合 ⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「困ったときは（トラブル対処方法）」をご覧ください。
		④ インクカートリッジは正しく取り付けられていますか。	インクカートリッジを正しく取り付けてください。 ⇒ 111 ページ「インクカートリッジを交換する」
		⑤ 印刷待ちのデータがありませんか。	印刷に失敗した古いデータが残っていると印刷できない場合があります。 • Windows® の場合 ［プリンター］アイコンを開き、［プリンター］から［すべてのドキュメントの取り消し］を行ってください。 <Windows® 7> スタートボタンから［デバイスとプリンター］－［プリンターと FAX］の順にクリックします。 <Windows Vista® > スタートボタンから［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］－［プリンタ］の順にクリックします。 <Windows® XP> スタートボタンから［コントロールパネル］－［プリンタと FAX］の順にクリックします。 • Macintosh の場合 プリントキューを開き、印刷データを選択して［削除］をクリックしてください。 <OS X v10.7.x> ［システム環境設定］－］プリントとスキャン］－［プリントキューを開く…］の順に選択します。 <OS X v10.5.8/10.6.x> ［システム環境設定］－［プリントとファクス］－［プリントキューを開く…］の順に選択します。
		⑥ 通常使用するプリンターの設定になっていますか。	• Windows® の場合 プリンターアイコンにチェックマークがついているか確認してください。ついていない場合は、アイコンを右クリックし、［通常使うプリンターに設定］をクリックしてチェックをつけます。 • Macintosh の場合 <OS X v10.7.x> ［プリントとスキャン］を開き、［デフォルトのプリンタ］を本製品にします。 <OS X v10.5.8/10.6.x> ［プリントとファクス］を開き、［デフォルトのプリンタ］を本製品にします。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント（印刷）	パソコンから印刷できない。（①～⑪の順番に試してください。）	⑦ 一時停止の状態になっていませんか。	• Windows® の場合 プリンターアイコンを右クリックして、［印刷ジョブの表示］－［プリンター］－［一時停止］をクリックしてチェックを外します。 • Macintosh の場合 プリントキューを開き、印刷データを選択して［プリンタを再開］をクリックしてください。
		⑧ オフラインの状態になっていませんか。（Windows® のみ）	<Windows®7> プリンターアイコンを右クリックして、［印刷ジョブの表示］－［プリンター］－［プリンターをオフラインで使用する］をクリックして、チェックを外します。 <Windows Vista® /Windows® XP> プリンターアイコンを右クリックして、［プリンタをオンラインで使用する］がメニューにある場合は、オフラインの状態です。［プリンタをオンラインで使用する］をクリックします。
		⑨ 印刷先（ポート）の設定は正しいですか。（Windows® のみ）	印刷先のポートが正しく設定されているかを確認してください。 <Windows® 7> プリンターアイコンを右クリックして、［プリンターのプロパティ］から本製品名を選び、［ポートタブ］をクリックします。 <Windows Vista® /Windows® XP> プリンターアイコンを右クリックして、［プロパティ］－［ポート］タブをクリックします。
		⑩ 以上の手順をすべて確認し、もう一度印刷を開始してください。それでも印刷ができない場合は、パソコンを再起動し、本製品の電源を入れ直してみてください。	
		⑪ ①～⑩までをすべて確認してもまだ印刷できない場合は、プリンタードライバーをアンインストールして、別冊の「かんたん設置ガイド」に従って再度インストールすることをお勧めします。 ※アンインストールの方法（Windows® のみ） スタートボタンから［すべてのプログラム］－［Brother］－［MFC-J4510N］－［アンインストール］の順に選び、画面の指示に従ってアンインストールしてください。	
	斜めに印刷されてしまう。	記録紙が正しくセットされていますか。	記録紙をセットし直してください。 ⇒ 41 ページ「記録紙のセット」
		紙づまり解除カバーが開いていませんか。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 ⇒ 120 ページ「記録紙が背面に詰まったときは」手順 5
	記録紙が重なって送り込まれ、紙づまりが起こる。	記録紙ストッパーを確実に引き出していますか。	記録紙ストッパーを確実に引き出してください。 ⇒ 44 ページ「記録紙トレイにセットする」手順 11
		記録紙が正しくセットされていますか。	トレイに記録紙を正しくセットしてください。
		種類の違う記録紙を混ぜてセットしていませんか。	種類の違う記録紙は取り除いてください。
		紙づまり解除カバーが開いていませんか。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 ⇒ 120 ページ「記録紙が背面に詰まったときは」手順 5
		記録紙トレイのコルクの部分が汚れていませんか。	コルクの部分を清掃してください。 ⇒ 107 ページ「記録紙が重なって給紙されてしまうときは」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント(印刷)	記録紙が重なって送り込まれ、紙づまりが起こる。	記録紙のセット枚数に余裕はありますか。	記録紙のセット枚数に余裕がないと、うまく送り込まれないことがあります。記録紙を 10 枚程度多めにセットしてください。
	光沢紙がうまく送り込まれない。	給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 106 ページ「給紙ローラーを清掃する」
		光沢紙を1枚だけセットしていませんか。	光沢紙付属の補助紙を敷いた上に、光沢紙をセットしてください。ブラザー写真光沢紙の場合は、1 枚多く光沢紙をセットしてください。 ⇒ 41 ページ「記録紙のセット」
	印刷面に規則的に線が入る。	厚紙などに印刷していませんか。	プリンタードライバーの［乾きにくい紙］をチェックしてください。
	文字や画像がゆがんでいる。	記録紙が記録紙トレイに正しくセットされていますか。	記録紙を正しくセットし直してください。 ⇒ 44 ページ「記録紙トレイにセットする」
		紙づまり解除カバーが開いていませんか。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 ⇒ 120 ページ「記録紙が背面に詰まったときは」手順 5
	印刷速度が極端に遅い。	［画質強調］が設定されていませんか。	画質強調して印刷すると、通常より印刷速度が落ちます。もし、画質強調する必要がなければ、次のように設定します。 • Windows® の場合 印刷設定画面で、［プリンターのプロパティ（プロパティ）］、［拡張機能］タブ、［カラー設定］の順にクリックし、［画質強調］のチェックを外す。 • Macintosh の場合 カラー設定画面で［カラー詳細設定］から［画質強調］のチェックを外す。
		［ふちなし印刷］の設定になっていませんか。	ふちなし印刷をすると、通常よりも速度が落ちます。もし、ふちなし印刷する必要がなければ、次のように設定します。 • Windows® の場合 印刷設定画面で、［プリンターのプロパティ（プロパティ）］、［基本設定］タブの順にクリックし、［ふちなし印刷］のチェックを外す。 • Macintosh の場合 ［ファイル］、［ページ設定］をクリックし、［用紙サイズ］のプルダウンメニューから「縁なし」と付いていない用紙サイズを選ぶ。
	［画質強調］が有効に機能しない。	印刷するデータはフルカラーですか。	フルカラー以外では［画質強調］は機能しません。また、［画質強調］は、パソコンを使って画像を解析するため、この機能を使うときは、パソコンのディスプレイ（モニター）の［画面の色］を 24 ビット以上にしてください。
		画素数の多いカメラで撮影した画像ですか。	メガピクセルのカメラで撮影した画像は［画質強調］に設定する必要はありません。画素数の少ないカメラで撮影した画像に対して有効です。
	文字が黒く化けたり、水平方向に線が入ったり、文字の上下が欠けて印刷されてしまう。	コピーは問題なくできますか。	コピーをして問題がなければ、ケーブルの接続に問題があります。接続ケーブルを確認してください。それでも解決できないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント(印刷)	印刷した画像が明るすぎる、または暗すぎる。	インクカートリッジが古くなっていないですか。	カートリッジは製造後 2 年間は有効にご利用いただけますが、それ以上経過したものはインクが凝固している可能性があります。 パッケージに有効期限が印刷されていますのでご確認ください。期限切れの場合は新しいカートリッジをご使用ください。
		記録紙の設定が違っていませんか。	お使いいただいている記録紙に合わせて、記録紙タイプを設定してください。
		温度が高すぎる、または低すぎませんか。	本製品の使用環境温度内でご利用ください。
	印刷したページの上部中央に汚れ、またはしみがある。	記録紙が厚すぎる、またはカールしていませんか。	記録紙の厚さを確認してください。 ⇒ 44 ページ「記録紙トレイにセットする」 カールしていない記録紙をご利用ください。
	印刷面の下部が汚れる。	記録紙ストッパーを確実に引き出していますか。	記録紙ストッパーを確実に引き出してください。 ⇒ 44 ページ「記録紙トレイにセットする」手順 11
	印刷面のうら側が汚れたり、給紙ローラーのあとが残る。	プラテンが汚れていませんか。	プラテンを清掃してください。 ⇒ 109 ページ「本体内部を清掃する」
		給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 106 ページ「給紙ローラーを清掃する」
		排紙ローラーが汚れていませんか。	排紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 108 ページ「排紙ローラーを清掃する」
	印刷された記録紙にしわがよる。	［双方向印刷］の設定になっていませんか。	お買い上げ時は、［双方向印刷］に設定されています。［双方向印刷］では、薄い記録紙をご利用の場合など、記録紙の種類によってはしわがよることがあります。［双方向印刷］を解除して印刷をお試しください。ただし、［双方向印刷］を解除すると、印刷速度は落ちます。 • Windows® の場合 印刷設定画面で、［プリンターのプロパティ（プロパティ）］、［拡張機能］タブ、［カラー設定］の順にクリックし、［双方向印刷］のチェックを外す。 • Macintosh の場合 印刷設定画面で [拡張機能]、[その他特殊機能] の順にクリックし、［双方向印刷］のチェックを外す。
	インクがにじむ。	記録紙の設定が違っていませんか。	お使いいただいている記録紙に合わせて、記録紙タイプを設定してください。
		光沢紙の表裏が逆にセットされていませんか。	光沢面（印刷面）を下にして、セットしてください。 ⇒ 44 ページ「記録紙トレイにセットする」
	文字や画像がずれている、またはにじんでいるように見える。	プリントヘッドがずれていませんか。	本製品は双方向印刷を行っているために、プリントヘッドが左右どちらに移動するときにもインクを吐出しています。左右の吐出位置のずれが大きくなると、このような印刷結果になります。印刷位置チェックシートの印刷結果に従って補正を行ってください。 ⇒ 117 ページ「印刷位置のズレをチェックする」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント（印刷）	白紙が印刷される。 印刷がかすれる。 印刷が薄い。 白い筋が入る。	プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか。	ヘッドクリーニングを行ってください。 ⇒114ページ「プリントヘッドをクリーニングする」 本製品には、印刷品質を維持するために、自動でヘッドクリーニングを行う機能があります。ただし、電源プラグが抜かれているとこの機能が働きません。電源の入/切は、電源プラグの抜き差しではなく、操作パネル上の電源ボタンで行うことを強くお勧めします。
		記録紙の厚さが薄すぎたり厚すぎたりしていませんか。	記録紙の厚さを確認してください。 ⇒41ページ「使用できる記録紙」 弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。 ⇒42ページ「専用紙・推奨紙」
	カラーで受信したはずのファクスがモノクロで印刷される。	カラーインクカートリッジが空になっているか、インクの残りが少なくなっていませんか。	カラー用のカートリッジを交換してください。 ⇒111ページ「インクカートリッジを交換する」
	印刷ページの端や中央がかすむ。	本製品は、平らで水平な場所に置かれていますか。	平らで水平な場所に置かれているなら、ヘッドクリーニングを数回行ってみてください。 ⇒114ページ「プリントヘッドをクリーニングする」 もし、印刷し直しても変化がみられない場合はインクカートリッジを交換してください。それでもまだ、印刷の質に問題がある場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。
	印刷の質が悪い。	プリントヘッドが汚れていませんか。	ヘッドクリーニングを数回します。 ⇒114ページ「プリントヘッドをクリーニングする」 それでも改善されない場合は、インクカートリッジを新しい物と交換してください。 ⇒111ページ「インクカートリッジを交換する」
		プリントヘッドがずれていませんか。	印刷位置チェックシートの印刷結果に従って補正を行ってください。 ⇒117ページ「印刷位置のズレをチェックする」
		プリンタードライバーの基本設定で、用紙種類を正しく選んでいますか。	正しい用紙種類を選んでください。
		インクカートリッジの有効期限が過ぎていませんか。	有効期限内のインクカートリッジをお使いください。
		本製品に取り付けられているインクカートリッジが、6ヶ月以上取り付けられたままになっていませんか。	開封したインクカートリッジは、6ヶ月以内に使い切ってください。
		純正以外のインクを使用していませんか。	4色とも純正インクカートリッジと交換して、ヘッドクリーニングを数回行ってください。 ヘッドクリーニングを数回してもまだ印刷の質が悪い場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。
		記録紙の厚さが薄すぎたり厚すぎたりしていませんか。	記録紙の厚さを確認してください。 ⇒41ページ「使用できる記録紙」 弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。 ⇒42ページ「専用紙・推奨紙」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント（印刷）	印刷の質が悪い。	室温が高すぎるか低すぎませんか。	印刷品質のためには、室温が 20 ～ 33 ℃の状態でご利用になることをお勧めします。 ⇒ 180 ページ「温度」
	写真用光沢紙で印刷したとき、インクがにじんだり、流れたりする。	光沢紙の表裏が逆にセットされていませんか。	光沢面（印刷面）を下にして、セットしてください。 ⇒ 44 ページ「記録紙トレイにセットする」
		記録紙の設定が違っていませんか。	記録紙タイプの設定が正しいことを確認してください。 ⇒ 51 ページ「記録紙の種類を設定する」
	インクが乾くのに時間がかかる。	光沢紙の表裏が逆にセットされていませんか。	光沢面（印刷面）を下にして、セットしてください。 ⇒ 44 ページ「記録紙トレイにセットする」
		記録紙の設定が違っていませんか。	写真用光沢紙を使用している場合は、記録紙タイプの設定が正しいことを確認してください。パソコンからプリントしている場合は、プリンタードライバーの［基本設定］タブの用紙種類で設定します。
	［2 ページ］印刷がうまく印刷できない。	アプリケーションソフトの用紙設定とプリンタードライバーの設定を確認してください。	アプリケーションで［2 ページ］を設定している場合は、プリンタードライバーの［2 ページ］の設定を解除してください。
	記録紙が何度も詰まる。	本体内部に紙片が残っていませんか。	本体内部から紙片を取り除いてください。 ⇒ 118 ページ「記録紙が詰まったときは」
	自動両面印刷のとき、記録紙が何度も詰まる。	排紙ローラーが汚れていませんか。	排紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 108 ページ「排紙ローラーを清掃する」
	自動両面印刷のとき、記録紙のうら面が汚れる。	おもて面の印刷内容によっては、インクが乾きにくく、記録紙のうら面が汚れる場合があります。	両面印刷あんしん設定をお試しください。 Windows® の場合 ⇒ユーザーズガイド　パソコン活用編「Windows® 編」－「［拡張機能］タブの設定」 Macintosh の場合 ⇒ユーザーズガイド　パソコン活用編「Macintosh 編」－「拡張機能」
デジカメプリント	デジタルカメラと本製品を接続しても、プリントができない。	デジタルカメラと本製品が正しく接続されていますか。	本体側とカメラ側の両方の USB ケーブルを差し直してください。USB ケーブルは、本製品前面の PictBridge ケーブル差し込み口に接続してください。
		お使いのデジタルカメラが、PictBridge に対応していますか。	お使いのデジタルカメラやパッケージなどに、PictBridge のロゴマークが付いているかどうかご確認ください。または、デジタルカメラの取扱説明書をご確認ください。
	写真の一部がプリントされない。	ふちなし印刷または画像トリミングが設定されていませんか。	ふちなし印刷、画像トリミングを【しない】に設定します。
スキャナー	スキャン開始時に TWAIN エラーが表示される。	ブラザー TWAIN ドライバーが選択されていますか。	アプリケーションで［ファイル］－［ソースの選択］を順にクリックして、ブラザー TWAIN ドライバー（TW-Brother- モデル名 LAN）を選択し、［OK］をクリックしてください。
	スキャンした画像のまわりに余白がある。	スキャンした画像に余白が入る場合があります。	余白がついた場合は、スキャンした画像を画像処理ソフトで開いて、必要な部分を切り出してください。
	ADF（自動原稿送り装置）を使ってきれいにスキャンできない。（黒い縦の線が入る）	スキャナー（読み取り部）が汚れていませんか。	ADF 読み取り部を清掃してください。 ⇒ 105 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ソフト Windows®	[本製品接続エラー]か[本製品はビジー状態です。]というエラーメッセージが表示される。	本製品の電源は入っていますか。	電源を入れてください。
		USB ケーブルをパソコンに直接接続していますか。	USB ケーブルは他の周辺機器（Zip ドライブ、外付け CD-ROM ドライブ、スイッチボックスなど）を経由して接続しないでください。
	Adobe® Illustrator® 使用時にうまく印刷できない。	印刷解像度が高すぎませんか。	印刷解像度を低く設定してみてください。
	BRUSB: USBXXX: への書き込みエラーが表示される。	本製品の画面に【印刷できません　インク交換 】と表示されていませんか。	画面に表示されている色のインクカートリッジを交換してください。
	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーがリムーバブルディスクとして正常に動作しない。	本製品とパソコンをネットワーク経由（無線 LAN）で接続していませんか。	リムーバブルディスクとして使用できるのは、USB 接続の場合のみです。ネットワーク経由でメモリーカードにアクセスする場合は、ControlCenter を使います。 ⇒ユーザーズガイド　パソコン活用編「Windows® 編」－「ネットワーク経由でメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする」
		メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが停止状態になっていませんか。	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを取り出し、再度挿入してください。 メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーの取り出し操作を行っている場合、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出さないと次の操作に移ることができません。
		アプリケーションからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内のファイルを開いていたり、エクスプローラーでメモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内のフォルダーを表示していませんか。	パソコン上で［取り出し］操作を行おうとしたときにエラーメッセージが現れたら、それは現在メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセス中を意味します。しばらく待ってからやり直してください。(メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを使用中のアプリケーションやエクスプローラーをすべて閉じないと、[取り出し］操作はできません。)
		一度、パソコンと本製品の電源を切り、再度入れてみてください。	上記の操作でも問題が解決しない場合は、いったんパソコンと本製品の電源を切って電源プラグを抜いてください。電源プラグを入れ直し、電源を入れてください。
	ネットワークリモートセットアップの接続に失敗した。	ネットワークの設定を変更したり、別の機器と置き換えたりしていませんか。	接続失敗のエラーメッセージ画面から［検索］をクリックし、表示される機器の一覧から、使用する機器（本製品）を選び、再度設定してください。 ⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「ネットワークリモートセットアップ機能を使う (MFC-J4510N のみ)」
	ネットワーク接続で、ウィルス対策ソフトのファイアウォール機能を有効にすると、使用できない機能がある。	自動でインストールすると、本製品の接続先がノード名で設定されます。この場合、ファイアウォールの機能によっては接続できないことがあるため、ドライバーのインストールを最初からやり直してください。その際は、本製品の IP アドレスを固定してからインストールを行ってください。 インストール中、接続方式を選ぶ画面で、［カスタム］をチェックし、本製品の IP アドレスを指定してください。本製品の IP アドレスは、ネットワーク設定リストで確認できます。 ・IP 取得方法の変更 ⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「有線 LAN/ 無線 LAN の設定」－「IP 取得方法」 ・ネットワーク設定リストの印刷 ⇒かんたん設置ガイド「ネットワーク設定リストを印刷する」	

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ソフト Macintosh	接続したプリンターが表示されない。	プリンターの電源が入っていますか。	プリンターの電源を入れてください。
		USB ケーブルが正しく接続されていますか。	USB ケーブルを正しく接続してください。 ⇒かんたん設置ガイド
		プリンタードライバーが正しくインストールされていますか。	プリンタードライバーを正しくインストールしてください。
	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーがリムーバブルディスクとして動作しない。	本製品とパソコンをネットワーク経由（無線 LAN）で接続していませんか。	リムーバブルディスクとして使用できるのは、USB 接続の場合のみです。ネットワーク経由でメモリーカードにアクセスする場合は、下記をご覧ください。 ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」－「ネットワーク経由でメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする」
	使用しているアプリケーションから印刷できない。	プリンターを正しく選択していますか。	プリンタードライバーがインストールされていることを確認して、プリンターを選択し直してください。
	Adobe® Illustrator® 使用時にうまく印刷できない。	印刷解像度が高すぎませんか。	印刷解像度を低く設定してみてください。
	ネットワークリモートセットアップの接続に失敗した。	ネットワークの設定を変更したり、別の機器と置き換えたりしていませんか。	[デバイスセレクター] 画面で、使用する機器（本製品）を選び、再度設定してください。 ⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「ネットワークリモートセットアップ機能を使う（MFC-J4510N のみ）」
その他	電源が入らない。	⏻ を押して電源をオンにしましたか。	⏻ を押して、電源をオンにしてください。 ⇒ 28 ページ「電源ボタンについて」
		電源プラグは確実に差し込まれていますか。	電源プラグをいったん抜き、もう一度確実に差し込んでください。それでも電源が入らない場合は、落雷などの影響で本製品に異常が発生した可能性があります。落雷故障は有償にて修理を承ります。
		コンセントに異常はありませんか。	電源プラグを抜き、ほかの電化製品の電源プラグを差し込み、動作を確認してください。ほかの電化製品の電源も入らない場合は、そのコンセントに電気が届いていない可能性があります。別のコンセントを使用してください。
	操作をしていないのに、本製品が動き出す。	本製品は、定期的にプリントヘッドのクリーニングを行います。	そのまましばらくお待ちください。
	出力された記録紙の下端が汚れる。	記録紙ストッパーを閉じたままにしていませんか。	記録紙ストッパーは常時開いた状態で使います。記録紙ストッパーを開いてください。 ⇒ 44 ページ「記録紙トレイにセットする」
	出力された記録紙がそろわない。		
	画面の文字が読みにくい。	画面の明るさが【暗く】になっていませんか。	画面の明るさを【標準】または【明るく】に設定してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 1 章「画面の設定を変更する」
		画面のコントラストが弱くありませんか。	画面のコントラストを強くしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 1 章「画面の設定を変更する」
	本製品に接続されている電話機から電話をかけたとき、間違った相手にかかったり、正しくダイヤルされない。	お使いの電話の環境が影響している可能性があります。	受話器をあげて、発信音（ツー音）を確認してからダイヤルしてください。

<table>
<tr><th>項目</th><th>こんなときは</th><th>ここをチェック</th><th>対処のしかた</th></tr>
<tr><td rowspan="7">その他</td><td>モノクロ印刷しかしていないのに、カラーのインクがなくなる。</td><td colspan="2">本製品は、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングします。そのため、印刷していなくてもインクが消費されます。</td></tr>
<tr><td>記録紙トレイが抜けない。</td><td colspan="2">記録紙トレイが抜けにくい場合は、一旦奥まで差し込んで一気に引き出してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">記録紙トレイを引き出しにくい、または差し込みにくい。</td><td>不安定な場所に設置していませんか。</td><td>水平で凹凸のない場所に設置してください。</td></tr>
<tr><td>記録紙トレイが紙の粉で汚れていませんか。</td><td>記録紙トレイを清掃してください。記録紙トレイ右側の枠の上に、紙の粉がたまることがあります。
⇒ 104 ページ「本製品の外側を清掃する」</td></tr>
<tr><td>プリントヘッドの下に詰まった記録紙を取り除きたいが、プリントヘッドが動かない。</td><td>プリントヘッドが右端で止まっていませんか。</td><td>本体カバーを開いたまま、以下の手順で操作してください。
① を長押しする
プリントヘッドが中央に移動します。
②電源プラグを抜いて、記録紙を取り除く
③本体カバーを閉じて、電源プラグをコンセントに差し込む
本製品の電源が入り、プリントヘッドが所定の位置に自動的に戻ります。</td></tr>
<tr><td>ネットワーク接続でのトラブル</td><td colspan="2">ネットワーク接続にて、印刷できない、スキャンできないなどの問題がありましたら、ユーザーズガイド ネットワーク編「困ったときは（トラブル対処方法）」を参照してください。</td></tr>
<tr><td>使用中にタッチパネルが反応しなくなった。</td><td>タッチパネルの下部と枠の間にゴミなどの異物が入っていませんか。</td><td>本製品の電源プラグを 1 回抜き差ししてください。【タッチパネルエラー】というエラーメッセージが表示される場合は、タッチパネルの下部と枠の間に異物が入った可能性があります。
タッチパネルの下部を指で押して、タッチパネル下部と枠のすきまに厚紙など、画面を傷つけないものを差し込み、異物を取り除いてください。
本製品の電源プラグを抜き差ししても、エラーメッセージが表示されない場合は、本製品に問題がある可能性があります。お客様相談窓口にご連絡ください。</td></tr>
</table>

動作がおかしいときは（修理を依頼される前に）

本製品に次のような不具合が発生したときは、外部からの大きなノイズによって誤作動している恐れがあります。

- 画面に正しく表示できない
- ボタンが操作できない
- 設定内容リストなどが正しく印刷できない
- コピーなど、印刷できない状態が頻繁に起きる
- その他、正しく動作できない

このようなときは、**電源プラグを抜いて電源を OFF にし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。**
これによって、改善される場合があります。
上記の操作をしても、不具合が改善されないときはお客様相談窓口にご連絡ください。

通信がうまくいかないときに回線環境を改善する

通信がうまくいかないときは、状況に応じて、以下の操作をお試しください。

特別な回線に合わせて設定する

[特別回線対応]

ファクスがうまく送信・受信できないときは、使用している電話回線の種類に合わせて以下の設定を行ってください。
お買い上げ時は【一般】に設定されています。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【初期設定】、【特別回線対応】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

3 回線種別を選ぶ

お使いの環境に合わせて、【一般／ PBX ／光・ISDN】から選びます。

4 を押して設定を終了する

お願い

■【PBX】に設定すると、ナンバー・ディスプレイの設定が無効になります。ナンバー・ディスプレイの設定を【あり】にするときは、特別回線対応の設定を【一般】にしてください。

安心通信モードに設定する

[安心通信モード]

通信エラーが発生しやすい相手や回線でファクスをより確実に送信・受信したい場合は、【安心通信モード】の設定を変えます。
お買い上げ時は【高速】に設定されているので、【安心（VoIP)】に設定してお試しください。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【初期設定】、【安心通信モード】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

3 【安心（VoIP)】を押す

設定を戻すときは、【高速】または【標準】を選びます。

お願い

■【安心（VoIP)】に設定すると、カラーファクスの受信ができません。（相手のファクス機によっては、モノクロに変換して受信します。）カラーファクスを受け取る機会が多い場合は、【標準】に設定してください。

4 を押して設定を終了する

- ファクスの送信・受信にかかる時間は、【高速】→【標準】→【安心（VoIP)】の順に、長くなります。
- IP フォンで通信エラーが発生する場合は、電話番号の前に「0000」（ゼロ 4 つ）を付けておかけください。このとき、通信料は NTT などの一般の加入電話からの請求になります。
  ひかり電話をご利用の場合は、「0000」（ゼロ 4 つ）を付けてかけることができません。
- 【安心（VoIP)】への設定は通信エラーの多発する特定の相手との通信時のみに限定して一時的に変更してください。通常は【高速】または【標準】に設定して使用します。
- ファクスの通信エラーは、本製品の設定以外に、以下のような要素から起こります。このため、本製品の設定だけでは、通信エラーを解消できないことがあります。
  - 通信回線の品質
  - 信号レベル
  - 通信相手機の影響
  - 屋内線の配線や接続している機器の影響

ダイヤルトーン検出の設定をする

[ダイヤルトーン設定]

ファクス送信に失敗すると、送信レポートが出力されます。送信レポートで、送信結果を確認してください。話し中や番号間違いでないのに、ファクスが送信できない場合は、ダイヤルトーンの設定を変更することで、改善される可能性があります。
お買い上げ時は、【検知する】に設定されています。

お願い

■【検知する】に設定している場合、使用している PBX や IP 電話のアダプターによっては、発信できなくなる場合があります。その場合は【検知しない】に設定してください。

1 **を押す**

2 **【全てのメニュー】、【初期設定】、【ダイヤルトーン設定】を順に押す**

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼ を押して、画面をスクロールさせます。

3 **【検知する】または【検知しない】を押す**

4 **を押して設定を終了する**

初期状態に戻す

設定した内容をお買い上げ時の状態に戻したり、登録した情報をすべて消去したりできます。

機能設定を元に戻す

［機能設定リセット］

主に、「基本設定」や「初期設定」メニューから変更した内容やお気に入りに登録した内容をお買い上げ時の状態に戻します。

電話帳・履歴・メモリー内のデータは消去されません。

お願い

- 通信待ちのファクスは消去されます。あらかじめ確認してください。
  ⇒ 74 ページ「送信待ちファクスを確認・解除する」
- 外線使用中は、機能設定リセットを使用できません。電話を切ったあとに操作してください。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【初期設定】、【設定リセット】、【機能設定リセット】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

【機能設定をリセットしますか？／はい／いいえ】と表示されます。

3 【はい】を押す

【再起動しますか ？　実行する場合は［はい］を 2 秒間押してください　キャンセルする場合は［いいえ］を押してください／はい／いいえ】と表示されます。

4 【はい】を 2 秒以上押す

設定が消去され、本製品が自動的に再起動します。回線種別の自動設定が始まります。

ネットワーク設定を元に戻す

［ネットワーク設定リセット］

本製品のネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【初期設定】、【設定リセット】、【ネットワーク設定リセット】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

【ネットワーク設定をリセットしますか ？ ／はい／いいえ 】と表示されます。

3 【はい】を押す

【再起動しますか ？　実行する場合は［はい］を 2 秒間押してください　キャンセルする場合は［いいえ］を押してください／はい／いいえ】と表示されます。

4 【はい】を 2 秒以上押す

ネットワーク設定が消去され、本製品が自動的に再起動します。

電話帳・履歴・メモリーを消去する

［電話帳 & ファクスリセット］

本製品の以下の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

- お客様の名前・電話番号
  ⇒ 73 ページ「送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する」
- 電話帳の内容
  ⇒ 76 ページ「電話帳を利用する」
- グループダイヤルの内容
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 3 章「グループダイヤルを登録する」
- 発信履歴（再ダイヤル機能）の内容
- ファクスの発信履歴、着信履歴の内容
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る」
- ファクス転送の設定
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「ファクスを転送する」
- 電話呼び出しの設定
  （⇒ユーザーズガイド 応用編 第 4 章「ファクスが届いたことを電話で知らせる」）
- 通信管理レポートの内容
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「通信管理レポートを印刷する」
- メモリーの内容（受信データも消去されます。）

お願い

■ メモリーに受信したファクスデータも消去されます。未読のファクスがないかを確認してください。
⇒ 71 ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【初期設定】、【設定リセット】、【電話帳&ファクスリセット】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼ を押して、画面をスクロールさせます。

【電話帳 & ファクス設定をリセットしますか？／はい／いいえ】と表示されます。

3 【はい】を押す

【再起動しますか ？　実行する場合は［はい］を 2 秒間押してください　キャンセルする場合は［いいえ］を押してください／はい／いいえ】と表示されます。

4 【はい】を 2 秒以上押す

電話帳・履歴・メモリーが消去され、本製品が自動的に再起動します。

すべての設定を元に戻す

[全設定リセット]

本製品のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。

お願い

■ 全設定リセットを実行すると、電話帳などの内容を元に戻すことはできません。あらかじめ、電話帳リストを印刷しておいてください。
⇒ 78 ページ「電話帳リストを印刷する」

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【初期設定】、【設定リセット】、【全設定リセット】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼ を押して、画面をスクロールさせます。

【全設定をリセットしますか？／はい／いいえ】と表示されます。

3 【はい】を押す

【再起動しますか ？　実行する場合は［はい］を 2 秒間押してください　キャンセルする場合は［いいえ］を押してください／はい／いいえ】と表示されます。

4 【はい】を 2 秒以上押す

設定した内容が消去され、本製品が自動的に再起動します。

回線種別の自動設定が始まります。

こんなときは

インターネット上のサポートの案内を見るときは

付属の CD-ROM から、サポートサイトなどの案内メニューを表示させることができます。

Windows® の場合

1 付属の CD-ROM を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットする

トップメニューが表示されます。

トップメニューの画面が表示されないときは、[コンピューター(マイ コンピュータ)]から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、[start.exe]をダブルクリックしてください。

2 [サービスとサポート]をクリックする

3 見たい項目をクリックする

- ブラザーホームページ
  ブラザーのホームページを表示します。
- サポートサイト(ブラザーソリューションセンター)
  サポートサイトを表示します。
- ブラザーダイレクトクラブ
  インクカートリッジなどを購入できるオンラインショップを表示します。
- 消耗品情報
  ブラザー純正の消耗品の案内を表示します。

Macintosh の場合

1 付属の CD-ROM を、Macintosh の CD-ROM ドライブにセットする

2 [サービスとサポート]をダブルクリックする

3 見たい項目をクリックする

- Presto! PageManager
  Presto! PageManager のインストーラーをダウンロードします。
- Brother Web Connect
  Web 接続の機能を使用するために、ここから仮登録 ID を取得します。
- オンラインユーザー登録
  オンライン登録画面を表示します。
- サポートサイト(ブラザーソリューションセンター)
  サポートサイトを表示します。
- 消耗品情報
  ブラザー純正の消耗品の案内を表示します。

最新のドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードして使うときは

最新のドライバーやファームウェアのダウンロードは、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）の [ソフトウェアダウンロード] から行ってください。詳しい手順は、サポートサイトに記載されています。

ダウンロードおよびインストールする際は、サポートサイトに記載されている注意や利用規約、制約条項をよくお読みください。また、以下の注意もお守りください。

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）の URL

http://solutions.brother.co.jp/

ドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードするときは

- ダウンロードするドライバーやファームウェアの製品名は、本製品の操作パネルで確認して、正しく選択してください。
- ダウンロードするドライバーやファームウェアの対応 OS は、パソコンの取扱説明書などで確認して、正しく選択してください。

ファームウェアをインストールするときの注意

- ファームウェアを更新する際には、製品が動作中でないこと、メモリーに使用中のデータが残っていないことなどの条件や、製品に残されていた履歴が削除されるなどの制約があります。ソフトウェアダウンロードページの [ファームウェア更新時の注意事項] を読んでよくご理解いただいた上で、条件に従って更新作業をお進めください。

停電になったときは

停電中は本製品の機能はすべて使用できなくなります。ファクスの送受信もできません。
本製品のメモリーに保存されている以下のデータは本製品内蔵のフラッシュメモリーに保存され、停電時も消去されません。

- 各種登録、設定内容
- 電話帳
- 発信 / 着信履歴
- 通信管理レポート
- 受信メモリー文書、送信メモリー文書

お願い

■ 日付と時刻は設定し直してください。
⇒ 30 ページ「日付と時刻を設定する」

本製品に接続している電話機は、停電中でも使用できる機器もあります。詳しくは、お使いの電話機の取扱説明書をご覧ください。

本製品のシリアルナンバーを確認する

[製品情報]

1 を押す

2 【全てのメニュー】、【製品情報】、【シリアル No.】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

画面に、本製品のシリアルナンバーが表示されます。

3 を押す

ご使用の前に
ファクス
電話帳
コピー
デジカメプリント
こんなときは
付 録

本製品の設定内容や機能を確認する

［レポート印刷］

1 記録紙をセットする

⇒ 44 ページ「記録紙トレイにセットする」

2 を押す

3 【全てのメニュー】、【レポート印刷】を順に押す

キーが表示されていないときは上下にフリックするか、▲/▼ を押して、画面をスクロールさせます。

4 印刷したいレポートを選ぶ

- 【送信結果レポート】：
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「送信結果レポートを印刷する」
- 【電話帳リスト】：
  ⇒ 78 ページ「電話帳リストを印刷する」
- 【通信管理レポート】：
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「通信管理レポートを印刷する」
- 【設定内容リスト】：
  本製品の現在の設定内容を一覧にします。
- 【ネットワーク設定リスト】：
  本製品のネットワーク設定状況を一覧にします。
- 【無線 LAN レポート】：
  無線 LAN の接続状態や無線 LAN 情報を一覧にします。
- 【着信履歴リスト】：
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「着信履歴リストを印刷する」

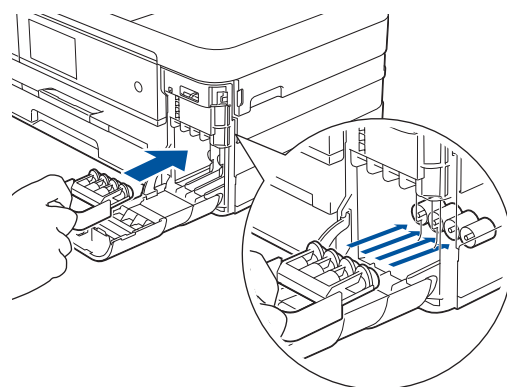
5 【OK】を押す

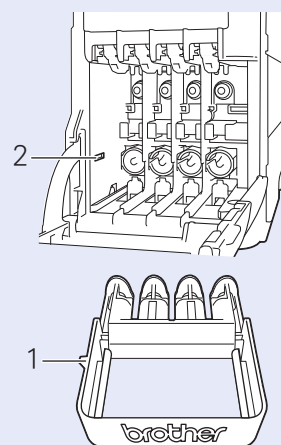
選んだレポートが印刷されます。

6 を押す

本製品を輸送するときは

引っ越しや修理などで本製品を輸送するときは、次の点に注意してください。

- 電話機コードや USB ケーブルは本製品から取り外してください。
- インクカートリッジはすべて抜き取り、お買い上げ時にセットされていた保護部材を取り付けてください。
  保護部材がない場合は、何も装着していない状態で輸送してください。

重 要

■ 保護部材の突起（1）が、カートリッジのセット部内壁の溝 (2) の位置までくるように、しっかり差し込んでください。確実にセットされていないと輸送時のインク漏れの原因となります。

本製品を廃棄するときは

本製品を廃棄するときは、設定した内容や発信・着信履歴、メモリー内のファクスデータなど、保存されているすべての情報を消去し、お買い上げ時の状態に戻してください。

⇒ 154 ページ「すべての設定を元に戻す」

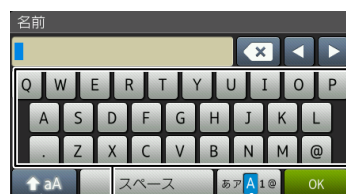
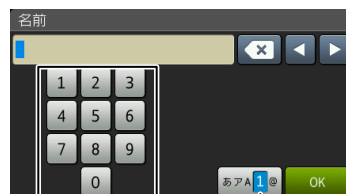
付録

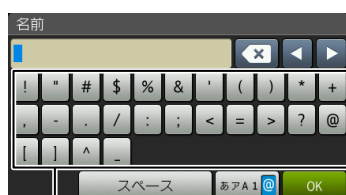
文字の入力方法

発信元登録、電話帳の登録などでは、タッチパネルの画面に表示されるキーボードや、操作パネル上のダイヤルボタンを使って文字を入力します。入力できる文字は、メニューによって異なります。

入力画面例

● ひらがな / 漢字入力画面

● カタカナ入力画面

● アルファベット入力画面

● 数字入力画面

● 記号入力画面

ひらがな / カタカナの文字の割り当て

● ひらがな

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
【あ】	あいうえお ぁぃぅぇぉ	【ま】	まみむめも
【か】	かきくけこ	【や】	やゆよゃゅょ
【さ】	さしすせそ	【ら】	らりるれろ
【た】	たちつてとっ	【わ】	わをん、。
【な】	なにぬねの	【ー】	ー
【は】	はひふへほ	【゛゜】	(濁点、半濁点)

● カタカナ

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
【ア】	アイウエオ ァィゥェォ	【マ】	マミムメモ
【カ】	カキクケコ	【ヤ】	ヤユヨャュョ
【サ】	サシスセソ	【ラ】	ラリルレロ
【タ】	タチツテトッ	【ワ】	ワヲン、。
【ナ】	ナニヌネノ	【ー】	ー
【ハ】	ハヒフヘホ	【゛゜】	(濁点、半濁点)

機能ボタンの使いかた

文字種の変更、入力した文字の変換・確定などは以下のボタンを使って行います。

ボタン	内容
(×)	文字を消去します。
◀	カーソルを左に戻します。
▶	カーソルを右に移動します。 同じボタンで続けて入力する場合には、▶ を押します。
【変換】	ひらがなを漢字に変換します。
【確定】	入力した文字を確定します。
⇧aA	大文字と小文字を切り替えます。
【スペース】	スペースを挿入します。
【あア A1@】 【A1@】	入力できる文字の種類を切り替えます。押すたびに カタカナ→アルファベット→数字→記号→ひらがな、または、数字→記号→アルファベット の順で切り替わります。

変換範囲を変更することはできません。

入力制限（入力できる文字の種類や文字数）

項目	ひらがな・漢字	カタカナ	英字・数字・記号	入力文字数
電話番号・ファクス番号	×	×	○ *1	20
読み仮名	×	○	○	16
名前 *2	○	○	○	10

*1 電話帳での電話番号入力時は、0 ～ 9、「＊」、「#」、ポーズ（約 3 秒の待ち時間）のみ入力できます。
ポーズは【ポーズ】で入力します。入力したポーズは画面に「p」で表示されます。
発信元登録での電話番号入力時は 0 ～ 9、「＋」（先頭のみ）、スペースのみ入力できます。ハイフンは入力できません。

*2 発信元登録では、16 文字まで入力できます。

漢字は JIS 第一水準および第二水準に対応しています。

入力例

例：タッチパネルを使って、「鈴木エリ」と入力する場合

操作のしかた	画面表示
【さ】を 3 回押す	す
▶ を 1 回押す	す
【さ】を 3 回押す	すす
【゛゜】を 1 回押す	すず
【か】を 2 回押す	すずき
【変換】を 1 回押す	スズキ すずき 鈴木 ※画面に変換候補が表示されます。
【鈴木】を押す	鈴木
【あアA1@】を1回押す	※入力できる文字の種類が「カタカナ」に替わります。
【ア】を 4 回押す	鈴木エ
【ラ】を 2 回押す	鈴木エリ

機能一覧

操作パネル上のボタンを押して設定できる内容や機能は次のとおりです。画面のメッセージに従って操作してください。

メニューボタン

待ち受け画面の、を押して表示されるメニュー画面で、以下の設定および確認ができます。

設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照
時計セット(現在の設定時間を表示)	日付	日付を設定します。	ー (**2013.01.01**)	⇒ 30 ページ
	時刻	時刻を設定します。	ー (**00:00**)	
	タイム ゾーン	タイムゾーン(時刻帯)を設定します。	ー (**UTC ＋ 09:00**)	⇒応用編
受信モード		現在の受信モードを表示します。		⇒ 33 ページ
インク	テストプリント	印刷テストを行います。	印刷品質チェックシート／印刷位置チェックシート	⇒116ページ
	ヘッドクリーニング	ヘッドクリーニングを行います。	ブラック／カラー／全色	⇒114ページ
	インク残量	インク残量を表示します。	ー	⇒113ページ
Wi-Fi	無線接続ウィザード	無線 LAN の機器を検索し、接続を行います。	ー	⇒かんたん設置ガイド
	PC を使って設定する	パソコンから無線 LAN を設定します。	ー	
	WPS/AOSS	WPS/AOSS™ 機能を使って自動接続を行います。	ー	
	WPS (PIN コード)	WPS 対応の無線 LAN アクセスポイントでPINコードを入力してセキュリティーの設定を行います。	ー	⇒ネットワーク編
みるだけ受信		ファクスの受信方法を表示します。押すとみるだけ受信にする / しないを設定できます。	する（画面で確認）／**しない（受信したら印刷）**	⇒ 69 ページ
記録紙タイプ（現在の記録紙の種類を表示）		記録紙トレイにセットした記録紙の種類を設定します。また、その設定値が表示されます。	**普通紙**／インク紙／ブラザーBP71光沢／その他光沢／OHP フィルム	⇒ 51 ページ
記録紙サイズ（現在の記録紙のサイズを表示）		記録紙トレイにセットした記録紙のサイズを設定します。また、その設定値が表示されます。	**A4** ／ A5 ／ B5 ／ハガキ／2L 判／ L 判	⇒ 51 ページ
全てのメニュー		本製品を使用する上で必要な、さまざまな設定メニューを表示します。	ー	⇒164ページ

全てのメニューボタン

待ち受け画面の、【全てのメニュー】を押して表示される画面で、次の設定ができます。

● 基本設定

機能	設定項目		機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	参照
基本設定	インク	テストプリント	印刷テストを行います。	印刷品質チェックシート／印刷位置チェックシート	⇒116ページ
		ヘッドクリーニング	ヘッドクリーニングを行います。	ブラック／カラー／全色	⇒114ページ
		インク残量	インク残量を確認します。		⇒113ページ
	記録紙タイプ		記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて設定します。	**普通紙**／インク紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢／OHP フィルム	⇒ 51 ページ
	記録紙サイズ		記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて設定します。	**A4** ／ A5 ／ B5 ／ハガキ／ 2L 判／ L 判	⇒ 51 ページ
	音量	着信音量	着信音の音量を設定します。	切／小／**中**／大	⇒ 35 ページ
		ボタン確認音量	操作パネルのボタンを押したときの音量を設定します。	切／**小**／中／大	
		スピーカー音量	オンフック時の音量を設定します。	切／小／**中**／大	
	画面の設定	画面の明るさ	画面の明るさを設定します。	**明るく**／標準／暗く	⇒応用編
		照明ダウンタイマー	画面のライトを暗くするまでの時間を設定します。	切／ 10 秒／ 20 秒／ **30 秒**	
	ボタン設定		ホームボタン設定	**基本**／便利な機能／お気に入り 1 ／お気に入り 2 ／お気に入り 3	⇒ 37 ページ
	スリープモード		スリープ状態にするまでの時間を設定します。	1 分／ 2 分／ 3 分／ **5 分**／ 10 分／ 30 分／ 60 分	⇒ 36 ページ
	セキュリティ機能ロック	パスワード設定	セキュリティ機能ロックのパスワードを設定します。	−	⇒応用編
		ロック オフ⇒オン	セキュリティ機能ロックのオン / オフを切り替えます。	−	

● お気に入り設定

設定項目	機能説明			参照
お気に入り設定	お気に入りの設定に名前をつけて登録します。	（お気に入りの選択）		⇒ 40 ページ
			お気に入り名の編集	
			消去	

● ファクス

機能	設定項目		機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	参照
ファクス	受信設定	呼出ベル回数	「ファクス専用モード」と「自動切換えモード」のとき、自動受信するまでの呼出ベル回数を設定します。	0 ～ 10（初期設定は **4**）	⇒ 34 ページ
		再呼出ベル回数	「自動切換えモード」のとき、着信音の後に鳴る呼出音の回数を設定します。	**8** ／ 15 ／ 20	⇒ 34 ページ
		みるだけ受信	みるだけ受信するかどうかを設定します。	する（画面で確認）／**しない（受信したら印刷）**	⇒ 69 ページ
		親切受信	自動受信する前に電話をとった場合でも、自動的にファクスを受信する機能を設定します。	する／**しない**	⇒ 66 ページ
		リモート受信	本製品と接続している電話機からファクスを受信する機能を設定します。	する／**しない**	⇒応用編
		自動縮小	【記録紙サイズ】で設定した記録紙のサイズより長辺が長いファクスが送られてきたとき、自動的に縮小するかどうかを設定します。	**する**／しない	⇒応用編
		メモリ受信	ファクスのメモリー受信の内容を設定します。	**オフ**／ファクス転送／電話呼び出し／メモリ保持のみ／ PC ファクス受信 ※ファクス転送、PC ファクス受信を選択した場合は、本体で印刷する／しないを設定します。	⇒ 71 ページ ⇒応用編
	レポート設定	送信結果レポート	ファクス送信後に、送信結果を印刷するための設定をします。	オン／オン+イメージ／オフ／**オフ+イメージ**	⇒応用編
		通信管理レポート	通信管理レポートの出力間隔を設定します。	レポート出力しない／**50件ごと**／6 時間ごと／ 12 時間ごと／24 時間ごと／ 2 日ごと／ 7 日ごと	
	ファクス出力		みるだけ受信をしていない場合にのみ、メモリーに記憶されているファクスデータをすべて印刷します。印刷後、データは消去されます。	−	⇒ 71 ページ
	暗証番号		外出先から本製品を操作するための暗証番号を設定します。	−−−＊	⇒応用編
	ダイヤル制限機能	直接入力	ファクス送信を禁止したり、誤って間違った相手にファクスを送信しないように制限することができます。送る状況によって、別々の設定ができます。	2 度入力／オン／**オフ**	⇒応用編
		電話帳			
		お気に入り			
	通信待ち一覧		送信待ちデータなどの設定を確認したり解除したりできます。	−	⇒ 74 ページ
	データコネクト設定	IPファクス	IP ファクスを使ってファクスを送信するときに設定します。	専用／優先／**オフ**	⇒応用編
		送信速度	IP ファクスを使ってファクスを送信するときの通信速度を設定します。	**自動**／標準／高速／最高速	

● ネットワーク

本製品をネットワーク環境で使用する場合の詳細については、ユーザーズガイド ネットワーク編をご覧ください。

機能	設定項目			機能説明	設定内容 （太字：初期設定）
ネットワーク	有線 LAN	TCP/IP	IP 取得方法	IP の取得先を指定します。	**Auto** ／ Static ／ RARP ／ BOOTP ／ DHCP
			IP アドレス	IP アドレスを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			サブネット マスク	サブネットマスクを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			ゲートウェイ	ゲートウェイのアドレスを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			ノード名	ノード名を表示します。	BRNxxxxxxxxxxxx（x は MAC アドレスを示す 12 桁の文字）
			WINS 設定	WINS の解決方法を設定します。	**Auto** ／ Static
			WINS サーバー	WINS サーバー（プライマリ／セカンダリ）を設定します。	－
			DNS サーバー	DNS サーバー（プライマリ／セカンダリ）を設定します。	－
			APIPA	APIPA を設定します。	**オン**／オフ
			IPv6	IPv6 を設定します。	オン／**オフ**
		イーサネット		LAN のリンクモードを設定します。	**Auto** ／ 100B-FD ／ 100B-HD ／ 10B-FD ／ 10B-HD
		MAC アドレス		MAC アドレスを表示します。	－
	無線 LAN	TCP/IP	IP 取得方法	IP の取得先を指定します。	**Auto** ／ Static ／ RARP ／ BOOTP ／ DHCP
			IP アドレス	IP アドレスを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			サブネット マスク	サブネットマスクを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			ゲートウェイ	ゲートウェイのアドレスを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			ノード名	ノード名を表示します。	BRWxxxxxxxxxxxx（x は MAC アドレスを示す 12 桁の文字）
			WINS 設定	WINS の解決方法を設定します。	**Auto** ／ Static
			WINS サーバー	WINS サーバー（プライマリ／セカンダリ）を設定します。	－
			DNS サーバー	DNS サーバー（プライマリ／セカンダリ）を設定します。	－
			APIPA	APIPA を設定します。	**オン**／オフ
			IPv6	IPv6 を設定します。	オン／**オフ**
		無線接続ウィザード		無線 LAN の機器を検索し、接続を行います。	－
		WPS/AOSS		WPS/AOSS™ 機能を使って自動接続を行います。	－
		WPS（PIN コード）		WPS 対応の無線 LAN アクセスポイントで PIN コードを入力してセキュリティーの設定を行います。	－
		無線状態	接続状態	無線 LAN の接続状態を表示します。	－
			電波状態	無線 LAN の電波状態を 4 段階（強い／普通／弱い／なし）で表示します。	－
			SSID	接続先の無線 LAN の SSID（ネットワーク名）を表示します。	（32 文字まで表示）
			通信モード	無線LANの通信モードを表示します。	－
		MAC アドレス		MAC アドレスを表示します。	－

機能	設定項目			機能説明	設定内容 (太字：初期設定)
ネットワーク	Wi-Fi Direct	プッシュボタン接続		ボタンを押すだけで簡単に Wi-Fi Direct™ ネットワーク接続ができます。	ー
		PIN コード接続		WPS（PIN 方式）で簡単に Wi-Fi Direct™ ネットワーク接続ができます。	ー
		手動接続		手動で Wi-Fi Direct™ ネットワーク接続ができます。	ー
		グループ オーナー		本製品をグループオーナーに設定できます。	オン／**オフ**
		デバイス情報	デバイス名	デバイス名を表示します。	ー
			SSID	グループオーナーの SSID（ネットワーク名）を表示します。(自分の SSID)／(接続相手のSSID) ／未接続	ー
			IP アドレス	本製品の IP アドレスを表示します。	ー
		接続情報	接続状態	接続状態を表示します。	ー
			電波状態	電波状態を 4 段階（強い／普通／弱い／なし）で表示します。	ー
		インターフェース有効		Wi-Fi Direct™ 接続の有効 / 無効を設定します。	オン／**オフ**
	Web 接続設定	プロキシ設定	プロキシ経由接続	プロキシサーバーを経由してインターネットに接続するかしないかの設定をします。	オン／**オフ**
			アドレス	プロキシサーバーのアドレスを設定します。	ー
			ポート	プロキシサーバーのポート番号を設定します。	(**8080**)
			ユーザー名	プロキシ使用時のユーザー認証に必要なユーザー名を設定します。	ー
			パスワード	プロキシ使用時のユーザー認証に必要なパスワードを設定します。	ー
	有線／無線切替え			有線LAN／無線LANを切り替えます。	**有線 LAN** ／無線 LAN
	ネットワーク設定リセット			ネットワークの設定（有線・無線とも）をすべて初期値に戻します。	ー

● レポート印刷

機能	設定項目	機能説明	参照
レポート印刷	送信結果レポート	ファクスの送信結果を印刷します。	⇒応用編
	電話帳リスト	電話帳に登録されている内容を印刷します。	⇒ 78 ページ
	通信管理レポート	送信・受信した最新の 200 件分の結果を印刷します。	⇒応用編
	設定内容リスト	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。	⇒ 158 ページ
	ネットワーク設定リスト	現在動作している無線 LAN の設定内容を印刷します。	⇒ 158 ページ
	無線LAN レポート	無線 LAN の現在の接続状況を印刷します。	⇒ 158 ページ
	着信履歴リスト	着信履歴を印刷します。	⇒応用編

● 製品情報

機能	設定項目	機能説明	参照
製品情報	シリアル No.	本製品のシリアルナンバーを表示します。	⇒ 157 ページ

● 初期設定

機能	設定項目		機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）	参照
初期設定	受信モード		ファクスの受信方法を選びます。	**FAX= ファクス専用**／ F/T= 自動切換え／留守 = 外付け留守電／ TEL= 電話	⇒ 31 ページ
	時計セット	日付	日付を設定します。	－（**2013.01.01**）	⇒ 30 ページ
		時刻	時刻を設定します。	－（**00:00**）	
		タイム ゾーン	タイムゾーン（時刻帯）を設定します。	－（**UTC ＋ 09:00**）	⇒応用編
	発信元登録		ファクスに印刷される発信元のファクス番号と名前を設定します。	ファクス：－ 名前：－	⇒ 73 ページ
	回線種別設定		お使いの電話回線に合わせて回線種別を設定します。	プッシュ回線／ダイヤル 10PPS／ダイヤル 20PPS／**自動設定**	⇒ 29 ページ
	ナンバーディスプレイ		ナンバー・ディスプレイサービスを使用する / しないを設定します。	あり／**なし**／外付け電話優先	⇒応用編
	ファクス自動再ダイヤル		ファクス送信ができなかったときに、自動で再ダイヤルするかどうかを設定します。	**オン**／オフ	⇒応用編
	ダイヤルトーン設定		ダイヤルトーンの検出をするかどうかを設定します。	**検知する**／検知しない	⇒151ページ
	外線番号		構内交換機（PBX）などを使用している場合に、ファクス番号の頭にダイヤルする必要のある識別番号をあらかじめ設定しておくことができます。	オン／**オフ**	⇒応用編
	特別回線対応		特別な電話回線に合わせて回線種別を設定します。	**一般**／ PBX ／光・ISDN	⇒150ページ
	安心通信モード		安心通信モードに設定します。	**高速**／標準／安心（VoIP）	⇒150ページ
	設定リセット	機能設定リセット	本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻します。	－	⇒152ページ
		ネットワーク設定リセット	本製品のネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。	－	⇒152ページ
		電話帳 & ファクスリセット	本製品の電話帳・履歴・メモリーを消去します。	－	⇒153ページ
		全設定リセット	本製品のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。	－	⇒154ページ
	その他	デモ動作設定	デモ画面を表示するかしないかを設定します。	する／**しない**	－
		ファクスバックアップ	メモリー受信をオフ、みるだけ受信しないと設定されている場合に、受信したファクスが何らかの理由で出力できなかったとき、モノクロのファクスデータであれば一定期間保持しておくことができます。	ファクスバックアップ　オン／**オフ** 再プリント 消去	⇒応用編
	表示言語設定		画面に表示される言語を設定できます。This Setting allows you to change LCD Language to English.	**日本語**／英語	⇒応用編
	サービス　データ転送	ファクス転送	ファクスが印刷できない場合に、待機中のファクスデータを別のファクス機に転送することができます。		⇒133ページ
		レポート転送	ファクスが印刷できない場合に、通信管理レポートを別のファクス機で印刷することができます。		⇒133ページ

インクボタン

待ち受け画面の を押した場合や、 、【インク】を順に押して表示される画面で、インクに関する設定ができます。

設定項目	機能説明	設定内容	参照
テストプリント	印刷テストを行います。	印刷品質チェックシート／印刷位置チェックシート	⇒116ページ
ヘッドクリーニング	ヘッドクリーニングを行います。	ブラック／カラー／全色	⇒114ページ
インク残量	インク残量を確認します。		⇒113ページ

Wi-Fi 設定ボタン

待ち受け画面の WiFi を押して表示される画面で、無線 LAN の設定ができます。

設定項目	機能説明	参照
無線接続ウィザード	無線 LAN の機器を検索し、接続を行います。	⇒かんたん設置ガイド
PC を使って設定する	パソコンから無線 LAN を設定します。	
WPS/AOSS	WPS/AOSS™ 機能を使って自動接続を行います。	
WPS(PIN コード)	WPS 対応の無線 LAN アクセスポイントで PIN コードを入力してセキュリティーの設定を行います。	⇒ネットワーク編

クラウド

待ち受け【便利な機能】画面の を押して表示される画面で、ウェブサービスにスキャンした画像をアップロードしたり、アップロードされている画像を印刷することができます。
詳しくは、「クラウド接続ガイド」をご覧ください。(「クラウド接続ガイド」は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードできます。)

便利な A3 コピー

待ち受け【便利な機能】画面の を押して表示される画面で、A3 記録紙を使ったいろいろなコピーができます。

機能	設定項目	機能説明	参照
便利な A3 コピー	A3 2 in 1	A4 原稿 2 枚を A3 記録紙 1 枚に並べてコピーします。	⇒応用編
	A4 ⇒ A3 拡大	A4 原稿 1 枚を A3 記録紙 1 枚に拡大 (141%) してコピーします。	
	A4 + ノート（横）	A4 原稿 1 枚を A3 記録紙の左側に原寸でコピーし、右側に横罫線を配置します。	
	A4 + ノート（縦）	A4 原稿 1 枚を A3 記録紙の左側に原寸でコピーし、右側に縦罫線を配置します。	
	A4 + 方眼	A4 原稿 1 枚を A3 記録紙の左側に原寸でコピーし、右側に方眼罫を配置します。	
	A4 + メモ	A4 原稿 1 枚を A3 記録紙の左側に原寸でコピーし、右側いっぱいを空白にします。	
	A4 センター	A4 原稿 1 枚を原寸で A3 記録紙の中央にコピーします。	

デジカメプリントボタン

待ち受け【便利な機能】画面の を押して表示される画面で、画像の閲覧、プリントおよび関連する各種の設定ができます。
デジカメプリントのメニューを選び、それぞれに必要な項目を設定したあと、より細かいプリント条件が【印刷設定】メニューから変更できます。【印刷設定】メニューについては、次ページをご覧ください。

<table>
<tr><th>設定項目</th><th>機能説明</th><th colspan="3">設定内容（太字：初期設定値）</th><th>参照</th></tr>
<tr><td rowspan="2">インデックス</td><td rowspan="2">インデックスシートの印刷または番号を指定して写真のプリントをします。</td><td colspan="3">インデックスシート</td><td rowspan="2">⇒応用編</td></tr>
<tr><td colspan="3">番号指定プリント</td></tr>
<tr><td rowspan="2">かんたん印刷</td><td rowspan="2">メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の写真を簡単な操作でプリントします。</td><td colspan="3">（サムネイル）</td><td>⇒ 92 ページ</td></tr>
<tr><td>全て 1 枚選択</td><td colspan="2">100枚目までの写真のプリント枚数をすべて 1 枚に設定します。
設定後自動色補正を行うとすべての写真を一括で補正できます。</td><td>⇒応用編</td></tr>
<tr><td rowspan="3">こだわり印刷</td><td rowspan="3">メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の写真を個別に補正したりトリミングを行ったりしながらプリントします。</td><td rowspan="3">（サムネイル）</td><td>お好み色補正</td><td>自動色補正
肌色あかるさ補正 [*1]
色あざやか補正 [*1]
赤目補正
夜景補正 [*1]
逆光補正 [*1]
ホワイトボード補正
モノクロ
セピア
自動色補正＆赤目補正</td><td rowspan="3">⇒応用編</td></tr>
<tr><td>トリミング</td><td>ー</td></tr>
<tr><td colspan="2">お好み色補正＆トリミング
（お好み色補正とトリミングを順番に行います。）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">スライド表示</td><td rowspan="2">スライド表示の写真 1 枚あたりの表示時間や効果の設定ができます。</td><td colspan="2">切り替え時間</td><td>3 秒／ 10 秒／ 30 秒／ 1 分／ 5 分</td><td rowspan="3">⇒応用編</td></tr>
<tr><td colspan="2">スライドショー効果</td><td>オフ／スライドイン／フェードイン／ズームイン</td></tr>
<tr><td>スライド表示を開始します。
プリントしたい写真が表示されたときに画面を押すと、スライド表示中にプリントすることもできます。</td><td colspan="3">開始</td></tr>
</table>

[*1] 画像を補正した結果を基点に± 1 色調の変更ができます。

プリント前に表示される確認画面で【印刷設定】を押すと、以下の設定を確認・変更できます。

設定項目		機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	デジカメプリントの種類						
				インデックス		かんたん印刷	こだわり印刷			スライド表示中のプリント
				インデックスシート	番号指定プリント		お好み色補正	トリミング	お好み色補正&トリミング	
印刷設定	プリント画質[*1]	プリント時の画質を設定します。	標準／**きれい**		○	○	○	○	○	○
	記録紙タイプ	記録紙の種類を設定します。	普通紙／インク紙／ブラザーBP71 光沢／**その他光沢**	○	○	○	○	○	○	○
	記録紙サイズ	記録紙のサイズを設定します。	**L 判**／ 2L 判／ハガキ／ A4 ／ A3		○	○	○	○	○	○
	プリントサイズ	記録紙サイズで【A4】を選んだ場合に設定します。	8x10cm ／ 9x13cm ／ 10x15cm ／ 13x18cm ／ 15x20cm ／**用紙全体に印刷**		○	○	○	○	○	○
	自動色補正[*1]	自動で色や明るさを補正します。	する／**しない**			○				○
	明るさ	プリントの明るさを調整します。	－２／－１／**0**／＋１／＋２		○	○		○		○
	コントラスト	プリントのコントラスト（色の濃度）を調整します。	－２／－１／**0**／＋１／＋２		○	○		○		○
	画質強調	<ホワイトバランス> 画像の白色部分の色合いを調整します。	する：－２／－１／**0**／＋１／＋２ **しない**		○	○		○		○
		<シャープネス> 画像の輪郭部分のシャープさを調整します。			○	○		○		○
		<カラー調整> 画像のカラー全体の濃度を調整します。			○	○		○		○
	画像トリミング	プリント領域に収まらない画像を自動的に切り取ってプリントするかどうかを設定します。	**する**／しない		○	○	○	○	○	○
	ふちなし印刷	ふちなし印刷をするかどうかを設定します。	**する**／しない		○	○	○	○	○	○
	日付印刷[*1]	日付印刷をするかどうかを設定します。	する／**しない**		○	○	○	○	○	○
	設定を保持する	変更した設定を保持します。	－		○	○	○	○	○	○
	設定をリセットする	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	－		○	○	○	○	○	○

[*1] DPOF 印刷の場合は表示されません。

ファクスボタン

待ち受け画面の【ファクス】を押して表示される画面で、ファクスの送受信、閲覧および関連する各種の設定ができます。

設定項目			機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）		参照
ファクス送信*1	オンフック		受話器を置いたままダイヤルします。押すと電話回線につながります。			⇒29ページ
	再ダイヤル（ポーズ）		直前に送信した相手先をダイヤルします。電話番号を入力し始めると、再ダイヤルから、ポーズボタンに変わります。			⇒56ページ
	電話帳		電話帳から登録しているファクス番号を呼び出したり、電話帳にファクス番号を登録します。	検索		⇒60ページ
				設定	電話帳登録／グループ登録／変更／消去	⇒76ページ
				送信先に設定		⇒60ページ
	履歴		発信／着信履歴を表示します。 ※ナンバー･ディスプレイサービスを契約している場合は、着信履歴に電話番号と名前（電話帳に登録されている場合）も表示されます。	設定	電話帳に登録／消去	⇒応用編
				送信先に設定		
	設定変更	ファクス画質	送信時の画質を一時的に設定します。	**標準**／ファイン／スーパーファイン／写真		⇒63ページ
		原稿濃度	原稿に合わせて濃度を一時的に設定します。	**自動**／濃く／薄く		
		同報送信	複数の相手先に同じ原稿を送ります。	番号追加		⇒応用編
				電話帳から選択		
				検索して選択		
		みてから送信	画面でファクスの内容を確認してから送信します。	する／**しない**		⇒応用編
		カラー設定	相手にモノクロ/カラーのどちらで送るかを設定します。	**モノクロ**／カラー		⇒63ページ
		タイマー送信	タイマー送信を行うときの送信時刻を設定します。	タイマー送信	する／**しない**	⇒応用編
				指定時刻	ー（現在時刻を表示）	
		とりまとめ送信	タイマー送信で同じ相手に同じ時刻に送信する原稿がある場合、まとめて送信するように設定します。	する／**しない**		⇒応用編
		リアルタイム送信	メモリーを使わずに、原稿を読み取りながら送信するときに設定します。	する／**しない**		⇒応用編
		ポーリング送信	ポーリング通信でファクスを送信するときに設定します。	標準／機密／**しない**		⇒応用編
		ポーリング受信	ポーリング通信でファクスを受信するときに設定します。	標準／機密／タイマー／**しない**		⇒応用編
		海外送信モード	海外にファクスを送るときに設定します。	する／**しない**		⇒応用編
		設定を保持する	変更した以下の設定を保持できます。			⇒62ページ
		設定をリセットする	設定をお買い上げ時の状態に戻します。			⇒62ページ
	お気に入り登録		ファクスに関する下記の設定を名前を付けて登録しておくことができます。 ファクス画質・原稿濃度・みてから送信・カラー設定・リアルタイム送信・海外送信モード			⇒56ページ

設定項目	機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）		参照
受信ファクス[*1]	受信したファクスの一覧を表示します。画面で閲覧ができます。	印刷／消去	全て印刷（新着ファクス）／全て印刷（既読ファクス）／全て消去（新着ファクス）／全て消去（既読ファクス）	⇒67ページ
電話帳[*1]	電話帳から登録しているファクス番号を呼び出したり、電話帳にファクス番号を登録します。	検索		⇒60ページ
		設定	電話帳登録／グループ登録／変更／消去	⇒76ページ
		送信先に設定		⇒60ページ
履歴[*1]	発信／着信履歴を表示します。 ※ナンバー・ディスプレイサービスを契約している場合は、着信履歴に電話番号と名前（電話帳に登録されている場合）も表示されます。	設定	電話帳に登録／消去	⇒応用編
		送信先に設定		

[*1] みるだけ受信をするように設定しているときにのみ表示されるメニューです。みるだけ受信をしない場合は、【ファクス】のあと、【ファクス送信】の次階層のメニューが直接表示されます。

コピーボタン

待ち受け画面の【コピー】を押して表示される画面で、コピーおよび関連する各種の設定ができます。

設定項目	機能説明	設定内容（太字：初期設定値）		参照
高画質	よく使う機能として、本製品にあらかじめ設定されているコピーのメニューです。（プリセット）			⇒ 82 ページ
標準				
片面 ⇒ 両面				
A4 ⇒ A3 拡大				
2in1 （ID カード）				
2in1				
ポスター				
インク節約				
ブック				
コピー画質	印刷品質に合わせて設定します。	**標準**／高画質		⇒ 83 ページ
記録紙タイプ	記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて設定します。	**普通紙**／インク紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢／ OHP フィルム		⇒ 83 ページ
記録紙サイズ	記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて設定します。	**A4** ／ A3 ／ B4 ／ A5 ／ B5 ／ハガキ／ 2L 判／ L 判		⇒ 83 ページ
拡大 / 縮小	コピーしたいサイズに合わせて設定します。	**等倍 100%**	－	⇒ 83 ページ
		拡大	240% L 判 ⇒ A4 204% ハガキ ⇒ A4 141% B5 ⇒ B4, A4 ⇒ A3 123% A5 ⇒ B5 115% B5 ⇒ A4 113% L 判 ⇒ ハガキ	
		縮小	86% A4 ⇒ B5 69% A4 ⇒ A5 46% A4 ⇒ハガキ 40% A4 ⇒ L 判	
		用紙に合わせる	－	
		カスタム（25-400％）	25 － 400（**100**）	
コピー濃度	濃度を調整します。	－ 2 ／－ 1 ／ **0** ／＋ 1 ／＋ 2		⇒ 84 ページ
スタック / ソート	複数部コピーするとき、ページごとまたは部数ごとを設定します。	**スタックコピー**／ソートコピー		⇒応用編
レイアウト コピー	複数枚の原稿を 1 枚の用紙に割り付けてコピーしたり、1 枚の原稿を複数枚に分割、拡大してコピーします。	**オフ（1in1）** ／ 2in1（タテ長）／ 2in1（ヨコ長）／ 2in1 (ID カード) ／ 4in1（タテ長）／ 4in1（ヨコ長）／ポスター（2x1）／ポスター（2x2）／ポスター（3x3）		⇒応用編

設定項目		機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	参照
両面コピー		両面コピーします。 とじ辺と原稿の向きの設定を行い、うら面のコピー方向を決定します。	**オフ** 印刷の向き：縦 長辺とじ／ 印刷の向き：横 長辺とじ／ 印刷の向き：縦 短辺とじ／ 印刷の向き：横 短辺とじ	⇒応用編
			あんしん設定：**オフ**／あんしん 1／あんしん 2	
便利なコピー設定	オフ	便利なコピー設定を使用しません。	－	－
	インク節約モード	文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。	－	⇒応用編
	裏写り除去コピー	コピー時の裏写りを軽減します。	－	⇒応用編
	ブックコピー	本のように中央でとじられた原稿を開いてコピーするときに、とじ部分の陰やセット時の原稿の傾きを自動で補正します。	－	⇒応用編
	透かしコピー	コピー画像に 5 種類のテキストの中から 1 つを選んで、好みの位置、角度、濃度、色で重ねることができます。	テキスト：CONFIDENTIAL ／重要／**COPY** ／社外秘／至急 位置：A ／ B ／ C ／ D ／ **E** ／ F ／ G ／ H ／ I ／全面に印刷 サイズ：小／**中**／大 回転：-90° ／ **-45°** ／ 0° ／ 45° ／ 90° 透過度：-2 ／ -1 ／ **0** ／ +1 ／ +2 色：**黒**／緑／青／紫／赤／オレンジ／黄	⇒応用編
	地色除去コピー	原稿の地色（用紙色または背景色）がカラーの場合の地色を消してコピーします。	弱／**中**／強	⇒応用編
お気に入り登録		以下のコピーの機能を好みの設定で、名前を付けて登録しておくことができます。 コピー画質・記録紙タイプ・記録紙サイズ・拡大 / 縮小・コピー濃度・スタック / ソート・レイアウト コピー・両面コピー・インク節約モード・裏写り除去コピー・ブックコピー・透かしコピー・地色除去コピー	－	⇒84ページ

スキャンボタン

待ち受け画面の【スキャン】を押して表示される画面で、スキャンおよび関連する各種の設定ができます。スキャンの種類を選び、それぞれに必要な項目を設定したあと、ファイルの保存条件が変更できます。スキャンファイルの設定変更については、次ページをご覧ください。

設定項目	機能説明	設定内容	参照
OCR	スキャンした画像をテキストに変換してパソコンに保存します。	PC 選択	⇒パソコン活用編
ファイル	スキャンした画像をパソコンの指定したフォルダーに保存します。	PC 選択	⇒パソコン活用編
イメージ	スキャンした画像をパソコンに保存します。	PC 選択	⇒パソコン活用編
メディア	スキャンした画像をメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存します。	ー	⇒ 99 ページ
E メール添付	スキャンした画像を添付ファイルにしてメールソフトを起動します。	PC 選択	⇒パソコン活用編
FTP サーバー	スキャンしたデータを指定した FTP サーバーに保存します。	プロファイル名選択	⇒パソコン活用編
ネットワーク	スキャンしたデータをネットワーク上のパソコンに保存します。	プロファイル名選択	⇒パソコン活用編
Web サービス *1	スキャンした画像を Web サービススキャンで使用することができます。	スキャン	⇒パソコン活用編
		電子メール用にスキャン	
		FAX 用にスキャン	
		印刷用にスキャン	

*1 Web サービス機能をインストールした場合に表示されます。

スキャンの種類を選んだあと、保存するファイルの以下の設定内容を変更および確認することができます。

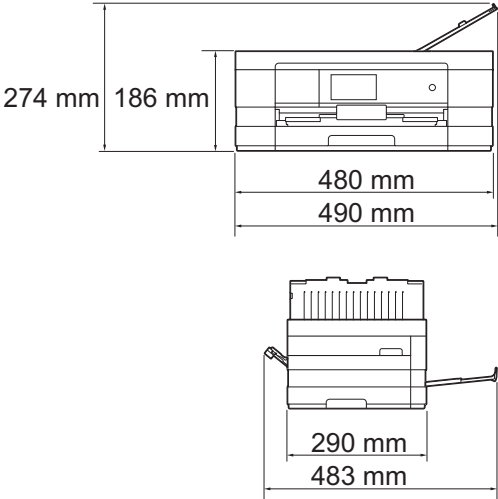
設定項目		機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	スキャンの種類						
				OCR	ファイル	イメージ	メディア	E メール添付	FTP サーバー	ネットワーク
設定変更	本体から設定する [1]	スキャンの設定を複合機本体から変更できます。	**オフ（パソコンから設定する）**／オン	○	○	○		○		
設定変更	カラー設定 [2]	カラーを設定します。	カラー／**モノクロ**	○						
設定変更	カラー設定 [2]	カラーを設定します。	**カラー**／モノクロ		○	○	○	○	○	○
設定変更	解像度 [2]	解像度を設定します。	100 dpi／**200 dpi**／300 dpi ／ 600 dpi	○	○	○		○		
設定変更	解像度 [2][3]	解像度を設定します。	100 dpi／200 dpi／300 dpi／600 dpi／自動				○		○	○
設定変更	ファイル形式 [2]	ファイル形式を設定します。	**Text** ／ HTML ／ RTF	○						
設定変更	ファイル形式 [2][4]	ファイル形式を設定します。	**PDF** ／ JPEG ／ TIFF		○	○	○	○	○	○
設定変更	ファイル名	ファイル名を設定します。					○			
設定変更	おまかせ一括スキャン	複数の原稿を一度にスキャンします。	オン／**オフ**				○			
設定変更	地色除去 [2]	原稿の地色（用紙色または背景色）を消してコピーします。	**オフ**／弱／中／強		○	○	○	○	○	○
設定変更	ユーザー名	ユーザー名を設定します。							○	○
設定変更	設定を保持する	以下の設定を好みの値で保持できます。 カラー設定・解像度・ファイル形式・おまかせ一括スキャン・地色除去					○			
設定変更	設定をリセットする	設定値をお買い上げ時の状態に戻します。					○			
お気に入り登録		PC 名をお気に入りに登録できます。[2]		○	○	○		○		
お気に入り登録		以下の設定を好みの値でお気に入りに登録できます。 カラー設定・解像度・ファイル形式・ファイル名・おまかせ一括スキャン・地色除去					○			
お気に入り登録		プロファイル名をお気に入りに登録できます。							○	○
お気に入り登録		カラー設定・解像度・ファイル形式をお気に入りに登録できます。								

[1] 接続されているパソコンに、付属のアプリケーションソフト ControlCenter がインストールされていない場合は表示されません。

[2] OCR、ファイル、イメージ、E メール添付では、【本体から設定する】で【オン】に設定した場合にのみ選択できます。

[3] 初期設定値は、スキャンの種類によって異なります。

[4] 【カラー設定】で選んだカラーにより保存できるファイル形式に制限があります。灰色表示される形式は選べません。（⇒ 99 ページ）

仕様

基本設定

項目	内容
記録方式	インクジェット式
メモリー容量	128MB
LCD（液晶ディスプレー）	Wide 3.7 TFTカラー LCD（Wide 9.3cm/93.4mm TFT Color LCD）
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力[*1]	コピー時： 約21W[*2]
	稼動準備時： 約5W[*3]
	スリープモード時： 約1.5W[*3]
	電源OFF時： 約0.04W[*3*4]
外形寸法	274 mm 186 mm 480 mm 490 mm 290 mm 483 mm
本体質量 ※インクカートリッジを含む	9.8kg
稼動音	動作時： 平均50dB（A）[*5]
温度	動作時： 10～35℃ 最高印刷品質： 20～33℃
湿度 ※結露なきこと	動作時： 20～80％ 最高印刷品質： 20～80％
ADF（自動原稿送り装置）積載枚数	最大20枚[*6]（用紙坪量：80g/m²、A4）
原稿サイズ	原稿台ガラス使用時 幅：最大215.9mm 長さ：最大297mm ADF（自動原稿送り装置）使用時 幅：最大215.9mm 長さ：最大355.6mm

[*1] 全モード USB 接続時。消費電力値は使用環境、部品磨耗などにより若干異なることがあります。

[*2] 片面印字、画質：標準、原稿：ISO/IEC24712 印刷パターン

[*3] IEC 62301 Edition 2.0 による測定値。

[*4] ヘッドクリーニングなどのために定期的に電源 OFF が解除されます。必要な処理終了後は再度電源 OFF 状態となります。

[*5] お使いの機能により数値は変わります。

印刷用紙

給紙	**記録紙トレイ** ■記録紙タイプ： 普通紙、インクジェット紙（コート紙）、光沢紙[*1]、OHPフィルム[*1 *2] ■記録紙サイズ[*3]： 《横方向》 A4、レター、エグゼクティブ、JIS B5 《縦方向》 A5、A6、インデックスカード、L判、2L判、はがき、往復はがき、Com-10封筒、DL封筒、長形3号封筒、長形4号封筒、洋形2号封筒、洋形4号封筒 幅：89mm～215.9mm 長さ：127mm ～ 297mm 記録紙の厚さや容量について詳しくは、下記をご覧ください。 ⇒41ページ「使用できる記録紙」 ■最大記録紙容量：最大150 枚（80 g/m^2 普通紙）
	手差しトレイ ■記録紙タイプ： 普通紙、インクジェット紙（コート紙）、光沢紙[*1]、OHPフィルム[*1 *2] ■記録紙サイズ[*3]： 《横方向》 A4、レター、エグゼクティブ、JIS B5 《縦方向》 A3、JIS B4、レジャー、リーガル、A5、A6、インデックスカード、L判、2L判、はがき、往復はがき、Com-10封筒、DL封筒、角形2号封筒、長形3号封筒、長形4号封筒、洋形2号封筒、洋形4号封筒 幅：89mm～297mm 長さ：127mm ～ 431.8mm 記録紙の厚さや容量について詳しくは、下記をご覧ください。 ⇒41ページ「使用できる記録紙」 ■最大記録紙容量：1枚
排紙	最大50枚（80g/m^{2}普通紙）（記録紙は印刷面を上にして排出されます。）

[*1] 光沢紙や OHP フィルムを使用する場合は、出力紙の汚れを避けるために、速やかに排紙トレイから出力紙を取り除いてください。

[*2] OHP フィルムは、インクジェット印刷に推奨のものをご使用ください。

[*3] 記録紙のタイプやサイズについて詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 41 ページ「使用できる記録紙」

ファクス

型式	ITU-T Super Group3
通信速度	最大33,600bps(自動フォールバック機能付き)
最大有効読取幅	原稿台ガラス使用時：204mm （A4） ADF（自動原稿送り装置）使用時：208mm （A4）
最大有効記録幅	204mm
ハーフトーン	モノクロ：8ビット（256階調） カラー：24ビット（一色につき8ビット/ 256階調)
走査線密度	主走査：8ドット/mm 副走査（モノクロ時） • 標準：3.85本/mm • ファイン/ 写真：7.7本/mm • スーパーファイン：15.4本/mm 副走査（カラー時） • 標準：7.7本/mm • ファイン：7.7本/mm •「写真」「スーパーファイン」なし
電話帳	100件×2番号
グループ登録	最大6件
同報送信	250件（200件（電話帳）/ 50件（ダイヤルボタン））
自動再ダイヤル	3回/5分
メモリー送信 [*1]	最大200枚
メモリー代行受信 [*1]	最大200枚

[*1] A4 サイズ 700 字程度の原稿を標準的画質（8 ドット× 3.85 本 /mm）で読み取った場合の枚数です。実際の読み取り枚数は原稿の濃度や画質により異なります。また、メモリー記憶枚数は、メモリーの使用状況によって変わることがあります。

コピー

カラー / モノクロ	あり/あり
コピー読み取り幅	最大204mm
連続複写枚数	スタック/ソート　最大99枚
拡大縮小	25～400（%）
解像度	最高1200dpi×1200dpi
自動両面コピー	• 記録紙タイプ：普通紙 • 記録紙サイズ：A4、JIS B5、A5

デジカメプリント

項目		仕様
互換性のあるメディア[*1]		• メモリースティック デュオ™ （16MB－128MB） • メモリースティック PROデュオ™ （256MB－32GB） • メモリースティック マイクロ™ （M2™）（256MB－32GB） （アダプターが必要です。） • マルチメディアカード （32MB－2GB） • マルチメディアカード plus （128MB－4GB） • マルチメディアカード mobile （64MB－1GB） （アダプターが必要です。） • SDメモリーカード （16MB－2GB） • miniSDカード（16MB－2GB） （アダプターが必要です。） • microSDカード（16MB－2GB） （アダプターが必要です。） • SDHCメモリーカード（4GB－32GB） • miniSDHCカード（4GB 32GB） （アダプターが必要です。） • microSDHCカード（4GB－32GB） （アダプターが必要です。） • SDXCメモリーカード (48GB－128GB) • USBフラッシュメモリー[*2]
解像度		最高1200dpi×4800dpi
拡張ファイル	メディアファイルフォーマット	DPOF形式（ver.1.0、ver.1.1）、 Exif形式/DCF形式（ver. 2.1まで）
	対応画ファイルフォーマット	写真プリント：JPEG[*3]、AVI[*4]、MOV[*4]
		メディア保存：JPEG、PDF（カラー）、TIFF、PDF（モノクロ）
ふちなし印刷用紙		A3、A4、はがき、L判、2L判[*5]

[*1] メモリーカード、アダプター、USB フラッシュメモリードライブは含まれません。

[*2] USB2.0 規格
16MB ～ 32GB の USB マスストレージ規格
サポートフォーマット：FAT12/FAT16/FAT32/exFAT

[*3] プログレッシブ JPEG フォーマットには対応していません。

[*4] モーション JPEG のみです。

[*5] 記録紙のタイプやサイズについて詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 41 ページ「使用できる記録紙」

スキャナー

カラー/モノクロ	あり/あり
TWAIN 対応	あり（Windows® XP[*1]/Windows Vista® /Windows® 7） （Mac OS X v10.5.8、10.6.x、10.7.x[*2]）
WIA 対応	あり（Windows® XP[*1]/Windows Vista® /Windows® 7）
ICA 対応	あり（Mac OS X v10.6.x、10.7.x）
カラー階調	入力：48ビット 出力：24ビット
グレースケール	入力：16ビット 出力：8ビット
解像度	最大19200×19200dpi （補間）[*3] 最大2400×2400dpi （原稿台ガラス） 最大2400×1200dpi （ADF（自動原稿送り装置））
スキャナー読み取り幅	（原稿台ガラス） 横方向：最大213.9mm 縦方向：最大295mm （ADF（自動原稿送り装置）） 横方向：最大213.9mm 縦方向：最大353.6mm

*1 Windows® XP Home Edition、Windows® XP Professional、Windows® XP Professional x64 Edition を含みます。

*2 Mac OS X の最新のドライバーは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）よりダウンロードすることができます。

*3 WIA は、最大 1200 × 1200dpi の解像度に対応していますが、[Scanner Utility] を使用すれば、最大 19200 × 19200dpi の解像度に対応できます。

プリンター

解像度	最大1200×6000dpi
最大印刷幅	291mm［297mm （ふちなし印刷）[*1]］
ふちなし印刷用紙[*2]	A3、レジャー、A4、レター、A6、はがき、L判、2L判、ポストカード
自動両面印刷	• 記録紙タイプ：普通紙 • 記録紙サイズ：A4、レター、エグゼクティブ、JIS B5、A5、はがき

*1 ふちなし印刷を設定した場合。

*2 記録紙のタイプやサイズについて詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 41 ページ「使用できる記録紙」

インターフェイス

USB[*1*2]	2.0m以下のUSB2.0ケーブルをご使用ください。
LAN[*3]	カテゴリー5以上の非シールドツイストペアケーブル（UTP）をご使用ください。
無線 LAN	IEEE 802.11b/g/n（インフラストラクチャ通信、アドホック通信） IEEE 802.11g/n（Wi-Fi Direct™接続）

[*1] 本製品は、USB2.0 ハイスピードインターフェイスに対応しています。USB1.1 インターフェイスに対応したパソコンにも接続することができます。

[*2] サードパーティ製の USB ポートはサポートしていません。

[*3] ネットワークの仕様について詳しくは、「ネットワーク（LAN）」（⇒ 186 ページ）をご覧ください。または「ユーザーズガイド ネットワーク編」をご覧ください。

ネットワーク（LAN）

ネットワークの仕様について詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク編」をご覧ください。

本製品をネットワーク環境に接続することにより、ネットワークプリンター機能、ネットワークスキャン機能、PC-Fax 送信機能、PC-Fax 受信機能（Windows® のみ）、リモートセットアップ機能を使用することができます。また、ネットワーク接続されている本製品の初期設定用ユーティリティ BRAdmin Light[*1] も使用できます。

[*1] 高度なプリンター管理が必要な場合は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）から、Brother BRAdmin Professional ユーティリティーの最新バージョンをダウンロードして使用してください。（Windows® のみ）

無線セキュリティー	SSID (32 chr)、WEP 64/128 bit、WPA-PSK（TKIP/AES）、WPA2-PSK（AES）	
無線セットアップサポートユーティリティー	AOSS™	あり
	WPS	あり

使用環境

本製品とパソコンを接続する場合、次の動作環境が必要となります。

OS		インターフェイス			プロセッサー	必要なディスク容量	
		USB *2	10/100Base-TX（イーサネット）	無線 LAN IEEE802.11b/g/n		ドライバー	その他のソフトウェア
Windows®	Windows® XP Home *1 Windows® XP Professional *1	プリント PC-FAX *3 スキャン リムーバブルディスク *4			32 ビット (x86) または 64 ビット (x64) のプロセッサー	150MB	1GB
	Windows Vista® *1					500MB	1.3GB
	Windows® 7 *1					650MB	
	Windows Server® 2003 Windows Server® 2003 R2 Windows Server® 2008	なし	プリント			50MB	なし
	Windows Server® 2008 R2				64 ビット (x64) のプロセッサー		
Macintosh	Mac OS X v10.5.8	プリント PC-FAX 送信 *3 スキャン リムーバブルディスク *4			PowerPC G4/G5 Intel® プロセッサー	80MB	550MB
	Mac OS X v10.6.x Mac OS X v10.7.x				Intel® プロセッサー		

*1 WIA は、最大 1200 × 1200dpi の解像度に対応していますが、[Scanner Utility] を使用すれば、最大 19200 × 19200dpi の解像度に対応できます。
*2 サードパーティ製の USB ポートはサポートしていません。
*3 PC-FAX はモノクロのみ対応しています。
*4 本製品にセットしたメモリーカードや USB フラッシュメモリーなどのメディアは、パソコン上で [リムーバブル ディスク] として使用できます。

- 最新のドライバーは http://solutions.brother.co.jp/ からダウンロードできます。
- 記載されているすべての会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

CPU のスペックやメモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。

索引

数字

A

B

C

D

E

F

I

M

O

P

S

T

U

W

あ

い

う

え

お

か

き

く

け

こ

さ

し

す

せ

そ

た

ち

つ

て

と

り

れ

リモコンアクセスカード

外出先から本製品を操作する場合（⇒ユーザーズガイド 応用編 第 4 章「外出先から本製品を操作する」）、下記の「リモコンアクセスカード」を切り取ってお持ちいただくと便利です。

<キリトリ線>

リモコン　アクセス

暗　証　番　号

あなたの暗証番号を記入してください。

＊間違った操作を行ったときは、「ピピピッ」という音が聞こえます。もう一度やり直してください。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. ファクシミリが応答して約4秒間の無音状態のときに、暗証番号を入力します。
3. 「ポー」という音が聞こえたら、ファクスを受信していることを示します。
   「ポー」という音が聞こえなければ、受信したファクスはありません。
4. 次に、短い「ピピッ」という音が続けて聞こえたら、リモコンコード（裏面参照）を入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

<キリトリ線>

リモコン　アクセス

暗　証　番　号

あなたの暗証番号を記入してください。

＊間違った操作を行ったときは、「ピピピッ」という音が聞こえます。もう一度やり直してください。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. ファクシミリが応答して約4秒間の無音状態のときに、暗証番号を入力します。
3. 「ポー」という音が聞こえたら、ファクスを受信していることを示します。
   「ポー」という音が聞こえなければ、受信したファクスはありません。
4. 次に、短い「ピピッ」という音が続けて聞こえたら、リモコンコード（裏面参照）を入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

<キリトリ線>

リモコン　アクセス

暗　証　番　号

あなたの暗証番号を記入してください。

＊間違った操作を行ったときは、「ピピピッ」という音が聞こえます。もう一度やり直してください。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. ファクシミリが応答して約4秒間の無音状態のときに、暗証番号を入力します。
3. 「ポー」という音が聞こえたら、ファクスを受信していることを示します。
   「ポー」という音が聞こえなければ、受信したファクスはありません。
4. 次に、短い「ピピッ」という音が続けて聞こえたら、リモコンコード（裏面参照）を入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

＜キリトリ線＞

リモコンコード

操作内容		ボタン操作
メモリー受信をOFFにする（※1）		951
ファクス転送の設定		952（※2）
ファクス転送番号の登録・変更		954+転送先番号+＃＃
メモリー受信をONにする		956
ファクスの取り出し		962+転送先番号+＃＃
受信状況のチェック	ファクス	971

操作内容		ボタン操作
受信モードの変更	外付留守電モード	981
	自動切替モード	982
	ファクスモード	983
終了		90

※1：電話呼出やファクス転送の設定も解除されます。
※2：呼出番号・転送番号が登録されていないときは、呼び出し・転送機能をONにすることはできません。

＜キリトリ線＞

リモコンコード

操作内容		ボタン操作
メモリー受信をOFFにする（※1）		951
ファクス転送の設定		952（※2）
ファクス転送番号の登録・変更		954+転送先番号+＃＃
メモリー受信をONにする		956
ファクスの取り出し		962+転送先番号+＃＃
受信状況のチェック	ファクス	971

操作内容		ボタン操作
受信モードの変更	外付留守電モード	981
	自動切替モード	982
	ファクスモード	983
終了		90

※1：電話呼出やファクス転送の設定も解除されます。
※2：呼出番号・転送番号が登録されていないときは、呼び出し・転送機能をONにすることはできません。

＜キリトリ線＞

リモコンコード

操作内容		ボタン操作
メモリー受信をOFFにする（※1）		951
ファクス転送の設定		952（※2）
ファクス転送番号の登録・変更		954+転送先番号+＃＃
メモリー受信をONにする		956
ファクスの取り出し		962+転送先番号+＃＃
受信状況のチェック	ファクス	971

操作内容		ボタン操作
受信モードの変更	外付留守電モード	981
	自動切替モード	982
	ファクスモード	983
終了		90

※1：電話呼出やファクス転送の設定も解除されます。
※2：呼出番号・転送番号が登録されていないときは、呼び出し・転送機能をONにすることはできません。

関連製品のご案内

innobella

innobella（イノベラ）とは、ブラザーの純正消耗品のシリーズです。
名前は、innovation（イノベーション：英語で「革新」）とBella（ベラ：イタリア語で「美しい」）の2つの言葉に由来しています。革新的な印刷技術により、美しく鮮やかな印刷を実現します。
特に、写真のプリントには「イノベラ写真光沢紙」のご利用をお勧めします。イノベラインクと合わせてお使いいただければ、鮮やかでキメの細かい発色、艶やかな超高画質の写真に仕上がります。
高い印刷品質を維持するためにも、イノベラインク、イノベラ写真光沢紙およびブラザー純正の専用紙をご利用ください。

消耗品

インクや記録紙などの消耗品は、残りが少なくなったらなるべく早くお買い求めください。本製品の機能および印刷品質維持のため、下記の弊社純正品または推奨品のご使用をお勧めします。弊社純正品は公式直販サイト、ブラザーダイレクトクラブでも購入いただけます。詳しくは、⇒ 197 ページをご覧ください。

インクカートリッジ

種類	型番
ブラック（黒）	LC113BK、LC117BK（大容量）
イエロー（黄）	LC113Y、LC115Y（大容量）
シアン（青）	LC113C、LC115C（大容量）
マゼンタ（赤）	LC113M、LC115M（大容量）
4 個パック [ブラック（黒）/ イエロー（黄）/ シアン（青）/ マゼンタ（赤）各 1 個]	LC113-4PK、LC117/115-4PK（大容量）

- 本製品にはじめてインクカートリッジをセットした場合は、本体にインクを充填させるため、2 回目以降にセットするインクカートリッジと比較して印刷可能枚数が少なくなります。
- 純正品のブラザーインクカートリッジをご使用いただいた場合のみ機能・品質を保証いたします。

専用紙・推奨紙

記録紙種類	商品名	型番（サイズ）	枚数
普通紙	上質普通紙	BP60PA3（A3）	250 枚入り
		BP60PA（A4）	250 枚入り
光沢紙	写真光沢紙	BP71GA3（A3）	20 枚入り
		BP71GA4（A4）	20 枚入り
		BP71GLJ50（L 判）	50 枚入り
		BP71GLJ100（L 判）	100 枚入り
		BP71GLJ300（L 判）	300 枚入り
		BP71GLJ500（L 判）	500 枚入り
マット紙	インクジェット紙（マット仕上げ）	BP60MA3（A3）	25 枚入り
		BP60MA（A4）	25 枚入り

消耗品などのご注文について

- 純正消耗品はお近くの家電量販店でも取り扱いがございますが、弊社公式直販サイトのブラザーダイレクトクラブでもご購入いただけます。
- 配送料は、お買い上げ金額の合計が 3,000 円以上の場合は全国無料です。
  3,000 円未満の場合は 350 円の配送料をいただきます。（代引き手数料は全国一律無料）
- 納期については土・日・祝日、長期休暇をはさむ場合はその日数が下記に加算されます。
- 配送地域は日本国内に限らせていただきます。

＜代引き＞・・・ご注文後 2 ～ 3 営業日後の商品発送
＜お振込み（銀行・郵便）＞・・・ご入金確認後 2 ～ 3 営業日後の商品発送
　※代金は先払いとなります。（銀行／郵便局備え付けの振込用紙などからお振り込みください。）
　※振り込み手数料はお客様負担となります。
＜クレジットカード＞・・・カード番号確認後 2 ～ 3 営業日後の商品発送

ご注文先

ブラザー販売（株）	ダイレクトクラブ
インターネット	http://direct.brother.co.jp/
携帯サイト	右の二次元コードにアクセス ※携帯サイトからご注文いただいた場合、お支払い方法は代金引換のみとなります。
ファクス	052-825-0311
電話	0120-118-825（土・日・祝日、長期休暇を除く 9 時～ 12 時、13 時～ 17 時）
振込先	口座名義：ブラザー販売株式会社　ダイレクトクラブ 銀行：三井住友銀行　上前津（カミマエヅ）支店　普通 6428357 　　　ゆうちょ銀行　振替口座　00860 － 1 － 27600

公式直販サイト
ダイレクトクラブ

消耗品はブラザー純正品をお使いください

印刷品質・性能を安定した状態でご使用いただくために、ブラザー純正の消耗品及びオプションのご使用をお勧めします。純正品以外のご使用は、印刷品質の低下や製品本体の故障など、製品に悪影響を及ぼす場合があります。純正品以外を使用したことによる故障は、保証期間内や保守契約時でも有償修理となりますのでご注意ください。（純正品以外の全ての消耗品が必ず不具合を起こすと断定しているわけではありません。）純正消耗品について、詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

http://www.brother.co.jp/product/original/index.htm

インクカートリッジの回収・リサイクルのご案内

ブラザーでは循環型社会への取り組みの一環として使用済みインクカートリッジの回収･リサイクルに取り組んでおります。環境保全のため、使用済みインクカートリッジの回収にご賛同いただき回収にご協力いただきますようお願い申し上げます。詳しくは下記ホームページをご参照ください。

http://www.brother.co.jp/support_info/recycle/ink/index.htm

アフターサービスのご案内

お客様のスタイルに合わせたサポート

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）

よくあるご質問（Q＆A）や、最新のソフトウェアおよび製品マニュアル（電子版）のダウンロードなど、各種サポート情報を提供しています。

故障・トラブルかんたん診断（ブラザーサポートナビ 24）

該当するトラブルを選択し進んでいくことで、解決のヒントが見つかります。万が一故障と診断された場合、そのままオンライン修理申込も可能です。

サポート ブラザー　検 索　http://solutions.brother.co.jp/

ブラザーマイポータル

ブラザーマイポータル会員専用サイト

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

オンラインユーザー登録 ▶ https://myportal.brother.co.jp/

ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）

※ブラザーコールセンターはブラザー販売株式会社が運営しています。

050-3786-7712　受付時間：月～金　9:00 ～ 20:00 ／土　9:00 ～ 17:00
日曜日・祝日・弊社指定休日を除きます。

安心と信頼の修理サービス

無償 ブラザー サービス エクスプレス　1年無償保証

製品ご購入後１年間無償保証いたします。 ※保証期間後の修理は発生の都度有償対応となります。

● コールセンターでの診断後、修理が必要と判断された場合 ▶ 48時間以内に故障機の回収。 ※一部地域を除く
事前にお客様のご都合をお伺いし、宅配便により故障機を回収します。
※本製品を修理にお出しいただくときは、本書の「本製品を輸送するときは」をご覧ください。

● 5 日以内に修理品を返送
弊社到着後、3 日～ 5 日でお客様のお手元へ修理完了品をお返しします。
※製品の症状やお住まいの地域により、修理・輸送に 5 日以上かかることもあります。あらかじめご了承ください。

※ユーザーズガイドに乱丁、落丁があったときは、ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。

※Presto! PageManager については、以下にお問い合わせください。
ニューソフトジャパンカスタマーサポートセンター
電話：03-5472-7008　FAX：03-5472-7009　10：00 ～ 12：00　13：00 ～ 17：00（土日・祝日を除く）
テクニカルサポート電子メール：support@newsoft.co.jp　ホームページ：http://www.newsoft.co.jp

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。海外での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切ではない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your fax machine may not be compatible with the power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

● お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。
● 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後 5 年です。（印刷物は 2 年です）

ブラザー工業株式会社
〒 467-8561
愛知県名古屋市瑞穂区苗代町 15-1